

Oracle® Application Server Portal

エラー・メッセージ・ガイド

10g (9.0.4)

部品番号 : B12347-01

2004 年 6 月

Oracle Application Server Portal エラー・メッセージ・ガイド, 10g (9.0.4)

部品番号 : B12347-01

原本名 : Oracle Application Server Portal Error Messages Guide, 10g (9.0.4)

原本部品番号 : B10608-01

原本著者 : Vanessa Wang

原本協力者 : Peter Lubbersm, Cheryl Smith, Senthil Arunagirinathan, Vandana Deep, Arun Kumar, Eric Lee, Sunil Marya, Darren McBurney, Dmitry Nonkin, Paul Spencer

Copyright © 2002, 2003 Oracle Corporation. All rights reserved.

制限付権利の説明

このプログラム（ソフトウェアおよびドキュメントを含む）には、オラクル社およびその関連会社に所有権のある情報が含まれています。このプログラムの使用または開示は、オラクル社およびその関連会社との契約に記された制約条件に従うものとします。著作権、特許権およびその他の知的財産権と工業所有権に関する法律により保護されています。

独立して作成された他のソフトウェアとの互換性を得るために必要な場合、もしくは法律によって規定される場合を除き、このプログラムのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等は禁止されています。

このドキュメントの情報は、予告なしに変更される場合があります。オラクル社およびその関連会社は、このドキュメントに誤りが無いことの保証は致し兼ねます。これらのプログラムのライセンス契約で許諾されている場合を除き、プログラムを形式、手段（電子的または機械的）、目的に関係なく、複製または転用することはできません。

このプログラムが米国政府機関、もしくは米国政府機関に代わってこのプログラムをライセンスまたは使用する者に提供される場合は、次の注意が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS

Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation, and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the Programs, including documentation and technical data, shall be subject to the licensing restrictions set forth in the applicable Oracle license agreement, and, to the extent applicable, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software--Restricted Rights (June 1987). Oracle Corporation, 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このプログラムは、核、航空産業、大量輸送、医療あるいはその他の危険が伴うアプリケーションへの用途を目的としておりません。このプログラムをかかるとして使用する際、上述のアプリケーションを安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性（**redundancy**）、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。万一かかるプログラムの使用に起因して損害が発生いたしましても、オラクル社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

Oracle は Oracle Corporation およびその関連会社の登録商標です。その他の名称は、Oracle Corporation または各社が所有する商標または登録商標です。

目次

はじめに	iii
対象読者	iv
このマニュアルの構成	iv
参照情報	v
異常な状態	v
オラクル社カスタマ・サポート・センターへの連絡方法	vi
1 インストールのエラー・メッセージ	
1.1 OracleAS Portal リポジトリのインストール・エラー	1-2
1.2 OracleAS Portal Middle-Tier の構成エラー	1-3
1.3 OracleAS Portal のランタイム構成エラー	1-4
1.4 インストールのその他のエラー・メッセージ	1-5
2 Oracle Application Server Web Cache のエラー・メッセージ	
3 セキュリティのエラー・メッセージ	
3.1 WWC-41031 ~ WWC-41657	3-2
3.2 ログインのエラー・メッセージ	3-5
4 ポートレット開発のエラー・メッセージ	
4.1 ORA-06510 ~ ORA-20000	4-2
4.2 WWC-43102 ~ WWC-43112	4-3
4.3 WWC-44009 ~ WWC-51000	4-4
4.4 WWC-44761 ~ WWC-44795	4-9
4.5 WWC-44801 ~ WWC-44997	4-13
4.6 WWC-49104 ~ WWC-57272	4-17
4.7 WWS-19679 ~ WWS-25838	4-19
4.8 WWV-01801 ~ WWV-17128	4-21
4.9 アプリケーション開発に関するその他のエラー・メッセージ	4-23
4.10 標準の HTTP エラー・コード	4-27

5 エクスポート / インポートのエラー・メッセージ

5.1	ORA-00001 ~ ORA-02291	5-2
5.2	WWU-52883 ~ WWU-52927	5-4
5.3	エクスポート / インポートに関するその他のエラー・メッセージ	5-5

6 アップグレードのエラー・メッセージ

6.1	インストールの問題	6-2
6.2	リポジトリのアップグレードのエラー・メッセージ	6-2
6.3	リポジトリのアップグレードの警告メッセージ	6-45
6.4	アップグレード後の OracleAS Portal の使用時に発生するエラー	6-62

7 その他のエラー・メッセージ

7.1	ORA-01400 ~ ORA-06550	7-2
7.2	WWS-25883 ~ WWS-40019	7-3
7.3	シンジケーション・チャンネル管理のエラー・メッセージ	7-7
7.4	WebDAV の問題	7-10
7.5	エラー番号のないメッセージ	7-13

索引

はじめに

このマニュアルでは、OracleAS Portal のインストールおよび使用時に発生する可能性のあるエラー・メッセージについて説明します。メッセージ・テキストの他に、原因と処置の情報も記載されています。Oracle Application Server 10g のエラー・メッセージの詳細は、Oracle Technology Network (<http://otn.oracle.com/products/ias/>) のドキュメントを参照してください。

対象読者

このマニュアルは、OracleAS Portal の使用中に発生するエラー・メッセージに関する詳細な情報を必要とするユーザーを対象としてしています。OracleAS Portal の詳細は、OracleAS Portal Center (<http://portalcenter.oracle.com>) を参照してください。

このマニュアルの構成

このマニュアルは、エラー・メッセージが発生する時期に基づき、大きく 4 つの項に分けて構成されています。

1. インストール中は、[第 1 章「インストールのエラー・メッセージ」](#)を参照してください。OracleAS Portal のインストールの詳細は、Oracle Application Server に同梱されているインストール手順を参照してください。
2. Oracle Application Server Web Cache の設定中は、[第 2 章「Oracle Application Server Web Cache のエラー・メッセージ」](#)を参照してください。Oracle Application Server Web Cache の設定の詳細は、『Oracle Application Server Portal 構成ガイド』を参照してください。
3. セキュリティの構成および設定中は、[第 3 章「セキュリティのエラー・メッセージ」](#)を参照してください。OracleAS Portal でセキュリティを使用する方法の詳細は、『Oracle Application Server Portal 構成ガイド』を参照してください。
4. アプリケーションの開発中は、[第 4 章「ポートレット開発のエラー・メッセージ」](#)を参照してください。OracleAS Portal でのポートレット開発の詳細は、オンライン・ヘルプまたは OracleAS Portal Center (<http://portalcenter.oracle.com>) のドキュメントを参照してください。
5. アプリケーションのエクスポートまたはインポート中は、[第 5 章「エクスポート / インポートのエラー・メッセージ」](#)を参照してください。OracleAS Portal アプリケーションのエクスポートおよびインポートの詳細は、『Oracle Application Server Portal 構成ガイド』を参照してください。
6. 以前のリリースの OracleAS Portal から上位のリリースへのアップグレード中は、[第 6 章「アップグレードのエラー・メッセージ」](#)を参照してください。OracleAS Portal インスタンスのアップグレードの詳細は、Oracle Application Server の 10g へのアップグレード・ガイドを参照してください。

その他のすべてのメッセージについては、[第 7 章「その他のエラー・メッセージ」](#)を参照してください。

参照情報

OracleAS Portal に関するドキュメントは、OracleAS Portal のオンライン・ヘルプの他に OracleAS Portal Center (<http://portalcenter.oracle.com>) にもあります。

異常な状態

次のいずれかの原因によって、異常な状態とみなされるエラーが発生する場合があります。

- 要求したタスクをアプリケーションが実行できなくなるような操作を他のユーザーが実行した。たとえば、他のユーザーがユーザー・インタフェースを使用せずデータベース表のデータを変更した場合は、無効な値を入力した可能性があります。
- ソフトウェアのバグによって、要求したタスクが実行されなかった。

処置: まず、システム管理者に連絡して、メッセージが OracleAS Portal 以外のことが原因で発生したかどうかを調べます。メッセージがユーザー・エラーまたはシステム問題によって発生したものではないことが確認された場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに問い合わせます。

オラクル社カスタマ・サポート・センターへの連絡方法

一部のエラー（内部エラー）は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡して、エラーを報告する必要があります。オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡するときは、次の情報を手元に用意しておいてください。

1. お客様の名前、会社および Oracle サポートの ID 番号
2. ハードウェア、オペレーティング・システムおよび使用しているオペレーティング・システムのリリース番号
3. エラーが発生したときに使用していたコンポーネントの完全なリリース番号（リビジョン番号やポートのリリース番号があれば、それらを含む）

注意： コンポーネントのリリース番号がわからない場合は、「サービス」ポータルレットの「グローバル設定」リンクをクリックします（デフォルトでは、このポータルレットは「Portal ビルダー」ページの「管理」タブの「Portal」サブタブにあります）。表示されたページの「メイン」タブの「バージョン情報」セクション（ページの一番下）にリリース番号が表示されます。

4. エラーが発生したときに使用していた他のすべての製品およびリリース番号（Oracle 8.0.4 など）
5. エラー・メッセージが 1 つ以上発生した場合は、正確なメッセージ番号と説明（表示された順序で）
6. 問題の説明（普通でない状態を含む）
7. 次のコードに基づいた問題の重大度
 1. プログラムが使用できません。操作に重大な影響があります。
 2. プログラムは使用できます。操作が大幅に制限されます。
 3. 限られた機能でプログラムは使用できます。操作全体に重大な影響はありません。
 4. お客様によって問題は回避されました。操作にはほとんど影響しません。

インストールのエラー・メッセージ

この章では、OracleAS Portal のインストールおよび構成時に発生する可能性のあるエラー・メッセージ、その原因および推奨される処置について説明します。OracleAS Portal の構成の詳細は、『Oracle Application Server Portal 構成ガイド』を参照してください。

この章の内容：

- 1.1 項「OracleAS Portal リポジトリのインストール・エラー」
- 1.2 項「OracleAS Portal Middle-Tier の構成エラー」
- 1.3 項「OracleAS Portal のランタイム構成エラー」
- 1.4 項「インストールのその他のエラー・メッセージ」

1.1 OracleAS Portal リポジトリのインストール・エラー

この項では、OracleAS Portal リポジトリのインストール時に発生する次のエラー・メッセージについて説明します。

- ORA-04031 共有メモリーの 40972 バイトを割当てできません ("`<large pool>`", "`<unknown object>`", "`<koh-kghu sessi>`", "`<pl/sqlvc2>`")
- ORA-06500 PL/SQL: 記憶域エラーが発生しました
- PLS-00201 識別子 CTX_DOC.PKENCODE を宣言してください。
- PLS-00201 識別子 DBMS_LDAP_UTL.SUCCESS を宣言してください。

ORA-04031 共有メモリーの 40972 バイトを割当てできません ("`<large pool>`", "`<unknown object>`", "`<koh-kghu sessi>`", "`<pl/sqlvc2>`")

ORA-06500 PL/SQL: 記憶域エラーが発生しました

原因: データベースが Portal リポジトリのインストールに必要な最小のシステム要件を満たしていません。

処置: データベースのシステム要件を満たしているかどうかを確認し、Portal リポジトリを再インストールします。

PLS-00201 識別子 CTX_DOC.PKENCODE を宣言してください。

原因: *interMedia* が DB にインストールされていません。

処置: *interMedia* を DB にインストールし、Portal リポジトリを再インストールします。

PLS-00201 識別子 DBMS_LDAP_UTL.SUCCESS を宣言してください。

原因: DBMS_LDAP_UTL パッケージが DB にインストールされていません。

処置: `ORACLE_HOME/admin/` の下で `catldap.sql` スクリプトを実行して、これらのパッケージをインストールします。このスクリプトは、SYS ユーザーとして実行する必要があります。Portal リポジトリを再インストールします。

1.2 OracleAS Portal Middle-Tier の構成エラー

この項では、OracleAS Portal Middle-Tier の構成時に発生する可能性のある次のエラー・メッセージについて説明します。

- LDAP エラー : 49 - 資格証明が無効です。
- LDAP エラー : 53 - ディレクトリ・サービス・エージェントが実行不可の状態です。
- ORA-01017 ユーザー名 / パスワードが無効です。

LDAP エラー : 49 - 資格証明が無効です。

原因: OID 構成用に渡された OID のユーザー名とパスワードが正しくありません。

処置: 呼出し側のスクリプトで正しいユーザー名とパスワードを指定します。

LDAP エラー : 53 - ディレクトリ・サービス・エージェントが実行不可の状態です。

原因: Portal OID ユーザー・パスワード用に渡された値が OID に適用されているパスワード・ポリシーに準拠していません。

処置: OID に適用されているパスワード・ポリシーに準拠するパスワードを指定します。

ORA-01017 ユーザー名 / パスワードが無効です。

原因: 指定したユーザー名 / パスワードが無効です。

処置: スキーマのユーザー名 / パスワードが正しいかどうかを確認します。SQL*Plus に接続して、次のようなスキーマ・パスワードを確認します。

表 1-1 スキーマの詳細

値	説明
-p	SYS スキーマのパスワード
-s	Portal リポジトリのスキーマ名
-sp	Portal リポジトリのスキーマ・パスワード
-o	SSO リポジトリのスキーマ名
-op	SSO リポジトリのスキーマ・パスワード
-pa	SSO パートナ・アプリケーションのスキーマ名
-pap	SSO パートナ・アプリケーションのスキーマ・パスワード
-ps	SSO パスワード・ストアのスキーマ名
-pp	SSO パスワード・ストアのスキーマ・パスワード

1.3 OracleAS Portal のランタイム構成エラー

この項では、OracleAS Portal の構成時に発生する可能性のある次のエラー・メッセージについて説明します。

- [WWC-43000 - 予期しないエラーが発生：リモート・プロバイダ・グループ・サーバーへのアクセス中にエラーが発生しました：java.sql.SQLException](#)

WWC-43000 - 予期しないエラーが発生：リモート・プロバイダ・グループ・サーバーへのアクセス中にエラーが発生しました： java.sql.SQLException

原因：プロバイダ・グループに接続できませんでした。これには、いくつかの原因が考えられます。たとえば、インストール時に Oracle Wireless を選択しなかった場合は、Ultra Search で使用されるいくつかの設定がインストール中に構成ファイルに追加されていません。

処置：プロバイダ・グループ・サービスが稼働していることを確認します。詳細は、OracleAS Portal Center の「Understanding Provider Groups」および「Provider Group Server Setup」を参照してください。

1.4 インストールのその他のエラー・メッセージ

次のエラー・メッセージには番号が付いていませんが、OracleAS Portal のインストール時に発生します。この項では、次のエラー・メッセージについて説明します。

- エラー: 設定パスが見つかりません。

エラー: 設定パスが見つかりません。

原因: Portal リポジトリをデータベースにインストールするときに、OracleAS Portal のインストールに失敗しました。

処置: `ORACLE_HOME/assistants/opca/portal_schema.log` ファイルにあるインストール・ログに、ORA-、PLS-、SP2 または IMP- エラーがないかどうか確認します。このエラーの最も一般的な原因は、`shared_pool_size`、`large_pool_size` または `java_pool_size` の不足です。

Oracle Application Server Web Cache の エラー・メッセージ

この章では、OracleAS Web Cache の使用時、または OracleAS Web Cache の使用を無効にした後も発生する可能性のあるエラー・メッセージ、その原因および推奨される処置について説明します。

この章では、OracleAS Web Cache に関する次のエラー・メッセージについて説明します。

- エラー: Web Cache 接続を開始できませんでした。(WWC-40019)
- エラー: 「Application Server から応答がありません」がブラウザに表示されます
- WWC-40018 - 例外処理での一般的な失効メッセージ: %1

エラー : Web Cache 接続を開始できませんでした。(WWC-40019)

原因: 失効化に失敗すると、このエラー・メッセージがブラウザに表示されます。この場合、OracleAS Portal が OracleAS Web Cache に失効メッセージを送信できなかったことを示します。OracleAS Portal で OracleAS Web Cache が使用可能な場合に、次の 1 つ以上の点に該当すると、このエラーが発生します。

- OracleAS Web Cache が動作していなかった可能性がある。Oracle HTTP Server をフロントエンドにしようとして、OracleAS Web Cache が意図的に停止されていたことが考えられます。OracleAS Web Cache がクラッシュしていたか、OracleAS Portal またはプロバイダから失効メッセージが送信されたときに OracleAS Web Cache が不安定だった可能性もあります。
- OracleAS Web Cache 失効ポートに問題が生じた可能性がある。これは、OracleAS Portal での OracleAS Web Cache 失効ポート値が、実際の OracleAS Web Cache 失効ポートと異なるために発生することがあります。インストール時に `-cport_i` パラメータを使用して Portal に指定した失効ポート値も正しくない可能性があります。あるいは、OracleAS Web Cache 失効ポートが、OracleAS Portal のインストール後に OracleAS Web Cache で変更された可能性もあります。
- OracleAS Web Cache が OracleAS Web Cache 失効ポートでプロセスをリスニングできるようになる前に、別のプロセスが失効ポートを占有する。
- OracleAS Web Cache 失効パスワードに問題が生じた。これはおそらく、Portal での OracleAS Web Cache invalidator のパスワード値が実際の OracleAS Web Cache invalidator のパスワードと異なるか、またはインストール時に `-wc_inv_pwd` パラメータを使用して OracleAS Portal に指定した invalidator のパスワード値が正しくないことが原因です。
- invalidator のパスワードではなく OracleAS Web Cache の管理者パスワードを要求する、OracleAS Web Cache の一部のセキュリティ設定が有効になっていた可能性がある。
- OracleAS Web Cache ホスト名に問題が生じた。これは、Portal での OracleAS Web Cache ホスト名値が実際の OracleAS Web Cache ホスト名と異なることが原因です。あるいは、インストール時に `-host` および `-chost` パラメータを使用して Portal に指定したホスト名値が正しくない可能性もあります。
- Portal のインストール後に OracleAS Web Cache が別のサーバーに移動されたために、OracleAS Web Cache が動作するホストに OracleAS Portal からアクセスできないままになっている可能性がある。
- 指定されたホスト名にドメイン名全体が含まれていない可能性がある。
- Oracle Application Server Web Cache が完全に失効化されていない。OracleAS Portal は、中間層のフロントエンドとなる OracleAS Web Cache がなくても動作可能です。そのためには、Oracle Application Server Web Cache をシャットダウンする他に、OracleAS Portal の `enable_wc_caching` フラグをオフにする必要があります。これを行わないと、失効メッセージの送信を試みるすべての操作に失敗し、

「Portal Web Cache 設定はオンだが、Web Cache がダウンしている可能性がある」という意味の例外が発生します。

処置: 前述の状況がエラーの原因となっていないかどうかを調べます。

エラー：「Application Server から応答がありません」がブラウザに表示されます

原因: Oracle HTTP Server が停止している可能性があります。

処置: Oracle HTTP Server を起動する必要があるかどうかを確認します。

WWC-40018 - 例外処理での一般的な失効メッセージ：%1

原因: 次のいずれかが原因です。1. 失効メッセージの送信中にエラーが発生した。このエラーは、通常、Portal が Web Cache 失効ポートに失効メッセージを書き込む際に Web Cache がダウンまたは停止した場合に発生する可能性があります。2. 失効メッセージの処理中に予期しない他の例外が発生した。

処置: Web Cache が動作しており、失効ポートが接続を受け付けていることを確認します。

セキュリティのエラー・メッセージ

この章では、OracleAS Portal の構成またはログイン時に発生する可能性のあるエラー・メッセージ、その原因および推奨される処置について説明します。OracleAS Portal の保護の詳細は、『Oracle Application Server Portal 構成ガイド』を参照してください。

この章では、セキュリティに関する次のエラー・メッセージについて説明します。

- 3.1 項「[WWC-41031 ~ WWC-41657](#)」
- 3.2 項「[ログインのエラー・メッセージ](#)」

3.1 WWC-41031 ~ WWC-41657

この項では、次のエラー・メッセージについて説明します。

- WWC-41031 - LDAP サーバーに接続できません。
- WWC-41415 - この操作を行うには、権限が不足しています。
- WWC-41419 - 認証に失敗しました。もう一度実行してください。
- WWC-41426 - 該当するユーザーまたはグループが見つかりません。有効なユーザーまたはグループの名前を入力して再実行してください。
- WWC-41439 - 設定情報が有効な設定表に格納されていないため、ログインできません。
- WWC-41443 - <user name>、ログインが承認されていません。このアカウントでのログインを有効にするよう、Portal 管理者に依頼してください。
- WWC-41433 - 適切なデータベース・ユーザー名を指定してください。ユーザー名に対する既存の代理人である必要があります。
- WWC-41470 - Oracle Internet Directory に接続する際にエラーが発生しました。
- WWC-41496 - OID パラメータ用キャッシュの更新時にエラーが発生しました。
- WWC-41657 - アカウントがグローバルにロックされています。グローバル・ロックアウトの持続時間が経過してから、ログインを実行してください。

WWC-41031 - LDAP サーバーに接続できません。

原因: Portal が OID サーバーにアクセスできません。Portal は、OID ホスト、OID ポート、アプリケーション DN およびアプリケーション・パスワードを独自のスキーマに格納します。これらのいずれかの値が正しくない場合は、OID サーバーにアクセスできなくなります。

処置: コマンドライン・ツール ldapbind を使用して、OID サーバーが稼働していることを確認します。OID サーバーが起動しているのに Portal アプリケーションが OID サーバーにアクセスできない場合は、-mode MIDTIER - type OID を使用して ptlasst スクリプトを実行し、もう一度 Portal を OID サーバーに関連付けます。ptlasst スクリプトは、ORACLE_HOME/assistants/opca ディレクトリにあります。

WWC-41415 - この操作を行うには、権限が不足しています。

原因: ユーザーに当該操作を実行する権限がありません。これは、ページの表示時やページ、レイアウトまたはスタイルの編集時に、すべての Portal UI オブジェクトで表示される共通のエラー・メッセージです。

処置: その操作を実行する権限を持つユーザーとしてログインします。

WWC-41419 - 認証に失敗しました。もう一度実行してください。

原因: 指定したユーザー名とパスワードが正しくありません。

処置: ユーザー名とパスワードを確認してください。ユーザー名は、OID サーバーに含まれるユーザー・エントリのニックネーム属性に対応する必要があります。パスワードでは、大文字と小文字が区別されます。

注意: 生成済ユーザー・アカウント `orcladmin`、`PORTAL` および `PORTAL_ADMIN` は、インストール時に Oracle Application Server 管理者用に指定したパスワードで作成されます。しかし、Portal 以外のスキーマ名でカスタムの Portal インストールを行った場合は、OracleAS Portal の中間層の関連付けを行うときに、`-pwd` パラメータを使用して初期パスワードを指定できます。このパスワードは、スキーマと `schema_ADMIN` アカウントを OID に作成するときに使用されます。

WWC-41426 - 該当するユーザーまたはグループが見つかりません。有効なユーザーまたはグループの名前を入力して再実行してください。

原因: ページの作成または編集時に、ページのアクセス権限を設定しようとして無効なユーザー名またはグループ名を入力しました。

処置: 入力したユーザーまたはグループの名前が有効かどうかを調べます。名前フィールドの横にあるポップアップ・リストからユーザーまたはグループ名を見つけます。

WWC-41439 - 設定情報が有効な設定表に格納されていないため、ログインできません。

原因: Apache の構成で定義された別名が原因で、Apache が `host.domain.com` を `host` に変換します。この場合、ログイン・リンクには `host:port` のみが表示されます (ドメインは表示されません)。

処置: このような別名をすべて Apache の構成から削除します。

原因: Apache の構成にデフォルト・ドメインが指定されていません。この場合、ログイン・リンクにはホスト名のみが表示され、ドメインは表示されません。

処置: `ServerName` パラメータにドメインを含めます。

原因: 間違ったホストまたはポートで Portal が構成されました。

処置: `-mode MIDTIER -type SSO` を使用して `ptlasst` スクリプトを実行します。 `ptlasst` スクリプトは、`ORACLE_HOME/assistants/opca` ディレクトリにあります。9.0.2 リリースの `ptlasst` スクリプトの `-mode SSOPARTNERCONFIG` は、9.0.4 では `-mode MIDTIER -type SSO` に置き換えられました。

WWC-41443 - <user name>、ログインが承認されていません。このアカウントでのログインを有効にするよう、Portal 管理者に依頼してください。

原因: ユーザー設定項目のオプション「ユーザーにログインを許可する」が選択されていません。ユーザーはサーバーにはログインできますが、Portal にはできません。

処置: Portal 管理者にこのオプションを選択するよう依頼します。

WWC-41433 - 適切なデータベース・ユーザー名を指定してください。ユーザー名に対する既存の代理人である必要があります。

原因: ユーザーのプロファイルの編集時に、データベース・スキーマをユーザーのアカウントに割り当てますが、選択したデータベース・スキーマはスキーマ所有者 (Portal スキーマ) に接続権限を付与していません。

処置: ユーザーに割り当て可能なスキーマを作成するには、スキーマ・ポートレットを使用して新規スキーマを作成し、「このスキーマを Portal ユーザーに使用する」チェック・ボックスを選択する必要があります。スキーマ・ポートレットの「スキーマの編集」を使用して、既存のスキーマを同様に更新することもできます。

WWC-41470 - Oracle Internet Directory に接続する際にエラーが発生しました。

原因: OID サーバーが正常に動作していない可能性があります。

処置: 管理者に問い合せて、OID サーバーが正常に動作していることを確認します。

WWC-41496 - OID パラメータ用キャッシュの更新時にエラーが発生しました。

原因: OID サーバーが正常に動作していない可能性があります。

処置: OID ポートが正常に動作しているかどうか、および Portal 構成で正しいホスト名とポートを参照しているかどうかを調べます。コマンドライン LDAPbind を使用すると、LDAP ポートが稼働しているかどうかを確認できます。

WWC-41657 - アカウントがグローバルにロックされています。グローバル・ロックアウトの持続時間が経過してから、ログインを実行してください。

原因: ユーザーのアカウントがロックアウトされました。アカウントは通常、ユーザーが間違ったパスワードを使用して繰り返しログインしようとした場合にロックアウトされます。許容される試行回数は、OID サーバーに格納されたパスワード・ポリシーによって制御されます。

処置: OID 管理者は、ユーザーのパスワードをリセットして、ロックアウトを解除できます。パスワード・ポリシーに含まれる「アカウント・ロックアウト継続時間」がゼロ以外の場合、ユーザーのアカウントは、ロックアウトの持続時間が経過した後で自動的に解除されます。

3.2 ログインのエラー・メッセージ

この項では、ログイン・エラー・メッセージについて説明します。

Portal データベースへのログイン時にエラーが発生した場合、Portal DAD の PlsqlDatabaseUsername、PlsqlDatabasePassword、PlsqlDatabaseConnectionString および PlsqlNLSLanguage パラメータが適切に構成されていることを確認します。

DAD 構成が適切な場合、OHS の error_log に、OHS/mod_plsql によって報告された Oracle エラーがないかどうかを調べ、『Oracle Database エラー・メッセージ』で原因および処置を確認します。ログインが失敗する最も一般的な原因は、DAD 構成の誤りか、次の Oracle エラーの 1 つです。

- **ORA-01034 Oracle は使用できません。**
- **TNS-12154 TNS: サービス名を解決できませんでした。**
- **TNS-12541 TNS: リスナーがありません。**
- **TNS-12545 接続に失敗しました。ターゲット・ホストまたはオブジェクトが存在しません。**

ORA-01034 Oracle は使用できません。

原因: Oracle は起動していません。次の原因が考えられます。

- 割り当てた領域より多くの領域が SGA に必要になっている。
- インスタンスを指定するオペレーティング・システム環境変数が正しく定義されていない。

処置: 付随するメッセージを参照して、原因を確認し、その他のメッセージで示されている問題を修正してください。Oracle が初期化されている場合は、いくつかのオペレーティング・システム上で、Oracle が正しくリンクされていることを確認してください。プラットフォーム固有の Oracle マニュアルを参照してください。

TNS-12154 TNS: サービス名を解決できませんでした。

原因: 指定されたサービスの名前が、TNSNAMES.ORA ファイル内で正しく定義されていません。

処置: 次のことを確認し、エラーを修正してください。

- TNSNAMES.ORA ファイルが、適切な位置に存在し、アクセスできることを確認してください。必須の名前および位置の詳細は、オペレーティング・システム固有のドキュメントを参照してください。
- TNSNAMES.ORA ファイルの中にサービス名があることを確認し、必要に応じて追加してください。
- ファイル内に構文エラーがないかどうかを確認してください。特に一致しないカッコまたは文字を検索してください。TNSNAMES.ORA ファイル内にエラーがある

と、使用できなくなります。『Oracle Net Services 管理者ガイド』を参照してください。可能な場合は、Oracle Network Manager を使用して、構成ファイルを再作成してください。

TNS-12541 TNS: リスナーがありません。

原因: リスナーが実行されていないため、接続要求が完了できませんでした。

処置: 指定された接続先アドレスが、リスナーが使用するアドレスの1つと一致しているかどうかを確認してください。TNSNAMES.ORA 項目と該当する LISTENER.ORA ファイルを比較してください。リモート・マシン上のリスナーを開始してください。

TNS-12545 接続に失敗しました。ターゲット・ホストまたはオブジェクトが存在しません。

原因: 指定されたアドレスが有効でないか、接続先のプログラムがありません。

処置: ADDRESS パラメータが正しく入力されていることを確認してください。ノード名のパラメータが正しくない可能性があります。サーバーの実行可能プログラムが存在しているかどうかを確認してください。「oracle」が欠落している可能性があります。プロトコルが TCP/IP である場合は、TNSNAMES.ORA ファイルを編集して、ホスト名を IP アドレスに変更し、再試行してください。

次のエラーが発生する場合もあります。

- エラー: OracleAS Portal のページへのアクセス中に内部サーバー・エラーが発生しました。
- エラー: enabler configuration 表 (WWSEC_ENABLER_CONFIG_INFO\$) に項目が見つかりません。
- エラー: プロキシ設定が正しくないため OracleAS Portal にログインできません。

エラー: OracleAS Portal のページへのアクセス中に内部サーバー・エラーが発生しました。

原因: この問題は、おそらく Parallel Page Engine または Portal OC4J インスタンスのプロセスが停止したか、正しく構成されていないことが原因です。

処置: ブラウザから次の URL にアクセスしてみて、Portal OC4J インスタンスのプロセスが起動していて、正しく構成されていることを確認します。

`http://host.domain:port/jpdk/providers/sample`

この操作が正しく行われない場合は、Portal OC4J インスタンスに障害が発生していません。OC4J のログ・ファイルを詳しく調べてください。このログ・ファイルは次の場所にあります。

```
<ORACLE_HOME>/j2ee/OC4J_Portal/application-deployments/portal/  
OC4J_Portal_default_island_1
```


エラー : enabler configuration 表 (WWSEC_ENABLER_CONFIG_INFO\$) に項目が見つかりません。

原因 : 構成が完了した後で、Configuration Assistant が WWSEC_ENABLER_CONFIG_INFO\$ 表のエントリを検出できませんでした。OracleAS Portal では、Single Sign-On Server への接続時に WWSEC_ENABLER_CONFIG_INFO\$ 表を使用します。正しく機能させるには、この表に OracleAS Portal 用のエントリが 1 つ以上含まれている必要があります。

処置 : OracleAS Portal のインストール / 構成のログ・ファイルを調べて、他のエラーがないかどうか確認します。ログ・ファイルに他にもエラーがある場合は通常、データベースの構成方法にさらに重大な問題があることを示しています。ログ・ファイルは、ORACLE_HOME/assistants/opca/install.log にあります。他にエラーがない場合は、SSOPARTNERCONFIG モードで ptlasst スクリプトを実行して、この問題を手動で解決できます。詳細は、構成ガイドを参照してください。

エラー : プロキシ設定が正しくないため OracleAS Portal にログインできません。

原因 : プロキシ設定が間違っているか、無効の場合、OracleAS Portal はログインを正しく処理できません。

処置 : SQL*Plus を使用して、OracleAS Portal スキーマの所有者 (デフォルトは Portal) としてログインし、次の文を実行します。

```
begin
wwpre_api_value.set_value_as_varchar2(
p_path=> 'oracle.portal.proxy',
p_name=> 'name', p_level_type =>wwpre_api_value.SYSTEM_LEVEL_TYPE, p_level_
name => null,
p_value => NULL);
wwpre_api_value.set_value_as_number(
p_path=> 'oracle.portal.proxy',
p_name=> 'port',
p_level_type =>
wwpre_api_value.SYSTEM_LEVEL_TYPE,
p_level_name => null,
p_value=> NULL);
end;
/
```

これらの文を実行すると、プロキシ設定の値が NULL になります。

ポートレット開発のエラー・メッセージ

この章では、OracleAS Portal でアプリケーションやポートレットを開発しているときに発生する可能性のあるエラー・メッセージ、その原因および推奨される処置について説明します。OracleAS Portal アプリケーション開発の詳細は、『Oracle Application Server Portal ユーザーズ・ガイド』を参照してください。

この章では、ポートレット開発に関する次のエラー・メッセージについて説明します。

- 4.1 項「ORA-06510 ～ ORA-20000」
- 4.2 項「WWC-43102 ～ WWC-43112」
- 4.3 項「WWC-44009 ～ WWC-51000」
- 4.4 項「WWC-44761 ～ WWC-44795」
- 4.5 項「WWC-44801 ～ WWC-44997」
- 4.6 項「WWC-49104 ～ WWC-57272」
- 4.7 項「WWS-19679 ～ WWS-25838」
- 4.8 項「WWV-01801 ～ WWV-17128」
- 4.9 項「アプリケーション開発に関するその他のエラー・メッセージ」
- 4.10 項「標準の HTTP エラー・コード」

4.1 ORA-06510 ~ ORA-20000

この項では、次のエラー・メッセージについて説明します。

- **ORA-06510 および ORA-06512 - PL/SQL: ユーザー定義の例外が発生しましたが、処理されませんでした**
- **ORA-20000 WPG_SESSION の呼出しによってエラーが発生しました**

ORA-06510 および ORA-06512 - PL/SQL: ユーザー定義の例外が発生しましたが、処理されませんでした

原因: ホスト名が変更されましたが、Oracle Portal が新しいホスト名で正しく構成されませんでした。

処置: opca を MIDTIER モードで実行して、Oracle Portal を新しいホスト名に関連付けます。

ORA-20000 WPG_SESSION の呼出しによってエラーが発生しました

原因: DAD の認証モードが、Single Sign-On ではなく Basic になっています。また、使用中のアクティブなセッションがクリーン・アップ・ジョブによって削除された場合、セッション行がセッション表から削除されたことが原因でこのエラーが発生する可能性もあります。デフォルトでは、アクティブなセッションは作成から 1 週間後に削除されます。

処置: DAD の認証モードが Basic ではなく Single Sign-On になっていることを確認します。ブラウザのウィンドウをすべて閉じ（セッション Cookie を削除し）、OracleAS Portal に再接続します。

原因: Cookie の値は、セッション表からセッション行を選択するときに使用されます。このため、偽の Cookie (portal=true Cookie など) によって、またはなんらかの操作（要求の途中で「停止」をクリックするなど）で壊れた Cookie によって、NO_DATA_FOUND エラーが発生することがあります。

処置: ブラウザを閉じ、OracleAS Portal にのみ接続してみます。Web カレンダー・アプリケーションによって portal=true Cookie が生成されます。

原因: process_signon に問題（OID 問題や Web Cache の失効化問題など）が発生した場合、セッション行は process_signon で新しい Cookie 値を使って更新されますが、process_signon に例外が発生したためにブラウザで Cookie が設定されず、それが原因でエラー・ページが表示されます。

処置: process_signon の問題の原因を調べて、それを解決します。Oracle HTTP Server の error_log を調べると、process_signon 問題の性質についての手がかりが見つかります。

4.2 WWC-43102 ~ WWC-43112

この項では、次のエラー・メッセージについて説明します。

- WWC-43102 - 名前フィールドが空です。
- WWC-43103 - 名前フィールドの値が最大長を超えています。
- WWC-43105 - 実装所有者フィールドが空です。
- WWC-43107 - 実装名フィールドが空です。
- WWC-43109 - 実装名が最大長を超えています。
- WWC-43112 - タイムアウトには、空白または正の値を設定する必要があります。

WWC-43102 - 名前フィールドが空です。

原因: プロバイダ名フィールドが設定されていません。

処置: プロバイダ名フィールドに入力します。

WWC-43103 - 名前フィールドの値が最大長を超えています。

原因: 入力したプロバイダ名が長すぎます。

処置: 200 文字以下のプロバイダ名を入力します。

WWC-43105 - 実装所有者フィールドが空です。

原因: データベース・プロバイダに実装所有者フィールドは必須です。

処置: 実装所有者を入力します。

WWC-43107 - 実装名フィールドが空です。

原因: データベース・プロバイダに実装名フィールドは必須です。

処置: 実装名を入力します。

WWC-43109 - 実装名が最大長を超えています。

原因: 入力した実装名が長すぎます。

処置: 2000 文字以下の実装名を入力します。

WWC-43112 - タイムアウトには、空白または正の値を設定する必要があります。

原因: 入力したタイムアウト値が負です。

処置: タイムアウトに空白または正の値を設定します。

4.3 WWC-44009 ~ WWC-51000

この項では、次のエラー・メッセージについて説明します。

- WWC-44009 - 指定された名前はすでに使用されています。推奨名 : <New Name>
- WWC-44081 - このスタイルの表示名を指定します。
- WWC-44091 - 領域の幅を数値で指定します。
- WWC-44102 - 有効な名前と表示名を指定してください。
- WWC-44156 - このレイアウトの表示名を指定します。
- WWC-44234 - ページが見つかりません。
- WWC-44552 - ポートレットの間隔を数値で指定してください。
- WWC-44570 - ポートレットの周囲の間隔を数値で指定してください。
- WWC-44704 - ページ・パラメータを作成している際にエラーが発生
- WWC-44705 - ページ・パラメータ "<page parameter>" の再順序付けでエラーが発生
- WWC-44706 - ページ・パラメータ "<page parameter>" の削除中にエラーが発生
- WWC-44707 - ページ・パラメータ "<page parameter>" の編集中にエラーが発生
- WWC-44708 - 無効なページ・パラメータ名 "<page parameter name>"
- WWC-44709 - ポートレット・パラメータ "<portlet parameter>" の値を編集中にエラーが発生
- WWC-44714 - ページ・パラメータ "<page parameter>" のカスタマイズ中にエラーが発生
- WWC-44715 - ページ・パラメータをデフォルト値にリセットする際にエラーが発生
- WWC-44721 - ポートレット・パラメータを取り出す際にエラーが発生
- WWC-44751 - パラメータ "<parameter>" の値を編集中にエラーが発生
- WWC-44752 - イベント "<event>" をページ "<page>" にリンク中にエラーが発生
- WWC-44753 - イベント "<event>" からリンクを削除中にエラーが発生
- WWC-44754 - イベント "<event>" とページ "<page>" 間のリンクを更新中にエラーが発生
- WWC-44755 - 無効なイベント出力名 "<event output name>"
- WWC-44756 - 入力された名前はすでに使われています。異なる一意の名前を入力してください。
- WWC-44757 - パラメータを作成中にエラーが発生 : <parameter>
- WWC-44758 - パラメータを編集中にエラーが発生 : <parameter>
- WWC-44759 - パラメータはカスタマイズできません

WWC-44009 - 指定された名前はすでに使用されています。推奨名 : <New Name>

原因: 指定された名前のページがすでに存在します。

OracleAS Portal では、そのページに新しい名前を使用することをお勧めします。

WWC-44081 - このスタイルの表示名を指定します。

原因: ユーザーがスタイルの表示名を入力していません。エラー・メッセージは、スタイルの作成時およびコピー時に表示されます。

処置: スタイルの表示名が空白でないようにします。

WWC-44091 - 領域の幅を数値で指定します。

原因: このエラーは「領域の編集」画面に表示されます。ユーザーが、幅属性に数値以外を指定しようとしてしました。

処置: 必ず整数値 (1 ~ 100 を推奨) を指定します。相対幅の場合は、必ず % 記号を付けて指定してください (例: 65%)。絶対幅の場合は、数値のみを指定してください (例: 35)。

WWC-44102 - 有効な名前と表示名を指定してください。

原因: ユーザーがページの名前または表示名を入力していません。

処置: ページの名前および表示名が空白でないようにします。

WWC-44156 - このレイアウトの表示名を指定します。

原因: ユーザーがレイアウトの表示名を入力していません。エラー・メッセージは、レイアウトの作成時およびコピー時に表示されます。

処置: レイアウトの表示名が空白でないようにします。

WWC-44234 - ページが見つかりません。

原因: Portal ページがありません。

処置: 表示または編集しようとしているページの名前または ID が正しいかどうかを調べます。

WWC-44552 - ポートレットの間隔を数値で指定してください。

原因: このエラーは、「領域の編集」画面でユーザーが「ポートレットの間隔」属性に数値以外を指定しようとした場合に表示されます。

処置: 必ず整数値 (1 ~ 100 を推奨) を指定します。ポートレットの間隔に値を指定しない場合は、値 =0 を設定するか、または NULL フィールドにします。

WWC-44570 - ポートレットの周囲の間隔を数値で指定してください。

原因: このエラーは、「領域の編集」画面でユーザーが「ポートレットの周囲の間隔」属性に数値以外を指定しようとした場合に表示されます。

処置: 必ず整数値（1～100を推奨）を指定します。ポートレットの周囲の間隔に値を指定しない場合は、値=0を設定するか、またはNULLフィールドにします。

WWC-44704 - ページ・パラメータを作成している際にエラーが発生

原因: ページ・パラメータの作成中にエラーが発生しました。

処置: 画面を更新して、ページがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44705 - ページ・パラメータ "<page parameter>" の再順序付けでエラーが発生

原因: ページ・パラメータの再順序付け中にエラーが発生しました。

処置: 画面を更新して、ページおよびページ・パラメータがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44706 - ページ・パラメータ "<page parameter>" の削除中にエラーが発生

原因: ページ・パラメータの削除中にエラーが発生しました。

処置: 画面を更新して、ページおよびページ・パラメータがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44707 - ページ・パラメータ "<page parameter>" の編集中にエラーが発生

原因: ページ・パラメータの値の編集中にエラーが発生しました。

処置: 画面を更新して、ページ・パラメータが利用可能であることを確認してください。

WWC-44708 - 無効なページ・パラメータ名 "<page parameter name>"

原因: このページ・パラメータ名は無効です。

処置: 有効なページ・パラメータ名を入力します。有効なページ・パラメータ名のリストは、ページ・プロパティ・パラメータのタブを参照してください。

WWC-44709 - ポートレット・パラメータ "<portlet parameter>" の値を編集中にエラーが発生

原因: ポートレット・パラメータの値の編集中にエラーが発生しました。

処置: 画面を更新して、ポートレット・パラメータが利用可能であることを確認してください。

WWC-44714 - ページ・パラメータ "<page parameter>" のカスタマイズ中にエラーが発生

原因: ページ・パラメータのカスタマイズ中にエラーが発生しました。

処置: 画面を更新して、ページ・パラメータがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44715 - ページ・パラメータをデフォルト値にリセットする際にエラーが発生

原因: ページ・パラメータをデフォルト値にリセット中にエラーが発生しました。

処置: 画面を更新して、カスタマイズ画面にまだアクセスできることを確認してください。

WWC-44721 - ポートレット・パラメータを取り出す際にエラーが発生

原因: ポートレット・パラメータの取出し中にエラーが発生しました。

処置: 画面を更新して、ポートレットがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44751 - パラメータ "<parameter>" の値を編集集中にエラーが発生

原因: イベント・パラメータの値の編集集中にエラーが発生しました。

処置: 画面を更新して、イベント・パラメータが利用可能であることを確認してください。

WWC-44752 - イベント "<event>" をページ "<page>" にリンク中にエラーが発生

原因: イベントをページにリンク中にエラーが発生しました。

処置: 画面を更新して、イベントおよびページが利用可能であることを確認してください。

WWC-44753 - イベント "<event>" からリンクを削除中にエラーが発生

原因: イベントからリンクを削除中にエラーが発生しました。

処置: 画面を更新して、イベントが利用可能であることを確認してください。

WWC-44754 - イベント "<event>" とページ "<page>" 間のリンクを更新中にエラーが発生

原因: イベントのターゲット・ページを更新中にエラーが発生しました。

処置: 画面を更新して、イベントおよびページが利用可能であることを確認してください。

WWC-44755 - 無効なイベント出力名 "<event output name>"

原因: このイベント出力名は無効です。

処置: 有効なイベント出力名を入力します。

WWC-44756 - 入力された名前はすでに使われています。異なる一意の名前を入力してください。

原因: 入力した名前はすでに使用されています。

処置: 一意の名前を入力します。

WWC-44757 - パラメータを作成中にエラーが発生 : <parameter>

原因: パラメータの作成中にエラーが発生しました。

処置: 画面を更新して、親オブジェクトがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44758 - パラメータを編集中にエラーが発生 : <parameter>

原因: パラメータの編集中にエラーが発生しました。

処置: 画面を更新して、親オブジェクトがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44759 - パラメータはカスタマイズできません

原因: このパラメータはカスタマイズできません。

処置: 画面を更新して、パラメータがカスタマイズ不可であることを確認してください。

4.4 WWC-44761 ~ WWC-44795

この項では、次のエラー・メッセージについて説明します。

- WWC-44761 - パラメータを削除中にエラーが発生 : <parameter>
- WWC-44762 - パラメータ "<parameter>" が見つかりません
- WWC-44765 - エラーを発生させるパラメータ "<parameter>" を検索 : <error>
- WWC-44766 - パラメータ・マッピングの作成中にエラーが発生 : <parameter>
- WWC-44767 - パラメータ・マッピングの更新中にエラーが発生 : <parameter>
- WWC-44768 - サポートされない from タイプ "<source type>"
- WWC-44769 - パラメータ "<parameter>" は最小の表示順序を保持しており、上に移動できません。
- WWC-44770 - パラメータ "<parameter>" を表示順序の上に移動することに失敗しました : %2
- WWC-44775 - フロー要素が見つかりません
- WWC-44779 - フロー・リンク "<flow link>" の作成中にエラーが発生
- WWC-44780 - フロー・リンク "<flow link>" の削除中にエラーが発生
- WWC-44781 - フロー・リンクが見つかりません
- WWC-44783 - イベント "<event>" の親タイプが無効です
- WWC-44784 - イベント "<event>" の親はポートレットではありません
- WWC-44786 - イベント "<event>" はすでに存在します
- WWC-44787 - イベント "<event>" の作成中にエラーが発生 : <event>
- WWC-44788 - イベント <event> を削除中にエラーが発生
- WWC-44789 - イベント <event> を削除中にエラーが発生
- WWC-44790 - イベントが見つかりません
- WWC-44791 - イベント "<event>" が見つかりません
- WWC-44792 - イベントが見つかりません
- WWC-44793 - イベント・マップの作成中にエラーが発生 : <event map>
- WWC-44794 - イベント・マップの削除中にエラーが発生 : <event map>
- WWC-44795 - イベント・マップが見つかりません

WWC-44761 - パラメータを削除中にエラーが発生 : <parameter>

原因: パラメータの削除中にエラーが発生しました。

処置: 画面を更新して、親オブジェクトおよびパラメータがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44762 - パラメータ "<parameter>" が見つかりません

原因: パラメータが見つかりませんでした。

処置: 画面を更新して、親オブジェクトがまだ利用可能でアクセスできることを確認してください。

WWC-44765 - エラーを発生させるパラメータ "<parameter>" を検索 : <error>

原因: パラメータの検索中にエラーが発生しました。

処置: 画面を更新して、そのオブジェクトがまだ利用可能でアクセスできることを確認してください。

WWC-44766 - パラメータ・マッピングの作成中にエラーが発生 : <parameter>

原因: パラメータ・マップの作成中にエラーが発生しました。

処置: 画面を更新して、親オブジェクトがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44767 - パラメータ・マッピングの更新中にエラーが発生 : <parameter>

原因: パラメータ・マップの編集中にエラーが発生しました。

処置: 画面を更新して、親オブジェクトがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44768 - サポートされない from タイプ "<source type>"

原因: このタイプのソース・オブジェクトはサポートされません。

処置: 別のソース・オブジェクトを選択してください。

WWC-44769 - パラメータ "<parameter>" は最小の表示順序を保持しており、上に移動できません。

原因: リストの先頭にあるパラメータの表示順序をさらに上げようとした。

処置: 画面を更新して、パラメータがリストの先頭にあることを確認してください。

WWC-44770 - パラメータ "<parameter>" を表示順序の上に移動することに失敗しました : %2

原因: パラメータの表示順序を上げようとしてしました。

処置: 画面を更新して、パラメータがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44775 - フロー要素が見つかりません

原因: フロー要素が見つかりませんでした。

処置: 画面を更新して、依存オブジェクトがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44779 - フロー・リンク "<flow link>" の作成中にエラーが発生

原因: フロー・リンクの作成中にエラーが発生しました。

処置: 画面を更新して、親ページがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44780 - フロー・リンク "<flow link>" の削除中にエラーが発生

原因: フロー・リンクの削除中にエラーが発生しました。

処置: 画面を更新して、親ページがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44781 - フロー・リンクが見つかりません

原因: フロー・リンクが見つかりませんでした。

処置: 画面を更新して、親ページがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44783 - イベント "<event>" の親タイプが無効です

原因: 親オブジェクトに有効なタイプがありません。

処置: 画面を更新して、親オブジェクトがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44784 - イベント "<event>" の親はポートレットではありません

原因: 親オブジェクトがポートレットではありません。

処置: ポートレットを指定してください。

WWC-44786 - イベント "<event>" はすでに存在します

原因: イベント名が重複しています。

処置: 一意のイベント名を入力してください。

WWC-44787 - イベント "<event>" の作成中にエラーが発生 : <event>

原因: イベントの作成中にエラーが発生しました。

処置: 画面を更新して、親オブジェクトがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44788 - イベント <event> を削除中にエラーが発生

原因: イベントの削除中にエラーが発生しました。

処置: 画面を更新して、イベントがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44789 - イベント <event> を削除中にエラーが発生

原因: 複数のイベントの削除中にエラーが発生しました。

処置: 画面を更新して、それらのイベントがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44790 - イベントが見つかりません

原因: イベントが見つかりませんでした。

処置: 画面を更新して、親オブジェクトがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44791 - イベント "<event>" が見つかりません

原因: イベントが見つかりませんでした。

処置: 画面を更新して、親オブジェクトがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44792 - イベントが見つかりません

原因: 複数のイベントが見つかりませんでした。

処置: 画面を更新して、親オブジェクトがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44793 - イベント・マップの作成中にエラーが発生 : <event map>

原因: イベント・マップの作成中にエラーが発生しました。

処置: 画面を更新して、イベントがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44794 - イベント・マップの削除中にエラーが発生 : <event map>

原因: イベント・マップの削除中にエラーが発生しました。

処置: 画面を更新して、イベントがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44795 - イベント・マップが見つかりません

原因: イベント・マップが見つかりませんでした。

処置: 親オブジェクトがまだ利用可能であることを確認してください。

4.5 WWC-44801 ~ WWC-44997

この項では、次のエラー・メッセージについて説明します。

- WWC-44801 - パラメータ・マッピングを検索中にエラーが発生 : <parameter map>
- WWC-44803 - 重複したイベント・マップは許可されていません
- WWC-44812 - ポートレット・イベントを取り出し中にエラーが発生
- WWC-44815 - イベント "<event>" からリンクを取得中にエラーが発生
- WWC-44816 - イベント "<event>" のターゲット・ページを取得中にエラーが発生
- WWC-44829 - パラメータ・マップ・メタデータ <parameter map metadata> を書き出し中にエラーが発生
- WWC-44833 - イベント "<event>" の表示名または説明を追加中にエラーが発生
- WWC-44834 - イベント : <event> を削除中にエラーが発生
- WWC-44835 - ポートレットイベント "<event>" からページ・イベントを作成中にエラーが発生 : <event>
- WWC-44836 - イベント更新後、ページキャッシュを無効にする際にエラーが発生 : <event>
- WWC-44840 - パラメータ "<parameter>" のコンテキストが無効です
- WWC-44841 - パラメータ変更イベントでエラーが発生 : <event>
- WWC-44843 - ページが見つかりません : <page>、<page>
- WWC-44891 - システム変数 "<variable>" は無効です。別の値を選択してください。
- WWC-44899 - パラメータ・マップ変更イベント中に発生したエラー : <parameter map>
- WWC-44901 - フロー・リンクの子を削除中に発生したエラー : <flow link children>
- WWC-44902 - パラメータ・マップの削除中に発生したエラー : <parameter map>
- WWC-44997 - ポートレット・リポジトリの更新中にエラーが発生しました。このページはポートレットとして公開されているため、手動でリポジトリを更新できません。

**WWC-44801 - パラメータ・マッピングを検索中にエラーが発生：
<parameter map>**

原因：パラメータ・マップが見つかりませんでした。

処置：画面を更新して、親オブジェクトがまだ利用可能でアクセスできることを確認してください。

WWC-44803 - 重複したイベント・マップは許可されていません

原因：重複したイベント・マップを作成しようとしてしました。

処置：新規イベント・マップを作成しないで、既存のイベント・マップを編集または削除してください。

WWC-44812 - ポートレット・イベントを取り出し中にエラーが発生

原因：ポートレット・イベントの取出し中にエラーが発生しました。

処置：画面を更新して、ポートレットがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44815 - イベント "<event>" からリンクを取得中にエラーが発生

原因：イベントのリンクを取得中にエラーが発生しました。

処置：画面を更新して、イベントが利用可能であることを確認してください。

WWC-44816 - イベント "<event>" のターゲット・ページを取得中にエラーが発生

原因：イベントのターゲット・ページを取得中にエラーが発生しました。

処置：画面を更新して、イベントが利用可能であることを確認してください。

**WWC-44829 - パラメータ・マップ・メタデータ <parameter map metadata>
を書き出し中にエラーが発生**

原因：パラメータ・マップ・メタデータの書出し中にエラーが発生しました。

処置：画面を更新して、パラメータ・マップがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44833 - イベント "<event>" の表示名または説明を追加中にエラーが発生

原因：表示名または説明を追加中にエラーが発生しました。

処置：画面を更新して、イベントがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44834 - イベント : <event> を削除中にエラーが発生

原因：イベントの編集中にエラーが発生しました。

処置：画面を更新して、イベントがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44835 - ポートレットイベント "<event>" からページ・イベントを作成中にエラーが発生 : <event>

原因：ポートレット・イベントからページ・イベントを作成中にエラーが発生しました。

処置：画面を更新して、ポートレット・イベントがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44836 - イベント更新後、ページキャッシュを無効にする際にエラーが発生 : <event>

原因：イベントの更新中にエラーが発生しました。

処置：画面を更新して、イベントまたは依存オブジェクトがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44840 - パラメータ "<parameter>" のコンテキストが無効です

原因：このパラメータの親オブジェクト（ポートレット、ページまたはイベント）が無効です。

処置：画面を更新して、親オブジェクトが存在していることを確認してください。

WWC-44841 - パラメータ変更イベントでエラーが発生 : <event>

原因：パラメータの更新中にエラーが発生しました。

処置：画面を更新して、パラメータまたは依存オブジェクト、あるいはその両方がまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44843 - ページが見つかりません : <page>、<page>

原因：ページが見つかりませんでした。

処置：そのページが存在すること、およびページを正しく入力したことを確認してください。

WWC-44891 - システム変数 "<variable>" は無効です。別の値を選択してください。

原因：このシステム変数は無効です。

処置：次の有効なシステム変数のいずれかを入力します。1. USER_NAME 2. USER_ID 3. COMPANY_NAME 4. SUBSCRIBER_ID 5. NLS_LANG 6. NLS_TERRITORY 7. TRANSLATION_LANG

WWC-44899 - パラメータ・マップ変更イベント中に発生したエラー : <parameter map>

原因: パラメータ・マップの更新中にエラーが発生しました。

処置: 画面を更新して、パラメータ・マップまたは依存オブジェクト、あるいはその両方がまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44901 - フロー・リンクの子を削除中に発生したエラー : <flow link children>

原因: フロー・リンクの子を削除中にエラーが発生しました。

処置: 画面を更新して、依存オブジェクトがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44902 - パラメータ・マップの削除中に発生したエラー : <parameter map>

原因: パラメータ・マップの削除中にエラーが発生しました。

処置: 画面を更新して、依存オブジェクトがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-44997 - ポートレット・リポジトリの更新中にエラーが発生しました。このページはポートレットとして公開されているため、手動でリポジトリを更新できません。

原因: ポートレット・リポジトリの更新中にエラーが発生しました。

処置: このページはポートレットとして公開されているため、手動でリポジトリを更新できません。

4.6 WWC-49104 ~ WWC-57272

この項では、次のエラー・メッセージについて説明します。

- WWC-49104 - 入力された日付の形式が無効です。
- WWC-49105 - 入力された色の値の形式が無効です。
- WWC-51000 - 設定パスが存在しません：
- WWC-57267 - ページ・グループの構成中にエラーが発生しました。
- WWC-57268 - パラメータ・メタデータ <parameter metadata> を書き出し中にエラーが発生
- WWC-57269 - 親オブジェクト <parent object> は有効な ID を持っていません。
- WWC-57270 - フロー・リンクがイベントを変更中にエラーが発生：<flow link>
- WWC-57272 - ポートレット・インスタンス <portlet instance> の参照パス <reference path ID> が無効です。

WWC-49104 - 入力された日付の形式が無効です。

原因：ユーザーが入力した日付の形式が無効です。

処置：日付を入力するときは、有効な Oracle 日付形式（2000 年 4 月 23 日の場合は 23-apr-2000 など）を使用してください。

WWC-49105 - 入力された色の値の形式が無効です。

原因：色の値が無効です。

処置：色の値が 16 進形式（#FFFF93 など）で指定されていることを確認します。

WWC-51000 - 設定パスが存在しません：

原因：このエラーは、「列の表示書式」タブのヘッダーを空白のままにして、「SQL 問合せからのレポート」を実行しようとしたときに発生します。

処置：「列の表示書式」タブのヘッダーはすべて入力します。

WWC-57267 - ページ・グループの構成中にエラーが発生しました。

原因：ページ・グループの構成中にエラーが発生しました。

処置：画面を更新して、ページ・グループがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-57268 - パラメータ・メタデータ <parameter metadata> を書き出し中にエラーが発生

原因: パラメータ・メタデータの書出し中にエラーが発生しました。

処置: 画面を更新して、パラメータがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-57269 - 親オブジェクト <parent object> は有効な ID を持っていません。

原因: 親オブジェクトに有効な ID がありません。

処置: 画面を更新して、親オブジェクトがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-57270 - フロー・リンクがイベントを変更中にエラーが発生 : <flow link>

原因: フロー・リンクの更新中にエラーが発生しました。

処置: 画面を更新して、依存ページがまだ利用可能であることを確認してください。

WWC-57272 - ポートレット・インスタンス <portlet instance> の参照パス <reference path ID> が無効です。

原因: ポートレット・インスタンスの参照パスの形式が正しくありません。この問題は、ユーザーのインスタンスにおけるデータの破損が原因で発生することがあります。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡して、この問題を解決してください。オラクル社カスタマ・サポート・センターへの連絡方法については、「[オラクル社カスタマ・サポート・センターへの連絡方法](#)」を参照してください。

4.7 WWS-19679 ~ WWS-25838

この項では、次のエラー・メッセージについて説明します。

- WWS-19679 - アイテムが承認されました。
- WWS-19680 - アイテムが却下されました。
- WWS-19699 - このアイテムを表示する権限がありません。
- WWS-22507 - アイテムが存在しません。
- WWS-25827 - このポートレットでは、送信されたページ・グループは検索できません。
- WWS-25828 - このポートレットでは、送信されたページ・グループは検索できません。
- WWS-25829 - このポートレットでは、送信されたポートレットのデフォルト・ページ・グループは検索できません。
- WWS-25830 - このポートレットでは、送信されたポートレットのデフォルト・ページ・グループは検索できません。
- WWS-25838 - 有効期間は、1 から 1440 分の整数値である必要があります。

WWS-19679 - アイテムが承認されました。

原因:すでに承認されているアイテムを承認または却下しようとしてしました。

処置:ブラウザのウィンドウを更新して、通知内容を最新にします。承認または却下しようとしたアイテムが、リストに表示されなくなります。

WWS-19680 - アイテムが却下されました。

原因:すでに却下されているアイテムを承認または却下しようとしてしました。

処置:ブラウザのウィンドウを更新して、通知内容を最新にします。承認または却下しようとしたアイテムが、リストに表示されなくなります。

WWS-19699 - このアイテムを表示する権限がありません。

原因:このアイテムの表示に必要な権限がありません。

処置:ページ・グループ管理者またはページ・マネージャに、適切な権限の付与を依頼します。

WWS-22507 - アイテムが存在しません。

原因:存在しないアイテムの操作を実行しようとしてしました。

処置:ページを更新して最新のコンテンツを表示します。

WWS-25827 - このポートレットでは、送信されたページ・グループは検索できません。

原因: 検索ポートレットが、検索結果を表示するために別の検索ポートレットに検索を送信しました。結果ポートレットが、特定のページ・グループ・セットの結果を表示するようにカスタマイズされていますが、このページ・グループには、送信ポートレットで選択されたページ・グループは一切含まれていません。

処置: 送信ポートレットで選択されたページ・グループのリストを見直すか、送信ポートレットで選択されたページ・グループを検索できるように結果ポートレットの「デフォルトの編集」でカスタマイズ内容を変更します。

WWS-25828 - このポートレットでは、送信されたページ・グループは検索できません。

原因: 検索ポートレットが、検索結果を表示するために別の検索ポートレットに検索を送信しました。結果ポートレットが、特定のページ・グループ・セットの結果を表示するようにカスタマイズされていますが、このページ・グループには、送信ポートレットで選択されたページ・グループの一部が含まれていません。送信ポートレットと結果ポートレットのカスタマイズ内容に共通のページ・グループのみが検索されます。

処置: 送信ポートレットで選択されたページ・グループのリストを見直すか、送信ポートレットで選択されたページ・グループを検索できるように結果ポートレットの「デフォルトの編集」でカスタマイズ内容を変更します。

WWS-25829 - このポートレットでは、送信されたポートレットのデフォルト・ページ・グループは検索できません。

原因: 検索ポートレットが、検索結果を表示するために別の検索ポートレットに検索を送信しました。送信ポートレットから検索するページ・グループのリストが、当該ポートレットのデフォルトとして選択されています。結果ポートレットが、特定のページ・グループ・セットの結果を表示するようにカスタマイズされていますが、このページ・グループには、送信ポートレットで検索するページ・グループのデフォルト・リストとして選択されたページ・グループは一切含まれていません。

処置: 送信ポートレットの「デフォルトの編集」で選択されているデフォルト・ページ・グループのリストを見直すか、送信ポートレットで選択されたページ・グループを検索できるように結果ポートレットの「デフォルトの編集」でカスタマイズ内容を変更します。

WWS-25830 - このポートレットでは、送信されたポートレットのデフォルト・ページ・グループは検索できません。

原因: 検索ポートレットが、検索結果を表示するために別の検索ポートレットに検索を送信しました。送信ポートレットから検索するページ・グループのリストが、当該ポートレットのデフォルトとして選択されています。結果ポートレットが、特定のページ・グループ・セットの結果を表示するようにカスタマイズされていますが、このページ・グループには、送信ポートレットで検索するページ・グループのデフォルト・リストとして選択されたページ・グループの一部が含まれていません。送信ポートレットのデフォルト・ページ・グループと結果ポートレットのカスタマイズ内容に共通のページ・グループのみが検索されます。

処置: 送信ポートレットの「デフォルトの編集」で選択されているデフォルト・ページ・グループのリストを見直すか、送信ポートレットで選択されたページ・グループを検索できるように結果ポートレットの「デフォルトの編集」でカスタマイズ内容を変更します。

WWS-25838 - 有効期間は、1 から 1440 分の整数値である必要があります。

原因: 1 ~ 1440 分の整数値でない有効期間が指定されています。

処置: 1 ~ 1440 分の整数値で有効期間を入力します。

4.8 WWV-01801 ~ WWV-17128

この項では、次のエラー・メッセージについて説明します。

- [WWV-01801](#) - 例外が発生しました
- [WWV-06406](#) - リンクが指定されていません。
- [WWV-13003](#) - 無効なコンポーネント名 : <component name> - この名前はすでにスキーマ : <schema> に存在します。別の名前を選択してください。
- [WWV-17005](#) - 無効な列 <column datatype>: データ型とデフォルト値が一致しません。
- [WWV-17027](#) - 制約は重複することはできません : <constraint name> は制約の指定にすでに使用されています。
- [WWV-17078](#) - 制約名を指定する必要があります。
- [WWV-17083](#) - 一意 / 主キーの設定に使用される索引 (<index name>) は編集できません。索引を編集するのではなく、整合性の制約を変更してください。
- [WWV-17128](#) - 制約はリストに追加されていません。追加するには「リストに追加」ボタンをクリックしてください。

WWV-01801 - 例外が発生しました

原因：32K の HTML コードを含む動的ページを編集しています。

処置：32K 以上の HTML コードを動的ページに書き込むことは避けます。

WWV-06406 - リンクが指定されていません。

原因：「列の表示書式」タブで、選択と値の設定が行われていないリンクを編集しようとしました。

処置：コンボ・ボックスからリンクを選択します。

WWV-13003 - 無効なコンポーネント名：<component name> - この名前はすでにスキーマ：<schema> に存在します。別の名前を選択してください。

原因：同一のデータベース・スキーマ内で、同じ名前を使用して新しいアプリケーション・コンポーネントを作成しようとしました。

処置：別の名前を使用するか、別のスキーマ内で新しいコンポーネントを作成します。

WWV-17005 - 無効な列 <column datatype>: データ型とデフォルト値が一致しません。

原因：デフォルト値と列のデータ型が異なります。

処置：データ型が一致するように変更します。

WWV-17027 - 制約は重複することはできません：<constraint name> は制約の指定にすでに使用されています。

原因：すでに使用されている名前を新しい制約に付けようとしました。

処置：別の名前を選択します。

WWV-17078 - 制約名を指定する必要があります。

原因：作成中の制約に名前を指定していません。

処置：制約に名前を付けます。

WWV-17083 - 一意 / 主キーの設定に使用される索引 (<index name>) は編集できません。索引を編集するのではなく、整合性の制約を変更してください。

原因：一意 / 主キーの索引を編集しようとしました。

処置：一意 / 主キーではなく、表の整合性の制約を変更します。

WWV-17128 - 制約はリストに追加されていません。追加するには「リストに追加」ボタンをクリックしてください。

原因：制約が表に追加されませんでした。

処置：「リストに追加」ボタンをクリックして、制約を表に追加します。

4.9 アプリケーション開発に関するその他のエラー・メッセージ

次のエラー・メッセージには番号が付いていませんが、OracleAS Portal の実行中に発生します。

- プロバイダ・テスト・ページで 499 SSO エラーが発生しました
- ハンドルされていない例外が発生。ORA-20100: ORA-06512 "PORTAL.WWV_UTIL" 行 1038。ORA-01555 スナップショットが古すぎます: ロールバック・セグメント番号、名前 "<name>" が小さすぎます。ORA-22924 スナップショットが古すぎます。
- エラー: 必要な権限がありません。管理者に連絡し、デフォルト・プロバイダ・ビルダー・インスタンスの権限を取得してください。
- エラー: 文字列が見つかりません (ログイン・リンク・テキスト) 言語 (e) ドメイン (wwc) サブドメイン (sec)。文字列が見つかりません (ページ) 言語 (e) ドメイン (wwc) サブドメイン (pob)。
- エラー: 所定の位置に描画された URL アイテム・リンクをクリックするときに、utl_http の呼出しに失敗しました。
- エラー: 1 つまたは複数のポートレットでコンテンツがタイムアウトになりました。
- エラー: OracleAS Portal へのアクセス中に、「400 - 不正なリクエストです」が表示されるか、Web ブラウザがハングします。
- ポートレットは、まだ定義されていません。公開するユーザーは、このページの編集モードにおいて、ポートレットの「デフォルトの編集」をクリックしてポートレットを定義する必要があります。このページを公開しているユーザーに問い合わせてください。

プロバイダ・テスト・ページで 499 SSO エラーが発生しました

原因: このエラーは、「Web クリップिंग・プロバイダ」、「OmniPortlet プロバイダ」または「サンプル・プロバイダ」のプロバイダ・テスト・ページで「編集」リンクをクリックしたときに、これらのページの Oracle Application Server Single Sign-On 保護が有効になっていた場合、あるいは Oracle Application Server Single Sign-On が正しく構成されていない場合に発生することがあります。

処置: これらのページの Oracle Application Server Single Sign-On 保護を無効にします。このためには、次のファイルに含まれる `oracle.webdb.providerui.securedAccessParam` のパラメータ値を `false` に変更します。

```
$ORACLE_HOME/j2ee/OC4J_  
Portal/applications/portalTools/providerBuilder/WEB-INF/web.xml
```

テスト・ページの編集が終わったら、この値を `true` に戻すことができます。

ハンドルされていない例外が発生。ORA-20100: ORA-06512 "PORTAL.WWV_UTIL" 行 1038。ORA-01555 スナップショットが古すぎます: ロールバック・セグメント番号、名前 "<name>" が小さすぎます。 ORA-22924 スナップショットが古すぎます。

原因: このエラーは、テキスト・アイテムの編集時にとどき発生することがあります。この問題は、リリース 9.2 より前の Oracle データベースを使用している場合にのみ発生します。

処置: 次のように、表 `wwv_text` を変更して、LOB キャッシュを無効にします。

```
alter table wwv_text modify lob (text) (nocache);
```

エラー: 必要な権限がありません。管理者に連絡し、デフォルト・プロバイダ・ビルダー・インスタンスの権限を取得してください。

原因: OracleAS Portal データベースに接続できません。

処置: 管理者に連絡してください。

エラー：文字列が見つかりません (ログイン・リンク・テキスト) 言語 (e) ドメイン (wwc) サブドメイン (sec)。文字列が見つかりません (ページ) 言語 (e) ドメイン (wwc) サブドメイン (pob)。

原因：このエラーは、OracleAS Portal ホーム・ページにアクセスしようとして、各国語サポート (NLS) ファイルが見つからないときに表示されることがあります。

処置：このエラー・メッセージには、次の解決方法があります。

- ブラウザの言語設定が Oracle Portal でインストールした言語に設定されていることを確認します。Oracle Portal は 24 か国語でサポートされており、デフォルトの言語は英語です。
- ブラウザが Java と JavaScript を受け入れるように設定されていることを確認します。
- インストール・ログ・ファイルを調べて、wwvcbusctl と wwcusctl が OracleAS Portal の NLS 表の wwnls_strings\$ にロードされたかどうかを確認します。

エラー：所定の位置に描画された URL アイテム・リンクをクリックするときに、utl_http の呼出しに失敗しました。

原因：ファイアウォールの内側で実行する場合に、間違ったプロキシ値が指定された可能性があります。

処置：OracleAS Portal ホーム・ページの「管理」タブをクリックします。「サービス」バナーの下にある「グローバル設定」リンクをクリックします。「プロキシ・サーバー」セクションの下に指定した値が正しいかどうか確認します。「HTTP サーバー」、「HTTP サーバー・ポート」および「この文字で始まるドメインにプロキシ・サーバーを使用しない」の各フィールドに適切な値を入力します。

エラー：1 つまたは複数のポートレットでコンテンツがタイムアウトになりました。

原因：ポートレットが応答する前に、Parallel Page Engine がタイムアウトになっています。

処置：次のいずれかを実行します。

1. ファイル `ORACLE_HOME/j2ee/OC4J_Portal/applications/portal/portal/WEB-INF/web.xml` を調べ、パラメータ `requesttime` (デフォルトは 15 秒) を確認します。ポートレットの応答にかかっている時間がこの時間よりも短いと考えられる場合は、プロバイダ側になんらかの問題があります。プロバイダの応答特性を調べて、`requesttime` に定義された時間内で実行されていることを確認します。
2. PPE 構成に定義された `requesttime` 間隔の時間内に応答できるように、プロバイダのパフォーマンスを調整します。

3. Parallel Page Engine のデフォルトの requesttime を増やします。増やした値は、エンド・ユーザーが許容できる Web パフォーマンスの範囲内に収まっている必要があるので注意してください。
4. ファイル `ORACLE_HOME/j2ee/OC4J_Portal/applications/portal/portal/WEB-INF/web.xml` を編集します。

セクション `<servlet-class>oracle.webdb.page.ParallelServlet` を見つけます。

パラメータ `requesttime` を追加または編集して、ポートレットが応答するのに十分な大きさに設定します。たとえば、次のようになります。

```
<init-param>
  <param-name>requesttime</param-name>
  <param-value>40</param-value>
</init-param>
```

"40" という値は、必要に応じて、高い数値にも低い数値にも置き換えることができます。個々のデータベース・ポートレットでは、ポートレット・レコードにタイムアウトを設定することもできます。Web ポートレットでは、`provider.xml` でタイムアウトを増やすことができます。

注意： 前述のオプションでは、ポートレットが使用できる時間の上限が PPE 構成パラメータ `stall` で定義されています。このパラメータがシステム内のポートレットの最大要求時間より少し大きく設定されていることを確認してください。

エラー : OracleAS Portal へのアクセス中に、「400 - 不正なリクエストです」が表示されるか、Web ブラウザがハングします。

原因： SSL が構成されている場合、このエラーはおそらく Parallel Page Engine が HTTPS ポートを介して HTTP により通信しようとしたことが原因で発生します。

処置： 次の構成行を `web.xml` ファイルに追加します。このファイルは、`ORACLE_HOME/j2ee/OC4J_Portal/applications/portal/portal/WEB-INF` にあります。

```
<init-param>
  <param-name>httpsports</param-name>
  <param-value><your HTTPS port></param-value>
</init-param>
```

ポートレットは、まだ定義されていません。公開するユーザーは、このページの編集モードにおいて、ポートレットの「デフォルトの編集」をクリックしてポートレットを定義する必要があります。このページを公開しているユーザーに問い合わせてください。

原因: Web ポートレットをページに配置するときは、ポートレットそのものではなく、ポートレットへのリンクを表示できます。このリンクは、次のどちらかに設定できます。

- フル・ブラウザ・ウィンドウの表示項目
- 新しいブラウザ・ウィンドウの表示項目

どちらの場合も、ポートレットの一部のモード（カスタマイズ、デフォルト編集など）では、このエラー・メッセージが表示されることがあります。

処置: ポートレットをリンクではなく、所定の位置に表示します。

4.10 標準の HTTP エラー・コード

この項では、OracleAS Portal の使用時に発生する可能性のある標準の HTTP エラー・メッセージについて説明します。

- [HTTP-400 - Bad Request/Malformed Host Header.](#)
- [HTTP-403 -Creating a Provider Group from the Portal user interface is not possible in OracleAS Portal 9.0.4.](#)
- [HTTP-403 と ORA-1017 - HTTP 403 Forbidden.](#)
- [HTTP-500 - java.lang.NoClassDefFoundError: oracle/webdb/cache/jni/Cache at oracle.webdb.cache.CacheFactory.init\(Unknown Source\) at oracle.webdb.page.ContentManager.init\(Unknown Source\)](#)
- [HTTP-500 - In ORACLE_HOME/Apache/Apache/logs/error_log file: \[error\] \[client address\] MOD_OC4J_0013: Failed to call destination: OC4J_Portal's service\(\) to service the request.](#)
- [HTTP-503 と ORA-6550 - Service Temporarily Unavailable.](#)
- [HTTP-503 と ORA-12560 - Service Temporarily Unavailable.](#)
- [HTTP-503 と ORA-06506 - Service Temporarily Unavailable.](#)
- その他の HTTP エラー・コード (400 ~ 600)

HTTP-400 - Bad Request/Malformed Host Header.

原因: この状況は、OHS を実行しているマシンのホスト名にアンダースコア文字 (_) が含まれているときに発生することがあります。URL ではアンダースコアは無効です。

処置: ホストの名前をアンダースコアの含まれない名前に変更するか、IP アドレスによってマシンにアクセスします。

HTTP-403 -Creating a Provider Group from the Portal user interface is not possible in OracleAS Portal 9.0.4.

原因: OracleAS Portal 9.0.4 では、Portal ユーザー・インタフェースからプロバイダ・グループを作成できません。

処置: プロバイダ・グループを手動で構成する方法については、OracleAS Portal Center の「Understanding Provider Groups」および「Provider Group Server Setup」を参照してください。

HTTP-403 と ORA-1017 - HTTP 403 Forbidden.

原因: パスワードが変わったか、TNS 別名エントリが変更されました。

処置: 接続しようとしているスキーマの DAD に含まれるパスワードが正しいかどうか確認します。また、tnsnames.ora ファイルを調べて、TNS 別名が正しいデータベースを指していることを確認します。tnsnames.ora ファイルは次の場所にあります。

`ORACLE_HOME/network/admin`

HTTP-500 - java.lang.NoClassDefFoundError: oracle/webdb/cache/jni/Cache at oracle.webdb.cache.CacheFactory.init(Unknown Source) at oracle.webdb.page.ContentManager.init(Unknown Source)

原因: wwjni.jar ライブラリ参照が

`ORACLE_HOME/j2ee/OC4J_Portal/application-deployments/portal/orion-application.xml` ファイルに存在しません。このファイルのライブラリ・エントリが `portal.ear` の再デプロイ中に削除されたか、誤って削除された可能性があります。

処置: 次のエントリが

`$ORACLE_HOME/j2EE/OC4J_Portal/application-deployments/portal/orion-application.xml` ファイルに含まれていることを確認します。

```
<orion-application><library path=  
ORACLE_HOME/portal/jlib/wwjni.jar"/></orion-application>
```

HTTP-500 - In ORACLE_HOME/Apache/Apache/logs/error_log file: [error] [client address] MOD_OC4J_0013: Failed to call destination: OC4J_Portal's service() to service the request.

原因: OC4J_Portal インスタンスが停止しています。このエラーは、次のいずれかが原因で発生した可能性があります。

1. インスタンスがクラッシュした (つまり、JVM がクラッシュした)。
2. インスタンスがオーバーロードし、OPMN によって再起動された。
3. インスタンスが正しく起動しなかった。
4. インスタンスが意図的にシャットダウンされた。

処置: Enterprise Manager または dmctl コマンドによって、Oracle Application Server インスタンスの OC4J_Portal を起動します。2 番目の原因でこのエラーが発生した場合は、インスタンスの再起動にしばらく時間がかかることがあるため、何もする必要はありません。

HTTP-503 と ORA-6550 - Service Temporarily Unavailable.

原因: SSO 認証を使用して DAD が構成されましたが、PL/SQL アプリケーションでは SSO 認証を使用しません。これは、DAD が Enterprise Manager を使用して追加され、ユーザーがタイプ「Portal」または「一般」を選択したときに発生することがあります。

処置: ファイル \$ORACLE_HOME/Apache/modplsql/conf/dads.conf を開いて、認証モードを変更します。次のエントリを含む行を DAD から削除します。

```
PlsqlAuthenticationMode SingleSignOn
```

HTTP-503 と ORA-12560 - Service Temporarily Unavailable.

原因: OracleAS Portal データベースに接続できません。

処置: DAD に含まれるデータベース接続情報が正しく構成されていることを確認します。これは通常、バックエンド・データベースに接続するための host:port:sid 構文を使用するように構成されます。TNS エントリを使用するようにこの情報を変更した場合は、環境変数 TNS_ADMIN が適切な tnsnames.ora ファイルを指していること、およびこのエントリが解決できることを確認します。また、TNS リスナーとデータベースが稼働していることも確認する必要があります。

原因: データベース・セッションの最大数に達しました。

処置: データベース構成ファイルの processes パラメータ (init\$SID.ora => processes=NNN) を確認します。この数値は、httpd.conf で構成されている Apache プロセスの最大数 (StartServers+MaxSpareServers) と同じか、それよりも大きくする必要があります。この問題に該当しているかどうかを簡単に確認するには、SQL*Plus を介して SYS として接続し、次の問合せを実行します。

```
select username from v$session
```

行数のカウン트가 `processes` パラメータの値とほぼ同じであれば、最大プロセス数を超えている可能性があります。

HTTP-503 と ORA-06506 - Service Temporarily Unavailable.

原因: OWA パッケージの OWA_UTIL パッケージが SYS スキーマで無効です。

処置: 次の手順を実行します。

1. ディレクトリ `$ORACLE_HOME/Apache/modplsql/owa` に変更します。
2. SYS ユーザーとして SQL*Plus を実行し、次のスクリプトを記載された順序で実行します。

```
SQL> @pubutil.sql
```

```
SQL> @privutil.sql
```

その他の HTTP エラー・コード (400 ~ 600)

原因: OracleAS Portal ストアド・プロシージャの実行中に `mod_plsql` でエラーが発生したか、OracleAS Portal コードの実行中に Portal OC4J インスタンスでエラーが発生しました。

処置: 次の手順を実行します。

1. 次のエラー・ログ・ファイルを詳しく調べます。
 - OHS エラー・ログ `ORACLE_HOME/Apache/Apache/logs/error_log`
 - Portal OC4J エラー・ログ `ORACLE_HOME/j2ee/OC4J_Portal/application-deployments/portal/OC4J_Portal_default_island_1`
2. Oracle Application Server HTTP リスナーが稼働していること、および静的ファイルにアクセスできることを確認します。URL `http://host:port` にアクセスします。
3. Apache エラー・ログ・ファイルに `mod_plsql` 関連のエラーが含まれている場合は、次のいずれかの手順を実行します。
 - 有効な URL にアクセスしようとしていること、および URL 名が正しく入力されていることを確認します。
 - データベース接続に関する問題については、次の手順を実行します。
 - データベースが稼働していること、および SQL*Plus を使用し、ORACLE_HOME を Oracle Application Server ホームに設定してそのデータベースに接続できることを確認します。
 - DAD 構成ファイルを調べて、ユーザー名、パスワードおよび接続文字列が有効であることを確認します。

- システムに複数の Oracle ホームが存在する場合は、適切な `tnsnames.ora` ファイルが更新されたことを確認します。疑わしい場合は、接続文字列フィールドで `host:port:SID` 構文を使用できます。
- 接続に関する問題がない場合は、Portal DAD を介して単純な PL/SQL プロシージャ (`http://host:port/pls/portal/htp.p?cbuf=test` など) にアクセスできるかどうかを確認します。
- WPG_SESSION または WPG_SESSION_PRIVATE 関連のエラーについては、インストールが問題なく完了したかどうかを確認します。すべてのパッケージが有効であることを確認します。このためには、SYS として接続し、コマンド「`select object_name, status from all_objects where status like '%INVALID%';`」を実行します。
- OC4J Portal インスタンスにアクセスできることを確認します。このためには、`http://host.domain:port/jpdk/providers/sample` にアクセスします。
- 問題が引き続き発生する場合は、`mod_plsql` のドキュメントのトラブルシューティングの章を参照してください。

エクスポート/インポートのエラー・メッセージ

この章では、OracleAS Portal でのエクスポートおよびインポート時に発生する可能性のあるエラー・メッセージ、その原因および推奨される処置について説明します。エクスポートおよびインポートの詳細は、『Oracle Application Server Portal 構成ガイド』を参照してください。

注意： エクスポートまたはインポート・プロセスの実行中に、「操作のログを表示」リンクをクリックすると、エクスポートおよびインポート・プロセスのログを表示できます。このログに、この章で説明するエラー・メッセージが表示されます。エクスポートおよびインポート・プロセスの詳細なログやデバッグ・メッセージを表示するには、拡張ログ・オプションを選択します。

この章では、エクスポートやインポートに関する次のエラー・メッセージについて説明します。

- 5.1 項「ORA-00001 ～ ORA-02291」
- 5.2 項「WWU-52883 ～ WWU-52927」
- 5.3 項「エクスポート / インポートに関するその他のエラー・メッセージ」

5.1 ORA-00001 ~ ORA-02291

この項では、次のエラー・メッセージについて説明します。

- ORA-00001 一意制約 (PORTAL.WWSBR_PORTLET_OBJECT_UK) に反しています
- ORA-02291 整合性制約 (PORTAL.WWSBR_SILA_SITE_IS_SITE_FK) に違反しました - 親キーがありません
- ORA-02291 整合性制約 (PORTAL.WWSBR_THINGSUBTYPE_ID_FK) に違反しました - 親キーがありません
- ORA-02291 整合性制約 (PORTAL.WWPOB_PORTLET_INST_SITE_FK) に違反しました - 親キーがありません
- ORA-04088 トリガー "PORTAL.WWSBR_THAT_BRIUD_TRG" の実行中にエラーが発生しました

ORA-00001 一意制約 (PORTAL.WWSBR_PORTLET_OBJECT_UK) に反しています

原因: 対応するエントリが新しい値で更新されるときに、wwsbr_portlet\$ によって一意制約違反が発生します。このエラーは、上書きモードでインポートされたページ・ポートレットやナビゲーション・ページを解決できなかったときに発生することがあります。

処置: 次の手順を実行します。

1. ページ・ポートレットをバックアップします。
2. ターゲットに含まれるページ (ポートレットとして公開されるページ) を削除します。
3. このページ・ポートレットのインポートを上書きモードでもう一度実行します。

ORA-02291 整合性制約 (PORTAL.WWSBR_SILA_SITE_IS_SITE_FK) に違反しました - 親キーがありません

原因: ページ・グループのサイト言語レコードがターゲットに含まれるページ・グループに適合しません。

処置: トランスポート・セットに含まれる対応するページ・グループが解決され、その値が wwutl_sbr_tx_site_language\$ に伝播されているかどうかを確認します。

ORA-02291 整合性制約 (PORTAL.WWSBR_THINGSUBTYPE_ID_FK) に違反しました - 親キーがありません

原因: thingssubtype, thingssubtype_siteid (アイテム・タイプ情報) のサブ・タイプ属性 (www_subtypeattribute) を解決できません。

処置: このアイテム・タイプが解決され、その新しい値が wwutl_sbr_tx_subtypeattribute\$ に伝播されているかどうかを確認します。

ORA-02291 整合性制約 (PORTAL.WWPOB_PORTLET_INST_SITE_FK) に違反しました - 親キーがありません

原因: トランスポート・セットの portlet_instance 表が間違った siteid を指しています。この問題は、一部の外部ページ・ポートレット (そのページ・グループに対してローカルなポートレット以外) をインポートしたが、ページ・グループはインポートしなかったときに発生することがあります。

処置: 指定したページのすべてのページ・ポートレットがページ・グループに付属しているか、ターゲットに含まれていることを確認します。

ORA-04088 トリガー "PORTAL.WWSBR_THAT_BRIUD_TRG" の実行中に エラーが発生しました

原因: 「アイテム属性」トランスポート表の subtypeattributeid に対応する subtypeattributeid が www_subtypeattributes 表で見つかりません。アイテム属性が挿入または更新されるときに、no_data_found 例外が発生します。

処置: 次の手順に従って、subtypeattributeid がターゲットに存在することを確認してから、アイテム属性を挿入します。

1. カスタム・アイテム・タイプに基づいたアイテムが含まれるページをトランスポート・セットに組み込む場合は、カスタム・アイテム・タイプとそのすべての属性がターゲットに存在している必要があります。
2. カスタム・アイテム・タイプがトランスポート・セットの一部になっている場合は、あらかじめそのレコードがターゲットに挿入されていることを確認します。

注意: アイテム・タイプのインポートは、アイテムの挿入前に行われ
ます。

5.2 WWU-52883 ~ WWU-52927

この項では、次のエラー・メッセージについて説明します。

WWU-52883 - トランスポート・セット名は NULL にはできません

原因: トランスポート・セットに名前が指定されていません。

処置: トランスポート・セットに名前を指定してください。

WWU-52884 - トランスポート・セット <transport set> はすでにエクスポートされているため、インポートできます。

原因: トランスポート・セットのエクスポートが完了しています。

処置: エクスポートが正常に終了した場合は、トランスポート・セットをインポートに使用できます。

WWU-52885 - トランスポート・セット <transport set> はエクスポートされていないため、インポートできません

原因: トランスポート・セットのエクスポートが完了していません。

処置: トランスポート・セットをエクスポートします。

WWU-52886 - トランスポート・セット <transport set> は存在しません

原因: サーバーでトランスポート・セットが見つかりませんでした。

処置: トランスポート・セット名を確認します。必要なら再作成してください。

WWU-52887 - トランスポート・セット <transport set> は現在エクスポートおよびインポートできません。詳細についてはトランスポート・セットをブラウズしてください。

原因: トランスポート・セットのステータスが、EXTRACT_COMPLETE でも AVAILABLE でもありません。

処置: トランスポート・セットのリストを参照して、ステータスを調べます。

WWU-52888 - トランスポート・セット <transport set> に一致するものが複数見つかりました。適切なものを LOV から 1 つ選択してください。

原因: 同じ名前を持つ複数のトランスポート・セットがあります。

処置: LOV ではユーザーまたはタイムスタンプで正しいトランスポート・セットを特定できます。

WWU-52889 - トランスポート・セット <transport set> にはオブジェクトを追加できません。

原因: トランスポート・セットはすでにエクスポートまたはインポートされています。

処置: トランスポート・セットのリストを参照して、ステータスを調べます。

WWU-52926 - トランスポート・セット <transport set> にオブジェクトが含まれていません。

原因: トランスポート・セットが空です。

処置: トランスポート・セットにアクセスするために、1つ以上のオブジェクトを追加します。

WWU-52927 - ログイン・ユーザー <logged-in user> がトランスポート・セットの「管理」権限を持っていないため、この操作を実行できません。

原因: ログイン・ユーザーには、どのトランスポート・セットの「管理」権限もありません。

処置: 管理者に問い合せて、この権限を取得してください。

5.3 エクスポート / インポートに関するその他のエラー・メッセージ

この項では、番号の付いていない次のエラー・メッセージについて説明します。

- エラー: WWUTL_API_IMPORT_PAGEGROUP.post_resolve_items: ORA-01403 データが見つかりません。
- エラー: 挿入アイテムに誤りがあります - ORA-06510 PL/SQL: ユーザー定義の例外が発生しましたが、処理されませんでした ORA-06512 "PORTAL.WWERR_API_EXCEPTION" 行 71 ORA-06512 "PORTAL.WWSBR_THIN_BRI_TRG" 行 340 ORA-01403 データが見つかりません。ORA-04088 トリガーの実行中にエラーが発生しました
- エラー: WWUTL_API_IMPORT_PAGEGROUP.process_value_column: ORA-01403 データが見つかりません。WWUTL_API_IMPORT_PAGEGROUP.ResolveSubPagesAndListOfObjs: ORA-06510 PL/SQL: ユーザー定義の例外が発生しましたが、処理されませんでした
- エラー: ページ <pagename> が存在しません。カテゴリ <category> が存在しません。パースペクティブ <pers_name> が存在しません。
- エラー: 予期しないエラー - デフォルトの言語 <language> が存在しません。
- エラー: サイトがターゲットに存在しません。
- エラー: 属性を解決済の ID に更新できませんでした

- エラー: スタイルを新しい ID に更新中にエラーが発生しました。
- エラー: ポートレットの登録中に不明なエラーが発生しました。
- エラー: 挿入アイテムに誤りがあります - ORA-06510 PL/SQL: ユーザー定義の例外が発生しましたが、処理されませんでした ORA-06512 ORA-01403 データが見つかりません。ORA-04088 トリガーの実行中にエラーが発生しました
- エラー: ORA-02291 整合性制約 (Portal user ID.WWSBR_SILA_SITE_IS_SITE_FK) に違反しました - 親キーがありません
- [警告] ID = NULL コンテキスト = wwutl_api_import_security.propagate_names ユーザー = Portal user ID ページ名が更新されません : page ID

**エラー : WWUTL_API_IMPORT_PAGEGROUP.post_resolve_items:
ORA-01403 データが見つかりません。**

原因: アイテム関連の一部のエントリが正しく解決されないため、それらの一部のアイテムの一括の事後解決で「データが見つかりません」という例外が発生します。このエラーは、対応するページが正しく解決されないか、wwv_things\$ のアイテム・エントリのいずれかが正しく解決されないことが原因で発生することがあります。これは異常な状態です。

処置: このエラーは一部のナビゲーション・ページのインポート時に発生することがあるため、ナビゲーション・ページをインポートしてから、このナビゲーション・ページを参照するページをインポートします。

**エラー : 挿入アイテムに誤りがあります - ORA-06510 PL/SQL: ユーザー定義の例外が発生しましたが、処理されませんでした ORA-06512
"PORTAL.WWERR_API_EXCEPTION" 行 71 ORA-06512
"PORTAL.WWSBR_THIN_BRI_TRG" 行 340 ORA-01403 データが見つかりません。ORA-04088 トリガーの実行中にエラーが発生しました**

原因: wv_things\$ が間違った cornerid または siteid を指しています。関連付けられたページが正しく解決されないか、このアイテムへのページの伝播が行われませんでした。

処置: これは異常な状態であり、ページが解決または伝播されないことが原因で発生します。wwutl_sbr_tx_things\$ (挿入のマークが付いているアイテム表のトランスポート表) の cornerid および siteid がターゲットに含まれるページのそれと一致していることを確認します。

エラー : WWUTL_API_IMPORT_PAGEGROUP.process_value_column: ORA-01403 データが見つかりません。WWUTL_API_IMPORT_PAGEGROUP.ResolveSubPagesAndListOfObjs: ORA-06510 PL/SQL: ユーザー定義の例外が発生しましたが、処理されませんでした

原因 : オブジェクトのリストがその値列を処理できませんでした。原因の1つとして、データが破損している可能性があります。

処置 : エクスポート前にオブジェクトのリストがソースに描画されていることを確認します。

エラー : ページ <pagename> が存在しません。カテゴリ <category> が存在しません。パースペクティブ <pers_name> が存在しません。

原因 : トランспорт・セットに階層オブジェクトが含まれていますが、階層オブジェクトの親オブジェクトが見つかりません。

処置 : ターゲットまたはトランспорт・セット (解決済) に親オブジェクトが存在するかどうかを確認します。

エラー : 予期しないエラー - デフォルトの言語 <language> が存在しません。

原因 : トランспорт・セットのオブジェクトに対応するデフォルトの言語がターゲットにインストールされていません。たとえば、トランспорт・セットにはデフォルト以外の言語 (ロシア語) のページ・タイプ・オブジェクトが含まれていますが、現在のページ・タイプ・オブジェクトのデフォルトの言語はイタリア語で、これがターゲットにインストールされていません。

処置 : 問題になっているページ・グループのデフォルトの言語をインストールし、トランспорт・セットからページ・グループをインポートします。

エラー : サイトがターゲットに存在しません。

原因 : オブジェクトに対応するサイト情報が指定された言語で見つかりません。

処置 : サイト情報が存在しているかどうかを確認してから、このオブジェクトをインポートします。

エラー : 属性を解決済の ID に更新できませんでした

原因 : トランспорт属性が新しい ID に更新されるときに例外が発生しました。

処置 : 異常な状態です。サポート担当者に連絡してください。

エラー : スタイルを新しい ID に更新中にエラーが発生しました。

原因 : トランспорт・スタイルが新しい ID に更新されるときに例外が発生しました。

処置 : 異常な状態です。サポート担当者に連絡してください。

エラー：ポートレットの登録中に不明なエラーが発生しました。

原因：ターゲットまたはトランスポート・セットに、このページ（共有インスタンス・ポートレットが含まれている）の基礎となるポートレットが存在しません。たとえば、ページ X には共有インスタンス・ポートレットが含まれており、その共有インスタンス・ポートレットはカレンダー・ポートレットに基づいていますが、ターゲットまたはトランスポート・セットにはページ X しか存在しません。

処置：基礎となるポートレットをトランスポート・セットに追加します。

注意： ポートレットのコンテナ・オブジェクトは、マニフェストには表示されません。コンテナ・オブジェクトもトランスポート・セットに含まれているか、ターゲットに存在することを確認してください。

エラー：挿入アイテムに誤りがあります - ORA-06510 PL/SQL: ユーザー定義の例外が発生しましたが、処理されませんでした ORA-06512 ORA-01403 データが見つかりません。ORA-04088 トリガーの実行中にエラーが発生しました

原因：トランスポート・セットに同じ名前のページおよびテンプレートが含まれていると、上書きモードでのインポートが失敗します。

処置：同じページ・グループ内ではページとページ・テンプレートの名前が異なっていることを確認します。

エラー：ORA-02291 整合性制約 (*Portal user ID.WWSBR_SILA_SITE_IS_SITE_FK*) に違反しました - 親キーがありません

原因：データベース・プロバイダを使用してインポートされるページ・グループがトランスポート・セットに含まれていない共有属性を参照するため、トランスポート・セットのインポートに失敗しました。

処置：明示オブジェクトのすべての外部オブジェクトがターゲットに存在していることを確認します。存在しない場合は、外部オブジェクトを昇格してトランスポート・セットに追加します。

[警告] ID = NULL コンテキスト = wwutl_api_import_security.propagate_names ユーザー = *Portal user ID* ページ名が更新されません : page ID

原因：権限表に存在しないエントリの変更を伝播するための適切なマッピングが見つかりませんでした。

処置：この警告は無視してください。

アップグレードのエラー・メッセージ

この章では、OracleAS Portal のアップグレード時またはアップグレードした OracleAS Portal リポジトリの使用時に発生する可能性のあるエラー・メッセージと警告メッセージ、その原因および推奨される処置について説明します。各項のメッセージは、わかりやすいようにアルファベット順に記載してあります。Oracle9iAS Portal リポジトリのアップグレードの詳細は、Oracle Application Server の 10g へのアップグレード・ガイド、または OracleAS Portal Center (<http://portalcenter.oracle.com/upgrades>) で入手できるアップグレードに関するドキュメントを参照してください。

この章では、アップグレードに関する次のエラー・メッセージについて説明します。

- 6.1 項「インストールの問題」
- 6.2 項「リポジトリのアップグレードのエラー・メッセージ」
- 6.3 項「リポジトリのアップグレードの警告メッセージ」
- 6.4 項「アップグレード後の OracleAS Portal の使用時に発生するエラー」

6.1 インストールの問題

次の問題は、OUI インストーラの実行時に発生することがあります。

6.1.1 java.lang.OutOfMemory

原因: このエラーは、UNIX プラットフォームで JRE_MEMORY_OPTIONS の設定が低すぎる場合に発生することがあります。

処置: Java ヒープ・サイズを大きくしてインストーラを実行することを検討します。

```
$ runInstaller -ms64m -mx128m
```

6.2 リポジトリのアップグレードのエラー・メッセージ

次のすべてのメッセージの前には「エラー:」が付きます（説明の中で特に注記がないかぎり）。一部のエラーには、次のように追加の Oracle メッセージがその後に続きます。

エラー: ORA-12154 TNS: サービス名を解決できませんでした。

事前チェック段階を過ぎてアップグレード・スクリプトが実行された後にエラー・メッセージが生成された場合は、Oracle9iAS Portal スキーマにいくつかの変更が行われたことを示します。事前チェック手順の後でエラー・メッセージが発生した場合は、問題を解決し、Oracle9iAS Portal をそのバックアップからリストアして、アップグレード・スクリプトをもう一度実行する必要があります。

6.2.1 32/5 PLS-00593: 本体のパラメータ "P_BUTTON_STYLE" のデフォルト値は spec のデフォルト値と一致する必要があります。

原因: これは、WWUI_API_ALERT 型本体で実際に発生する PL/SQL エラーです。

処置: このエラーが WWUI_API_ALERT 型本体から発生しているかどうかを確認します。また、アップグレードの終了時にその型が有効であるかどうかを確認します。有効な場合、このエラーは問題ないため、無視してもかまいません。このエラーによって、アップグレードの状態が「アップグレードに失敗しました。」になることがあります。ただし、これ以外のエラーがなければ、アップグレードは成功したとみなすことができます。

6.2.2 SSO ID の事前チェック中にエラーが報告されました。外部アプリケーション ID の変換は行われていません。

原因: SSO ID を生成または検証するスクリプトによってエラーが報告されたため、有効な SSO ID を変換に利用できません。

処置: `-ssoid` パラメータに有効な SSO ID 値を指定して、アップグレードをもう一度実行します。SSO ID の値は、SSO 移行ログから取得できます。SSO ID は、`SSO_IDENTIFIER:<string>` という書式でこのログに表示されます (SSO_IDENTIFIER:9E3985C4F187966 など)。

6.2.3 SSO ID の自動生成中に予期しないエラーが発生しました : <string>

原因: 外部アプリケーションの識別子の変換に必要な SSO ID の生成中に予期しないエラーが発生しました。

処置: `-ssoid` パラメータに有効な SSO ID 値を指定して、アップグレードをもう一度実行します。SSO ID の値は、SSO 移行ログから取得できます。SSO ID は、`SSO_IDENTIFIER:<string>` という書式でこのログに表示されます (SSO_IDENTIFIER:9E3985C4F187966 など)。

6.2.4 SSO ID の自動生成中、環境設定ストアにアクセスしているときに予期しないエラーが発生しました。

原因: 環境設定ストアを読み取るときに予期しないエラーが発生しました。

処置: `-ssoid` パラメータに有効な SSO ID 値を指定して、アップグレードをもう一度実行します。SSO ID の値は、SSO 移行ログから取得できます。SSO ID は、`SSO_IDENTIFIER:<string>` という書式でこのログに表示されます (SSO_IDENTIFIER:9E3985C4F187966 など)。

6.2.5 予期しない例外が発生しました : <exception and where it occurred>

原因: 予期しないエラーによってスクリプトが中断されました。

処置: メッセージの詳細に基づいて、問題を解決し、データベースをそのバックアップからリストアして、アップグレード・スクリプトをもう一度実行します。

6.2.6 アップグレードの事前チェック中に予期しない例外が発生しました : <exception where it occurred>

原因: 予期しないエラーによってスクリプトが中断されました。

処置: メッセージの詳細に基づいて、問題を解決し、アップグレード・スクリプトをもう一度実行します。たとえば、次のようになります。

次の行がログに表示されている場合は、Oracle Text が正しくインストールされていないためにエラーが発生した可能性があります。

```
### フェーズ I ステップ 8: アップグレードの事前チェックの実行
Fri Apr 4 02:28:18 2003 にアップグレード・ステップが開始されました
upg/common/ut1chvpd.sql を実行中です。
接続しました
DoPreChecks () をコールしています
Fri Apr 4 02:28:21 2003 に事前チェックが開始されました
upg/common/sysuppre.sql をコールしています
接続しました
```

エラー: アップグレードの事前チェック中に予期しない例外が発生しました:

```
ORA-00942 表またはビューが存在しません。
----- PL/SQL コール・スタック -----
オブジェクト・ハンドルの行番号オブジェクト名
80bc68c4 76 無名ブロック
80bc68c4 380 無名ブロック
```

Oracle Text コンポーネントがインストールされているかどうかを確認し、インストールされていない場合は再インストールします。『Oracle Application Server Portal 構成ガイド』を参照してください。

6.2.7 アサーション違反

原因: このエラーは、次のエラーとともに発生することがよくあります。

32/5 PLS-00593 本体のパラメータ "P_BUTTON_STYLE" のデフォルト値は spec のデフォルト値と一致する必要があります。

ALTER TYPE <portal_schema>.WWUI_API_ALERT での本体のコンパイル。

アサーション違反とともにこれらのエラーが発生する場合は、前のエラーに原因があります。6-2 ページの「32/5 PLS-00593: 本体のパラメータ "P_BUTTON_STYLE" のデフォルト値は spec のデフォルト値と一致する必要があります。」および 6-9 ページの「ALTER TYPE WWUI_API_ALERT での本体のコンパイル。設定の再使用。」を参照してください。

処置: アサーション違反エラーが前述のエラーとともに発生する場合、このエラーは問題ないため、無視してもかまいません。ただし、アサーション違反が他のコンテキストで表示される場合は、問題があるため、調査する必要があります。

6.2.8 アップグレードを実行する前にデータベースをバックアップしてください。

原因: スキーマのバックアップが完了しているかどうかを尋ねられたときに、n (いいえ) と答えました。

処置: データベースをバックアップし、スクリプトをもう一度実行します。

6.2.9 LDAP サーバーに接続できません。

原因: このエラーは、LDIF ファイルを OID にロードするときにログ・ファイルに表示されます。LDIF ファイルごとに、err という拡張子の付いたエラー・ファイルが 1 つ作成されます。誤っているエントリがそれぞれ LDIF 形式で示され、その後 OID エラー・コードが続きます。エラー・ファイルを訂正して、もう一度ロードするには、コマンドライン・ユーティリティ ldapadd または ldapmodify を使用します。これらのコマンドの詳細は、『Oracle Internet Directory 管理者ガイド』を参照してください。

たとえば、次のようになります。

```
dn:cn=PORTAL,cn=users,dc=us,dc=oracle,dc=com changetype:modify
replace:OrclIsVisible
OrclIsVisible:true
# LDAP Error code: 32
```

この場合は、ホスト名またはポート番号が正しくないか、OID サーバーにアクセスできません。

OID エラー・コード 49-LDAP_INVALID_CREDENTIALS - 資格証明が正しくないために、バインドに失敗しました。

6.2.10 SYS として SSO リポジトリに接続できませんでした。

原因: SSO の SYS パスワードが無効です。

処置: ドキュメントに説明されている構成手順をすべて実行したかどうかを確認します。

注意: この問題の解決方法については、次のどちらかを参照してください。

- Oracle9iAS Portal リリース 2 (9.0.2) から OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、Oracle Application Server の 10g へのアップグレード・ガイドを参照してください。
 - Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) 以下のリリースから OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、OracleAS Portal Center (<http://portalcenter.oracle.com/upgrades>) を参照してください。
-
-

6.2.11 SSO リポジトリへの接続に失敗しました。

原因: SSO スキーマ、パスワードまたは接続文字列が正しくありません。

6.2.12 SYS として Portal リポジトリに接続できませんでした。

原因: 無効な SYS パスワードが入力されたか、`orapw` ファイルが見つかりません。

処置: 正しい SYS パスワードを入力します。パスワードが正しい場合は、`sysdba` として SYS に接続できるかどうかを確認します。このためには、SYS データベース・アカウントによって使用されるのと同じパスワードで `orapwd` を実行して、`orapw<SID>` ファイルをデータベースの Oracle ホームの `db`s ディレクトリに作成します。

注意: この問題の解決方法については、次のどちらかを参照してください。

- Oracle9iAS Portal リリース 2 (9.0.2) から OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、Oracle Application Server の 10g へのアップグレード・ガイドを参照してください。
 - Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) 以下のリリースから OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、OracleAS Portal Center (<http://portalcenter.oracle.com/upgrades>) を参照してください。
-
-

6.2.13 Portal リポジトリへの接続に失敗しました。

原因: Oracle9iAS Portal スキーマ、パスワードまたは接続文字列が正しくありません。

処置: 正しい Oracle9iAS Portal スキーマ、パスワードまたは接続文字列を入力します。

6.2.14 パートナ・アプリケーションのスキーマへの接続に失敗しました。

原因: SSO パートナ・アプリケーションのスキーマまたはパスワードが正しくありません。

処置: 正しい SSO パートナ・アプリケーションのスキーマまたはパスワードを入力します。

6.2.15 パスワード・ストアのスキーマへの接続に失敗しました。

原因: パスワード・ストアのスキーマ、パスワードまたは接続文字列が正しくありません。

処置: 正しいパスワード・ストアのスキーマまたはパスワードを入力します。

6.2.16 OID への接続に失敗しました。

原因: OID のホスト、ポート、管理 DN または管理パスワードが正しくありません。

処置: OID のホスト、ポート、管理 DN または管理パスワードが正しいかどうかを確認して訂正します。

6.2.17 Oracle Text 索引の削除に失敗しました。アップグレードを続行できません。

原因: Oracle Text 索引の削除、あるいは同期化ジョブまたは最適化ジョブの削除に失敗しました。アップグレード・ログで `uptxtdrp` スクリプトの出力を調べて、対処法を見つけてください。`uptxtdrp.log` 全体は、アップグレード・ログのエラー・メッセージ出力に追加されています。

処置: Oracle Text 索引の削除中にエラーが発生した場合は、すべての Oracle Text 索引が削除されていることを確認してから、アップグレードをもう一度実行します。Oracle Text 索引の削除については、『Oracle Text アプリケーション開発者ガイド』の「索引のメンテナンス」を参照してください。

同期化ジョブまたは最適化ジョブの削除中にエラーが発生した場合は、これらのジョブがジョブ・キューから削除されていることを確認してから、アップグレードをもう一度実行します。ジョブの中断または削除については、『Oracle9i データベース管理者ガイド』の「ジョブ・キューの管理」を参照してください。

アップグレード後に、OracleAS Portal で Oracle Text 検索を使用する場合は、Oracle Text 索引、同期化ジョブおよび最適化ジョブを手動で再作成します。方法の詳細は、『Oracle Application Server Portal 構成ガイド』を参照してください。

6.2.18 環境変数 ORACLE_HOME が設定されていません

原因: 環境変数 ORACLE_HOME は設定されていません。

処置: 環境を確認し、Oracle ホームの環境変数を設定します。

6.2.19 <schema>.<procedure> に対する実行権限を <schema> として <application_schema> に付与しています --ORA-01001 カーソルが無効です。

原因: スキーマまたはプロシージャが見つかりません。たとえば、次のようになります。

エラー: SCHEMA1.CHECK_SAL に対する実行権限を SCHEMA1 として SCHEMA1B に付与しています --ORA-01001 カーソルが無効です。

この場合、プロシージャ SCHEMA1.CHECK_SAL に対するフォームが、SCHEMA1B に基づいたデータベース・プロバイダにあります。プロシージャ CHECK_SAL が見つからないか、スキーマ SCHEMA1 または SCHEMA1B のどちらかが見つかりません。このため、フォームは実行されません。ただし、このフォームはアップグレードの前にも実行されていません。

処置: フォームまたはデータベース・プロバイダが廃止されているかどうかを確認します。廃止されている場合は、それを削除します。廃止されていない場合は、足りないスキーマまたはプロシージャを入力します。

6.2.20 ALTER TYPE <portal_schema>.WWUI_API_ALERT での本体のコンパイル。

原因: このエラーは、パッチ・アプリケーションの実行中に発生することがあります。このエラーは、Oracle Database 8.1.7 以下のリリースで正常にコンパイルされた Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) 型本体が原因で発生します。これは、Oracle9i データベースではコンパイルされません。このエラーは、パッチの適用中に発生すると予想されます。アップグレードが終わるまでに型本体が有効になるため、最後の検証手順ではエラーは表示されません。

処置: アップグレードの終了時に WWUI_API_ALERT が有効であることを確認します。有効な場合、このエラーは問題ないため、無視してもかまいません。このエラーによって、アップグレードの状態が「アップグレードに失敗しました。」になることがあります。ただし、これ以外のエラーがなければ、アップグレードは成功したとみなすことができます。

6.2.21 ALTER TYPE WWUI_API_ALERT での本体のコンパイル。設定の再使用。

原因: このエラーは、前のエラーが原因で発生します。このエラーは、初期のパッケージの再コンパイル手順を実行中に、パッチ・アプリケーションを適用した直後に発生します。

処置: アップグレードの終了時に WWUI_API_ALERT が有効であることを確認します。有効な場合、このエラーは問題ないため、無視してもかまいません。このエラーによって、アップグレードの状態が「アップグレードに失敗しました。」になることがあります。ただし、これ以外のエラーがなければ、アップグレードは成功したとみなすことができます。

6.2.22 ldap_bind: 資格証明が無効です。

原因: このエラーは、LDIF ファイルを OID にロードするときにログ・ファイルに表示されます。LDIF ファイルごとに、err という拡張子の付いたエラー・ファイルが 1 つ作成されます。誤っているエントリがそれぞれ LDIF 形式で示され、その後 OID エラー・コードが続きます。エラー・ファイルを訂正して、もう一度ロードするには、コマンドライン・ユーティリティ ldapadd または ldapmodify を使用します。これらのコマンドの詳細は、『Oracle Internet Directory 管理者ガイド』を参照してください。

たとえば、次のようになります。

```
dn:cn=PORTAL,cn=users,dc=us,dc=oracle,dc=com changetype:modify
replace:OrclIsVisible
OrclIsVisible:true
# LDAP Error code: 32
```

この場合は、OID 管理者の識別名 (DN) またはパスワードが正しくないか、指定されていません。

OID エラー・コード 49 -LDAP_INVALID_CREDENTIALS - 資格証明が正しくないために、バインドに失敗しました。

6.2.23 ldap_modify: 追加情報 : 変更対象のエントリが見つかりません。

原因: これは、エントリの変更に関連する OID エラーです。属性値を変更しようとしているときに、エントリが存在しないことが判明しました。

OID エラー・コード 32 - LDAP_NO_SUCH_OBJECT この操作に指定されたベースが存在しません。

SSO の移行中に使用された関連ファイル: sm#.ldif

Oracle9iAS Portal のアップグレード中に使用された関連ファイル: pappacp.ldif、pu#.ldif、pacp#.ldif、pm#.ldif

6.2.24 ldap_modify: 追加情報 : 属性 uniquemember には重複している値があります。

原因: これは、エントリの変更に関連する OID エラーです。属性値を OID の既存のエントリに追加しようとしているときに、属性値がすでに存在していることが判明しました。

OID エラー・コード 20 - LDAP_TYPE_OR_VALUE_EXISTS この属性に指定された値が重複しています。

SSO の移行中に使用された関連ファイル: sm#.ldif

Oracle9iAS Portal のアップグレード中に使用された関連ファイル: pappacp.ldif、pu#.ldif、pacp#.ldif、pm#.ldif

6.2.25 ldap_modify: 一致したのは : cn=Users, dc=us,dc=oracle,dc=com です。

原因: これは、エントリの変更に関連する OID エラーです。属性値を変更しようとしているときに、エントリが存在しないことが判明しました。

OID エラー・コード 32 - LDAP_NO_SUCH_OBJECT この操作に指定されたベースが存在しません。

SSO の移行中に使用された関連ファイル: sm#.ldif

Oracle9iAS Portal のアップグレード中に使用された関連ファイル: pappacp.ldif、pu#.ldif、pacp#.ldif、pm#.ldif

6.2.26 ldap_modify: 該当するオブジェクトがありません。

原因: これは、エントリの変更に関連する OID エラーです。属性値を変更しようとしているときに、エントリが存在しないことが判明しました。

OID エラー・コード 32 - LDAP_NO_SUCH_OBJECT この操作に指定されたベースが存在しません。

SSO の移行中に使用された関連ファイル: sm#.ldif

Oracle9iAS Portal のアップグレード中に使用された関連ファイル: pappacp.ldif、pu#.ldif、pacp#.ldif、pm#.ldif

6.2.27 ldap_modify: タイプまたは値が存在しています。

原因: これは、エントリの変更に関連する OID エラーです。属性値を OID の既存のエントリに追加しようとしているときに、属性値がすでに存在していることが判明しました。

OID エラー・コード 20 - LDAP_TYPE_OR_VALUE_EXISTS この属性に指定された値が重複しています。

SSO の移行中に使用された関連ファイル: sm#.ldif

Oracle9iAS Portal のアップグレード中に使用された関連ファイル: pappacp.ldif、pu#.ldif、pacp#.ldif、pm#.ldif

6.2.28 報告された文字列が <filename> ファイルにありません: <strings>

原因: 言語をロードしようとしたときに、SQLLDR によって問題が検出されました。

処置: 対応するログおよび <upgrade_tmp_dir> からの .log ファイルや .bad ファイルを調べて、特定の問題がないかどうかを確認します。これらの問題をアップグレード・ログとともにオラクル社カスタマ・サポート・センターに提出してください。

6.2.29 upgrade.pl の行 124 のループ変数に \$ がありません

原因: アップグレードの実行に正しくない perl 実行可能ファイルが使用されています。

処置: アップグレードに関するドキュメントの表記規則と定義の項を参照してください。

注意: この問題の解決方法については、次のどちらかを参照してください。

- Oracle9iAS Portal リリース 2 (9.0.2) から OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、Oracle Application Server の 10g へのアップグレード・ガイドを参照してください。
 - Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) 以下のリリースから OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、OracleAS Portal Center (<http://portalcenter.oracle.com/upgrades>) を参照してください。
-

6.2.30 Portal パッチを適用する必要があるときは、o7_dictionary_accessibility を TURE に設定してください。

原因: 初期パラメータ o7_dictionary_accessibility が FALSE に設定され、パッチがインストールされています。

処置: パラメータ o7_dictionary_accessibility を TRUE に変更します。また、初期パラメータ remote_login_passwordfile を EXCLUSIVE に設定する必要があります。これで、アップグレードをもう一度実行できます。アップグレードが完了したら、パラメータ o7_dictionary_accessibility を FALSE に戻すことができます。

6.2.31 Oracle Text 情報の取得に失敗しました。Oracle Text が正しくインストールされているかどうかを確認してください。必要な場合は、Oracle Text スキーマ (CTXSYS) を再インストールしてください。

原因: Oracle Text のインストールに関する情報を取得しようとしているときにエラーが発生しました。

処置: Oracle Text コンポーネントが正しくインストールされているかどうかを確認します。必要な場合は、Oracle Text コンポーネントを再インストールしてください。方法の詳細は、『Oracle Application Server Portal 構成ガイド』を参照してください。

6.2.32 スキーマの変更を含むワンオフ・パッチが1つ以上適用されました。次の上位リリースのアップグレードがサポートされるまでお待ちください。

原因: スキーマの変更を含むワンオフ・パッチが1つ以上 Oracle9iAS Portal スキーマに適用されました。このリリースのアップグレード・スクリプトではこれらの変更がテストされなかったため、アップグレードを続行できません。

処置: 次回のパッチ・セットに基づくアップグレード・スクリプトのリリースが公開されているかどうかを確認します。公開されている場合は、新しいリリースをダウンロードして実行します。公開されていない場合は、公開されるまで待ちます。たとえば、次のようになります。現在 Oracle9iAS Portal リリース 3.0.9.8.5 がインストールされており、スキーマの変更を含むワンオフ・パッチが適用されているとします。ダウンロードしたアップグレード・スクリプトは、3.0.9.8.5 に基づいており、ワンオフ・パッチの公開前に公開されたものです。この状態は、現在のスクリプトを使用したアップグレードには対応していません。最後にパッチをダウンロードしてから、次回のパッチ・セット (3.0.9.8.6) に基づくアップグレード・スクリプトが公開されているかどうかを確認します。公開されている場合は、新しいリリースのスクリプトを実行すると、ワンオフ・エラー・メッセージは表示されません。

6.2.33 ORA-01017 ユーザー名 / パスワードが無効です。ログオンは拒否されました。

原因: 次の例に示すように、このエラーの前に次の行が表示されているかどうかを確認します。

接続情報: portal30_DEMO/portal30_DEMO@orcl

エラー: ORA-01017 ユーザー名 / パスワードが無効です。ログオンは拒否されました。

表示されている場合、このエラーはパッチの適用時に Oracle9iAS Portal のデモ・スキーマのパスワードが <portal_schema_password>_DEMO に等しくないことが原因で発生したか、スキーマが存在しないために発生した可能性があります。

処置: このエラーを回避するには、アップグレード前のデモ・スキーマのパスワードが <portal_schema_password>_DEMO という値になるように設定します。このエラーは無視してもかまいません。

注意: この問題の解決方法については、次のどちらかを参照してください。

- Oracle9iAS Portal リリース 2 (9.0.2) から OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、Oracle Application Server の 10g へのアップグレード・ガイドを参照してください。
 - Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) 以下のリリースから OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、OracleAS Portal Center (<http://portalcenter.oracle.com/upgrades>) を参照してください。
-
-

6.2.34 ORA-03113 通信チャンネルで end-of-file が検出されました

原因: このエラーは、いくつかの状況下で発生することがあり、Oracle サーバー・プロセスが失敗したことを示しています。

処置: アップグレード中に発生するケースでは、解決方法がわかっています。特定の 64 ビット・プラットフォームで実行しているときは、RDBMS のバグ 2614728 によって defnavpg.sql スクリプトが失敗することがあります。64 ビット・プラットフォームを使用している場合は、アップグレード・ログ・ファイルを調べて、問題が次のコンテキストで発生しているかどうかを確認します。

```
#-- 内部スクリプトの開始 : wwd/defnavpg
# ページ・グループの生成済ナビゲーション・ページの作成
DECLARE
*
行 <line> でエラーが発生しました。:
ORA-03113 通信チャンネルで end-of-file が検出されました
```

問題がこのコンテキストで発生している場合は、使用しているプラットフォームのバグ 2614728 用のパッチを適用します。バックアップからリストアし、アップグレードをもう一度実行します。

6.2.35 ORA-04031 共有メモリの <n> バイトを割当てできません ("**<shared pool>**", "**<unknown object>**", "**<session heap>**", "**<frame segment>**") (WWC-44847)

原因: 共有プール・サイズのデータベース・パラメータが小さすぎます。

処置: このパラメータの値は、使用している Oracle9iAS Portal のサイズによって異なります。大きな Oracle9iAS Portal でこの問題が発生しないようにするには、パラメータの値を数百メガバイトに設定する必要があります。データベースの共有プール・サイズを増やし、バックアップからリストアした後でアップグレードをもう一度実行します。

注意: この問題の解決方法については、次のどちらかを参照してください。

- Oracle9iAS Portal リリース 2 (9.0.2) から OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、Oracle Application Server の 10g へのアップグレード・ガイドを参照してください。
 - Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) 以下のリリースから OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、OracleAS Portal Center (<http://portalcenter.oracle.com/upgrades>) を参照してください。
-
-

6.2.36 ORA-01031 権限が不足しています。

原因: 権限が不足しているために、データベースへの sysdba 接続に失敗しました。

処置: sysdba として SYS に接続するには、SYS データベース・アカウントによって使用されるのと同じパスワードで orapwd を実行して、orapw<SID> ファイルをデータベースの Oracle ホームの dba ディレクトリに作成します。

注意: この問題の解決方法については、次のどちらかを参照してください。

- Oracle9iAS Portal リリース 2 (9.0.2) から OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、Oracle Application Server の 10g へのアップグレード・ガイドを参照してください。
 - Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) 以下のリリースから OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、OracleAS Portal Center (<http://portalcenter.oracle.com/upgrades>) を参照してください。
-
-

6.2.37 ORA-29521 参照名 javax/ejb/<class> が見つかりません。

原因: Oracle 9.2 データベースで動作する Oracle9iAS Portal を使いやすくするための手順がまだ適用されていません。次にエラーの例を示します。

Java クラスをロード中 - soap.jar

エラー : クラス oracle/soap/providers/ejbprov/<class>

ORA-29521 参照名 javax/ejb/<name> が見つかりません。

次の操作に失敗しました

クラス oracle/soap/providers/ejbprov/<provider>: 解決

終了中 : 処理中に障害が発生しました

処置: リポジトリを元の Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) の状態に復元し、Note 222437.1 に含まれている手順を実行します。これらの手順が完了したら、アップグレードをもう一度実行します。

注意： この問題の解決方法については、次のどちらかを参照してください。

- Oracle9iAS Portal リリース 2 (9.0.2) から OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、Oracle Application Server の 10g へのアップグレード・ガイドを参照してください。
 - Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) 以下のリリースから OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、OracleAS Portal Center (<http://portalcenter.oracle.com/upgrades>) を参照してください。
-
-

6.2.38 Oracle Text の索引タイプが無効か、存在しません。無効な索引タイプを再検証してください。必要な場合は、Oracle Text スキーマ (CTXSYS) を再インストールしてください。

原因： Oracle Text コンテキストの索引タイプが無効であるか、存在しません。これは、Oracle Text のインストールに問題があることを示している場合があります。

処置： Oracle Text コンテキストの索引タイプが存在し、有効であることを確認します。必要な場合は、Oracle Text コンポーネントを再インストールします。『Oracle Application Server Portal 構成ガイド』を参照してください。

6.2.39 Oracle Text スキーマ (CTXSYS) が存在しません。インストールしてください。

原因： データベースに CTXSYS スキーマが含まれていません。これは、Oracle Text がインストールされていないことを示しています。

処置： Oracle Text コンポーネントをデータベースにインストールします。『Oracle Application Server Portal 構成ガイド』を参照してください。

6.2.40 Oracle Text のリリースとデータベースのリリースが一致しません。Oracle Text が正しくアップグレードされているかどうかを確認してください。必要な場合は、Oracle Text スキーマ (CTXSYS) を再インストールしてください。

原因: データベースのリリースが Oracle Text コンポーネントのリリースよりも新しいものです。これは、Oracle Text コンポーネントが正しくアップグレードされなかったことを示している場合があります。手動による Oracle Text のアップグレード手順が省略されたか、失敗した可能性があります。ただし、一部の特定のプラットフォームでは、パッチ 2658339 が適用されなかったことを示している場合もあります。

処置: 状況に応じて、Oracle Text のアップグレードをもう一度実行するか、パッチをダウンロードして適用します。

6.2.41 ORACLE_HOME (<directory_path>) を Oracle9i 中間層のインストール先にしてください。

原因: 環境変数 ORACLE_HOME が、Oracle9i 中間層がインストールされていないディレクトリとして定義されています。

処置: Oracle9i 中間層のインストールを指すように ORACLE_HOME を定義します。

6.2.42 ステータス・コードでパッチが失敗しました : <status>

原因: パッチのインストールに失敗しました。

処置: アップグレード・ログ・ファイルを詳しく調べます。

6.2.43 UPG_prefix の付いたすべての表を Portal スキーマから削除してください。

原因: UPG_prefix 表が Oracle9iAS Portal スキーマに存在します。アップグレードが中断されます。

処置: UPG_prefix の付いたすべての表を Oracle9iAS Portal スキーマから削除します。削除する前に、それらの表をバックアップしてください。

6.2.44 Portal スキーマ・ユーザーが VPD を使用するよう設定されていません。

原因: Oracle9iAS Portal スキーマ・ユーザーに EXEMPT ACCESS POLICY システム権限が付与されています。

処置: SQL*Plus で次の SQL コマンドを実行して、Oracle9iAS Portal スキーマ・ユーザーから EXEMPT ACCESS POLICY 権限を取り消します。

```
revoke exempt access policy from <portal_schema_user>;
```

また、Oracle9iAS Portal スキーマ・ユーザーが、割り当てられているロールから EXEMPT ACCESS POLICY 権限を継承しないことを確認します。

6.2.45 VPD チェック・ユーティリティでは、Portal のリリースをサポートしていません。

原因: VPD チェックでは、現在のリリースの Oracle9iAS Portal をサポートしていません。

処置: Oracle9iAS Portal のリリースがこのアップグレードでサポートされているかどうかを確認します。

6.2.46 ポートレット・インスタンスの ID がポートレット・インスタンス名の接頭辞と一致しません。

原因: 参照パスの ID と接頭辞が不一致です。たとえば、ID が 104 であるときに、次のように表示された場合がこれに該当します。

```
105_HIMLPORTLET_511386
```

処置: 次の手順を実行します。

1. スキーマ所有者として SQL*Plus から、Oracle9iAS Portal リポジトリに対して `<upgrade_directory>/309-903/wws/upfixpin.sql` を実行します。

注意: このスクリプトによって、「ポートレット・インスタンスの ID がポートレット・インスタンス名の接頭辞と一致しません」、「ポートレット・インスタンス名が一意ではありません」、「名前の正しくないポートレット・インスタンスがいくつか検出されました」というエラーが修正されず。スクリプトを一度実行するだけで、これらのエラーを解決できます。

2. 事前チェック・モードでもう一度アップグレードを実行します。
3. 引き続きエラーが表示される場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡し、`<upgrade_tmp_dir>` ディレクトリの `pobcheck.log` ファイルのコピーを提出してください。

6.2.47 ポートレット・インスタンス名が一意ではありません。

原因: 参照パスの ID 部分がありません。これによって、表内のポートレット・インスタンス名が一意でなくなります。たとえば、次のコードでは、HTMLPORTLET の前に ID を指定する必要があります。

```
_HTMLPORTLET_511386
```

処置: 次の手順を実行します。

1. スキーマ所有者として SQL*Plus から、Oracle9iAS Portal リポジトリに対して `<upgrade_directory>/309-903/www/upfixpin.sql` を実行します。

注意: このスクリプトによって、「ポートレット・インスタンスの ID がポートレット・インスタンス名の接頭辞と一致しません」、「ポートレット・インスタンス名が一意ではありません」、「名前の正しくないポートレット・インスタンスがいくつか検出されました」というエラーが修正されます。スクリプトを一度実行するだけで、これらのエラーを解決できます。

2. 事前チェック・モードでもう一度アップグレードを実行します。
3. 引き続きエラーが表示される場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡し、`<upgrade_tmp_dir>` ディレクトリの `pobcheck.log` ファイルのコピーを提出してください。

6.2.48 アップグレード後のタスクが実行されていません。アップグレード・ログに致命的エラーがあります。

原因: このメッセージは、アップグレード後のスクリプトが実行されていないことを示しています。これらのタスクを実行するにはアップグレードが完了している必要がありますが、アップグレード中にエラーが発生しました。エラーの概要は、アップグレード・ログの最後に表示されます。

処置: 表示されているエラーを修正してみます。この章を検索し、記載されている修正方法を適用します。次に、バックアップからリストアし、アップグレードをもう一度実行します。これがうまくいかない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

アップグレード後のタスクの例としては、VPD が問題なく有効になっているかどうかの確認があります。また、SSO パートナ構成が実行されたかどうかの確認もあります。

6.2.49 sqlplus の実行中に問題が発生しました。

原因: アップグレード・スクリプトで SQL*Plus コマンドを実行できませんでした。

処置: bin/sqlplus が Oracle ホームの下にあること、およびそれを実行する権限を持っていることを確認します。

6.2.50 アップグレード・スクリプトをもう一度実行してください。

原因: 入力の詳細情報が正しいかどうかを尋ねられたときに、n (いいえ) と答えました。

処置: わかっている問題を解決し、アップグレード・スクリプトをもう一度実行します。

6.2.51 同じ場所から複数のアップグレードを同時に実行することはできません。

原因: 同じ場所から複数のアップグレードを同時に実行しようとしています。

処置: 先に実行したアップグレードが完了するまで待ち、残りのアップグレードを開始します。前のアップグレード (upgrade.csh を使用して実行) が異常終了 ([Ctrl]+[C] などによって) した場合は、アップグレード中に作成されたロック・ファイル (upgcsh.lock) が削除されません。このため、別のアップグレードを開始しようとする、このメッセージが表示されます。この場合は、手動でロック・ファイルを削除する必要があります。ロック・ファイルの削除は、アップグレードが異常終了した場合にのみ必要で、アップグレードが実際に実行されている場合は必要ありません。ロック・ファイルは、アップグレード・スクリプトが実行された場所にあります。

6.2.52 一部の Oracle Text パッケージが無効です。無効なパッケージを再検証してください。必要な場合は、Oracle Text スキーマ (CTXSYS) を再インストールしてください。

原因: Oracle Text スキーマ (CTXSYS) に含まれている、DRI または CTX_ で始まるパッケージが無効です。

処置: Oracle Text の無効なパッケージを再検証します。必要な場合は、Oracle Text コンポーネントを再インストールします。『Oracle Application Server Portal 構成ガイド』を参照してください。

6.2.53 名前の正しくないポートレット・インスタンスがいくつか検出されました。

原因: 参照パスの接頭辞の ID が繰り返されています。たとえば、次のようになります。

105105_HTMPORTLET_511386

処置: 次の手順を実行します。

1. スキーマ所有者として SQL*Plus から、Oracle9iAS Portal リポジトリに対して <upgrade_directory>/309-903/www/upfixpin.sql を実行します。

注意: このスクリプトによって、「ポートレット・インスタンスの ID がポートレット・インスタンス名の接頭辞と一致しません」、「ポートレット・インスタンス名が一意ではありません」、「名前の正しくないポートレット・インスタンスがいくつか検出されました」というエラーが修正されず。スクリプトを一度実行するだけで、これらのエラーを解決できます。

2. 事前チェック・モードでもう一度アップグレードを実行します。
3. 引き続きエラーが表示される場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡し、<upgrade_tmp_dir> ディレクトリの pobcheck.log ファイルのコピーを提出してください。

6.2.54 SSO ID <string> が無効です。有効な <length> の文字値を指定してください。

原因: 外部アプリケーションの識別子を変換するときに、SSO ID の値が渡されました。この値が無効です。

処置: -ssoid パラメータに有効な SSO ID 値を指定して、アップグレードをもう一度実行します。

6.2.55 SQL*Plus のリリース <release> がアップグレードでサポートされていません。

原因: 実行しようとしている SQL*Plus のリリースが最新ではありません。

処置: Oracle ホームの下にある bin/sqlplus のリリースが 9.0.1 以上であることを確認します。

6.2.56 SSO Server のリリース <release> がサポートされていません。

原因: SSO のリリースが正しくありません。

処置: サポートされている SSO のリリースをインストールします。

6.2.57 システム・トリガーがデータベースで無効になっています。

原因: システム・トリガーがデータベース構成ファイルで無効になっています。

処置: データベースの init.ora ファイルで、_system_trig_enabled パラメータが TRUE に設定されているかどうかを確認します。設定されていない場合は、TRUE に設定して、データベースを再起動します。

6.2.58 データベースに割り当てられた java_pool_size パラメータは、インストール/アップグレードに不十分です。java_pool_size を増やして、アップグレードをもう一度実行してください。

原因: Java プール・サイズのパラメータが小さすぎます。

処置: Java プール・サイズのパラメータを 20MB 以上に増やします。必要に応じてドキュメントを参照し、その後でアップグレードをもう一度実行します。

注意: この問題の解決方法については、次のどちらかを参照してください。

- Oracle9iAS Portal リリース 2 (9.0.2) から OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、Oracle Application Server の 10g へのアップグレード・ガイドを参照してください。
 - Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) 以下のリリースから OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、OracleAS Portal Center (<http://portalcenter.oracle.com/upgrades>) を参照してください。
-

6.2.59 データベースに割り当てられた `shared_pool_size` パラメータは、インストール/アップグレードに不十分です。`shared_pool_size` を増やして、アップグレードをもう一度実行してください。

原因: 共有プール・サイズのパラメータが小さすぎます。

処置: 共有プール・サイズを 20MB 以上に増やします。必要に応じてドキュメントを参照し、その後でアップグレードをもう一度実行します。

注意: この問題の解決方法については、次のどちらかを参照してください。

- Oracle9iAS Portal リリース 2 (9.0.2) から OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、Oracle Application Server の 10g へのアップグレード・ガイドを参照してください。
 - Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) 以下のリリースから OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、OracleAS Portal Center (<http://portalcenter.oracle.com/upgrades>) を参照してください。
-
-

6.2.60 アプリケーション・エントリが OID に存在しません。パラメータを調べて、`sync` モードを試す前に `create`、`ldif`、`load` の各モードを実行していることを確認してください。

原因: ユーザーが 3.0.9 SSO Server から正しく移行していない場合は、このようなエラーが発生することがあります。この場合は、OID サーバーと Oracle9iAS Portal スキーマとの間でデータを同期化しようとするときに、アプリケーション・エントリが OID に存在しません。これは、アプリケーション・エントリが OID に作成されなかったか、LDIF ファイルの作成時に使用された Oracle9iAS Portal のインスタンス名が、OID エントリを同期化するときに使用された Oracle9iAS Portal のインスタンス名と異なっていることを示している場合があります。

処置: アップグレード中に OID エントリを作成する場合は、それぞれのモードのアップグレード・スクリプト `upsecoid` によって提供される次の手順を実行する必要があります。

- SBS ファイルの作成 (`create` モード)
- SBS ファイルから LDIF ファイルへの変換 (`ldif` モード)
- LDIF ファイルの OID へのロード (`load` モード)
- OID エントリの同期化 (`sync` モード)

指定された 4 つのモードは、記載された順序で実行する必要があります。これらの手順のいずれかを実行しなかった場合は、その手順以降のすべての手順をもう一度実行する必要があります。

注意： この問題の解決方法については、次のどちらかを参照してください。

- Oracle9iAS Portal リリース 2 (9.0.2) から OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、Oracle Application Server の 10g へのアップグレード・ガイドを参照してください。
 - Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) 以下のリリースから OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、OracleAS Portal Center (<http://portalcenter.oracle.com/upgrades>) を参照してください。
-
-

これらの手順に指定されたパラメータを調べて、それらのパラメータ (OID サーバーのホストやポート、Oracle9iAS Portal のインスタンス名など) が全体を通して一貫して使用されていることを確認します。

6.2.61 データベースの互換レベルがアップグレードでサポートされていません。

原因： 互換性の初期パラメータが 9.0.0 以上に設定されていない場合は、アップグレードが中断されます。

処置： `init.ora` ファイルで、互換性の初期パラメータを 9.0.0 以上に設定します。

6.2.62 データベースのブロックサイズが推奨値を下回っています。

原因: データベースのブロックサイズが 8K を下回っています。

処置: 最小ブロックサイズを 8K にして、新しい Oracle9i データベースを作成します。データベースのインポート / エクスポート・ユーティリティを使用して、Oracle9iAS Portal を以前のデータベースから新しいデータベースに移動します。

注意: この問題の解決方法については、次のどちらかを参照してください。

- Oracle9iAS Portal リリース 2 (9.0.2) から OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、Oracle Application Server の 10g へのアップグレード・ガイドを参照してください。
 - Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) 以下のリリースから OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、OracleAS Portal Center (<http://portalcenter.oracle.com/upgrades>) を参照してください。
-
-

6.2.63 DBMS ジョブ・キューが無効になっています。有効であれば、すぐに実行されたジョブがあります。ジョブ・キューを再び有効にし、これらのジョブが完了するまで待つか、それらを削除してから、アップグレードをもう一度実行してください。

原因: 以前のリリースの Oracle9iAS Portal で送信されたジョブは、OracleAS Portal 9.0.4 以上では正しく実行されないことがあります。

処置: ジョブ・キューを再び有効にしてジョブを完了させるか、それらを削除します。

6.2.64 インポート / エクスポートの内部ビューがインストールされていません。データベース \$ORACLE_HOME から rdbms/admin/catexp.sql をロードし、アップグレードをもう一度実行してください。

原因: インポート / エクスポートの内部ビューがインストールされていません。

処置: データベースの Oracle ホームから rdbms/admin/catexp.sql をロードします。次に、アップグレードをもう一度実行します。

注意: この問題の解決方法については、次のどちらかを参照してください。

- Oracle9iAS Portal リリース 2 (9.0.2) から OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、Oracle Application Server の 10g へのアップグレード・ガイドを参照してください。
 - Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) 以下のリリースから OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、OracleAS Portal Center (<http://portalcenter.oracle.com/upgrades>) を参照してください。
-

6.2.65 次の無効な Portal オブジェクトが Portal スキーマに存在します :

原因: 無効な Oracle9iAS Portal オブジェクトが Portal スキーマに存在します。

処置: Oracle9iAS Portal スキーマに含まれる無効な Oracle9iAS Portal オブジェクトを調査し、問題の原因を突き止めて修正します。アップグレードをもう一度実行します。

6.2.66 次の必須オブジェクトが存在しないか、無効です：

<[obj_type]owner.obj_name>

原因： Oracle9iAS Portal が依存している必須オブジェクトがデータベースに存在しないか、無効です。データベースのアップグレードに問題があってそれらが欠落している場合は、Oracle9iAS Portal のアップグレードにも障害が発生している可能性があります。

処置： データベースのインストール手順とアップグレード手順を確認します。オブジェクトが存在しているが無効である場合は、インストール先のデータベースの Oracle ホームの rdbms/admin にある utlrlp.sql スクリプトを実行して、データベース内の無効なオブジェクトをすべて再コンパイルします。そうしないと、JAR ファイルが足りないためにこのエラーが発生することがあります。JAR ファイルが足りないために事前チェックに失敗した場合は、JAR ファイルを再ロードしてから、アップグレードを再試行できます。これらの JAR ファイルはすべて、portal30/java の下の Oracle9iAS Portal 1.0.2.2 の Oracle ホームにあります。次のファイルは、Oracle9iAS Portal にロードされる JAR ファイルです。

- xmlparserv2.jar: この JAR ファイルは、Oracle データベースのリリースが 8.1.5 または 8.1.6 の場合にのみ、Oracle9iAS Portal のインストール中にロードされます。
- whttpsrc.jar: この JAR ファイルは、Oracle データベースのリリースが 8.1.5 または 8.1.6 の場合にのみ、Oracle9iAS Portal のインストール中にロードされます。
- xmltrans.jar
- bulkload.jar
- prohttp.jar
- wwvdp.jar
- wwvdpdb.jar

前述の JAR ファイルの他に、SSOHash.class が Oracle9iAS Portal および SSO スキーマの両方にロードされます。SSOHash.class は、portal30/wwc の下の Oracle9iAS Portal 1.0.2.2 の Oracle ホームにあります。

JAR ファイルが不足している場合は、次の操作を実行します。

1. portal30/admin/plsql/lib ディレクトリの下での Oracle9iAS Portal 1.0.2.2 の Oracle ホームから JAR ファイルを取得します。

注意： Oracle9iAS Portal のパッチを適用した場合は、そのパッチに更新された JAR ファイルが含まれていたかどうかを確認します。含まれていた場合は、Oracle9iAS Portal のインストールに含まれている JAR ファイルではなく、パッチに含まれている JAR ファイルをロードします。次の表に、主なパッチ・リリースで更新された JAR ファイルを示します。

表 6-1 Oracle9iAS Portal のパッチ・リリースに含まれている JAR ファイル

パッチ・リリースの番号	更新された JAR ファイル
Oracle9iAS Portal 3.0.9.8.1	prohttp.jar
Oracle9iAS Portal 3.0.9.8.2	prohttp.jar
Oracle9iAS Portal 3.0.9.8.3	prohttp.jar
Oracle9iAS Portal 3.0.9.8.4	bulkload.jar、 prohttp.jar
Oracle9iAS Portal 3.0.9.8.5	bulkload.jar、 prohttp.jar

2. JAR ファイルごとに、次のコマンドを実行して、Oracle9iAS Portal データベースにロードします。

```
loadjava -user <portal_schema_user>/<portal_schema_password> -verbose -resolve
-force <jar_file>
```

3. 次のコマンドを使用して、SSOHash class をロードします。

```
loadjava -resolve -user <sso_schema>/<sso_password> SSOHash.class
loadjava -resolve -user <portal_schema>/<portal_password> SSOHash.class
```

Java の権限の確認

Oracle9iAS Portal リリース 2 (9.0.2) では、Oracle9iAS Portal リポジトリに格納されている Java コンポーネントを使用して、Web プロバイダとの通信を行います。JAR ファイルをロードした後も、引き続き Web プロバイダとの通信に問題がある場合は、Java の権限が存在しないか、Oracle9iAS Portal データベースにロードされた Java クラスが無効である可能性があります。

6.2.67 Java オプションが選択したデータベースで有効になっていません。この製品をインストールする場合は、データベースの Java オプションが有効になっている必要があります。Java オプションを有効にして、アップグレードをもう一度実行してください。

原因: Java がデータベースにインストールされていないか、データベース・アップグレードの Java 部分の実行中に問題が発生しました。

処置: Java オプションを有効にして、アップグレードをもう一度実行します。

6.2.68 JVM のインストールが適切ではありません。JVM がインストールされているかどうか、または無効な Java オブジェクトが SYS に含まれていないかどうかを確認してください

原因: SYS Java オブジェクトがデータベースに存在しないか、無効です。

処置: SYS に含まれる無効な Java オブジェクトを再コンパイルします。これがうまくいかない場合は、JVM をデータベースに再インストールします。

6.2.69 LDAP パッケージがインストールされていません。データベース \$ORACLE_HOME から rdbms/admin/catldap.sql をロードし、アップグレードをもう一度実行してください。

原因: LDAP パッケージがインストールされませんでした。

処置: データベースの Oracle ホームから rdbms/admin/catldap.sql をロードします。次に、アップグレードをもう一度実行します。

6.2.70 オプティマイザ・モードは RULE に設定できません。

原因: オプティマイザ・モードが間違って RULE に設定されています。

処置: オプティマイザ・モードを CHOOSE に変更して、アップグレードをもう一度実行します。

6.2.71 Perl ディレクトリ (<perl_dir>) が Oracle ホームにありません。Oracle ホームが中間層の Oracle ホームを指しているかどうかを確認してください。

原因: アップグレードの実行に正しくない perl 実行可能ファイルが使用されているか、Oracle ホームが中間層の Oracle ホームを指していません。

処置: Oracle ホームが中間層の Oracle ホームを指していること、および正しい perl 実行可能ファイルを使用していることを確認します。アップグレードをもう一度実行します。

注意: この問題の解決方法については、次のどちらかを参照してください。

- Oracle9iAS Portal リリース 2 (9.0.2) から OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、Oracle Application Server の 10g へのアップグレード・ガイドを参照してください。
 - Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) 以下のリリースから OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、OracleAS Portal Center (<http://portalcenter.oracle.com/upgrades>) を参照してください。
-
-

6.2.72 ポートレット・ビルダー（WebView）のアプリケーションの基となるスキーマが存在しません。

原因：ポートレット・ビルダーのアプリケーションの基となるスキーマが存在しません。

処置：この問題は、次の2つの方法で解決できます。

- そのスキーマを使用しているアプリケーションを削除します。
- 不足しているスキーマとそれに含まれるすべてのオブジェクトを再作成します。

6.2.73 SSO ID を自動生成できませんでした。

原因：外部アプリケーションの識別子の変換に必要な SSO ID を生成できませんでした。このエラーは、Oracle9iAS Portal スキーマから一意の `ls_login_url` を取得できない場合に発生することがあります。

処置：`-ssoid` パラメータに有効な SSO ID 値を指定して、アップグレードをもう一度実行します。SSO ID の値は、SSO 移行ログから取得できます。SSO ID は、`SSO_IDENTIFIER:<string>` という書式でこのログに表示されます（`SSO_IDENTIFIER:9E3985C4F187966` など）。

6.2.74 SSO Server の移行がまだ行われていません。SSO の移行が正常に完了するまで、Portal リポジトリのアップグレードを開始できません。

原因：SSO のリリースは正しいですが、移行が行われていません。

処置：SSO を移行してから、Oracle9iAS Portal リポジトリをアップグレードします。

6.2.75 システム・トリガーが有効ではありません。Oracle パラメータ・ファイルに含まれている `_system_trig_enabled` フラグを TRUE に設定し、アップグレードをもう一度実行してください。

原因: システム・トリガーが有効ではありません。

処置: Oracle パラメータ・ファイルに含まれているシステム・トリガー対応のフラグを TRUE に設定し、アップグレードをもう一度実行します。

6.2.76 [-ssoid <sso-server-id>] パラメータの値が無効です。

原因: アップグレード中に指定した SSO ID パラメータの値が無効です。

処置: -ssoid パラメータに有効な SSO ID 値を指定して、アップグレードをもう一度実行します。SSO ID の値は、SSO 移行ログから取得できます。SSO ID は、SSO_IDENTIFIER:<string> という書式でこのログに表示されます (SSO_IDENTIFIER:9E3985C4F187966 など)。

6.2.77 アップグレードしているスキーマに対して同時セッションが実行されています。アップグレード中に他のセッションが実行されていないかどうかを確認してください。

原因: Oracle9iAS Portal スキーマに対して他のセッションが実行されています。

処置: Oracle9iAS リリース 2 の中間層がシャットダウンされていて、アップグレード中のスキーマに対して他の接続が行われていないことを確認します。

6.2.78 アップグレードしているスキーマに対して同時セッションが実行されています。アップグレード中に他のセッションが実行されていないかどうかを確認してください。

原因: Oracle9iAS Portal スキーマに対して他のセッションが実行されています。

処置: OracleAS Middle Tier 10g (9.0.4) の中間層がシャットダウンされていて、アップグレード中のスキーマに対して他の接続が行われていないことを確認します。同時セッションの詳細は、アップグレード・ログの製品スキーマの分析手順を参照してください。

6.2.79 DBMS ジョブ・キューに実行中のジョブがあります。それらを中断するか、それらが終了するまで待ち、アップグレードをもう一度実行してください。

原因: 実行中の DBMS ジョブがあります。

処置: DBMS ジョブを中断するか、それらが終了するまで待ち、アップグレードをもう一度実行します。実行中のジョブの詳細は、アップグレード・ログの製品スキーマの分析手順を参照してください。

6.2.80 現在 DBMS ジョブ・キューに間違っ構成されたジョブがあります。これらのジョブを削除してから、アップグレードをもう一度実行してください。

原因: DBMS ジョブ・キューに、間違っ別ユーザーとして送信されたか、別のデフォルト・スキーマまたはデフォルト権限を持つ Oracle9iAS Portal ユーザーとして送信された Oracle9iAS Portal ジョブがあります。

処置: これらのジョブをジョブ・キューから削除します。アップグレードによって、足りないジョブがすべて正しく再送信されます。

6.2.81 データベースに、静的でないポリシーがいくつかあります。

原因: Oracle9iAS Portal スキーマに含まれている一部の VPD ポリシーが静的ではありません。

処置: Oracle9iAS Portal スキーマのユーザーとしてログインしているときに、SQL*Plus から vpdstatic.sql スクリプトを実行します。このスクリプトは、Oracle9iAS Portal 3.0.9.8.3 以上のパッチ・セットにあります。

注意: この問題の解決方法については、次のどちらかを参照してください。

- Oracle9iAS Portal リリース 2 (9.0.2) から OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、Oracle Application Server の 10g へのアップグレード・ガイドを参照してください。
 - Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) 以下のリリースから OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、OracleAS Portal Center (<http://portalcenter.oracle.com/upgrades>) を参照してください。
-
-

6.2.82 デフォルト表領域に十分な空き領域がありません。

原因: デフォルト表領域の空き領域が 20MB を下回っています。

処置: デフォルト表領域に 20MB 以上の空き領域を作成します。アップグレードをもう一度実行します。

6.2.83 一時表領域に十分な空き領域がありません。

原因: 一時表領域の空き領域が 10MB を下回っています。

処置: 一時表領域に 10MB 以上の空き領域を作成します。アップグレードをもう一度実行します。

6.2.84 ディレクトリ <upgrade_tmp_dir> を作成できません。

原因: 一時ディレクトリを作成する権限がありません。

処置: 親ディレクトリに対する権限を変更します。

6.2.85 <log_file_name> を作成できません。ディレクトリの権限を確認してください

原因: アップグレード・ログ・ファイルを作成できませんでした。

処置: アップグレード・ログが書き込まれるディレクトリに対する権限を変更するか、別のログ・ファイルの場所を指定して、アップグレードをもう一度実行します。

注意: この問題の解決方法については、次のどちらかを参照してください。

- Oracle9iAS Portal リリース 2 (9.0.2) から OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、Oracle Application Server の 10g へのアップグレード・ガイドを参照してください。
 - Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) 以下のリリースから OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、OracleAS Portal Center (<http://portalcenter.oracle.com/upgrades>) を参照してください。
-
-

6.2.86 <user_profile> を作成できません。ディレクトリの権限を確認してください

原因: 一時ディレクトリに対する権限では、ユーザー・プロファイル用の login.sql スクリプトを作成できません。

処置: 一時ディレクトリに対する権限を変更して、アップグレードをもう一度実行します。

6.2.87 SQL*Plus のリリースを判別できません。Oracle 環境設定を確認してください。

原因: このエラーは、UNIX プラットフォームで正しくないライブラリ・パスを使用してアップグレードを実行している場合に発生します。

処置: UNIX プラットフォームで、ライブラリ・パスの先頭に \$ORACLE_HOME/lib が指定されていることを確認します。

6.2.88 予期しないエラーが発生しました（データベースに接続できません）。ライブラリ・パスと他の環境設定を確認してください。

原因: このエラーは、UNIX プラットフォームで正しくないライブラリ・パスを使用してアップグレードを実行している場合に発生します。

処置: UNIX プラットフォームで、ライブラリ・パスの先頭に \$ORACLE_HOME/lib が指定されていることを確認します。

6.2.89 外部アプリケーション ID を更新しています : <string>

原因: これは、外部アプリケーションの識別子を変換するときに発生する可能性のある内部エラーです。

処置: このエラーをオラクル社カスタマ・サポート・センターに報告し、アップグレードの出力ファイルを提出してください。

6.2.90 VPD チェック・ユーティリティで不明なエラーが発生しました : <check_step>

原因: 指定した手順の実行中に予期しないエラーが発生しました。このエラーの後に表示されるメッセージには、エラーに関する詳細情報が含まれています。

処置: 詳細情報に記述されている問題を解決できる場合は解決します。

6.2.91 使用方法 : upgrade.csh [-l <log-file>] [-t <tmp-directory>] [-ssoid <sso-server-id>]

原因: upgrade.csh に正しくない引数が指定されました。このエラーの前には「エラー:」が付きません。

処置: upgrade.csh コマンドの使用方法を確認し、アップグレードをもう一度実行します。

注意: この問題の解決方法については、次のどちらかを参照してください。

- Oracle9iAS Portal リリース 2 (9.0.2) から OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、Oracle Application Server の 10g へのアップグレード・ガイドを参照してください。
 - Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) 以下のリリースから OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、OracleAS Portal Center (<http://portalcenter.oracle.com/upgrades>) を参照してください。
-
-

6.2.92 リリースが更新されません。アップグレード・ログに致命的エラーがあります。

原因：このメッセージは、Oracle9iAS Portal のリリースが新しいリリースに更新されないことを示しています。アップグレードの実行中に、Oracle9iAS Portal が正しく機能できなくなるエラーが発生しました。エラーの概要は、アップグレード・ログの最後に表示されます。

処置：表示されているエラーを修正してみます。この章を検索し、記載されている修正方法を適用します。次に、バックアップからリストアし、アップグレードをもう一度実行します。これがうまくいかない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

注意：このチェックでは、特定の致命的エラーのみが検出されます。他の致命的エラーが発生していても、リリースが更新される可能性があります。

6.2.93 リリース <release> がこのリリースのアップグレードでサポートされていません。

原因：Oracle9iAS Portal のリリースがサポートされていません。

処置：サポートされている Oracle9iAS Portal のリリース (3.0.9.8.3、3.0.9.8.3A、3.0.9.8.4、3.0.9.8.5、9.0.2.0、9.0.2.2、9.0.2.3、9.0.2.6) でアップグレードを実行しているかどうかを確認します。

6.2.94 Oracle データベースのリリース <release> がアップグレードでサポートされていません。

原因: RDBMS のリリースが正しくありません。

処置: Oracle9i Database リリース 1 (9.0.1.4) Enterprise Edition または Standard Edition の最低限のデータベース・リリースにアップグレードします。

注意: この問題の解決方法については、次のどちらかを参照してください。

- Oracle9iAS Portal リリース 2 (9.0.2) から OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、Oracle Application Server の 10g へのアップグレード・ガイドを参照してください。
 - Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) 以下のリリースから OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、OracleAS Portal Center (<http://portalcenter.oracle.com/upgrades>) を参照してください。
-

6.2.95 Oracle Portal/WebDB のリリース <release> がアップグレードでサポートされていません。

原因: Oracle9iAS Portal のリリースが正しくありません。

処置: サポートされている Oracle9iAS Portal のリリース (3.0.9.8.3、3.0.9.8.3A、3.0.9.8.4、3.0.9.8.5、9.0.2.0、9.0.2.2、9.0.2.3、9.0.2.6) で実行しているかどうかを確認します。

6.2.96 VPD のコンテキスト値が正しくありません。

原因: ログイン・トリガーによって正しいコンテキストが設定されていません。

処置: ログイン・トリガーが正しくインストールされているかどうかを確認します。トリガーをインストールするには、SYS ユーザーとしてログインしているときに、SQL*Plus から logintrg.sql スクリプトを実行します。このスクリプトは、<upgrade_directory>/upg/common ディレクトリにあります。

6.2.97 VPD のコンテキスト値が設定されていません。

原因: VPD コンテキストを設定する Oracle9iAS Portal のログイン・トリガーがインストールされていないか、無効になっています。

処置: Oracle9iAS Portal のログイン・トリガーがインストールされ、データベースで有効になっているかどうかを確認します。トリガーをインストールする必要がある場合は、SYS ユーザーとしてログインしているときに、SQL*Plus から logintrg.sql スクリプトを実行します。このスクリプトは、<upgrade_directory>/upg/common ディレクトリにあります。

6.2.98 VPD が正しくインストールされていません。

原因: VPD チェックのいずれかが失敗しました。

処置: このエラーの後に詳細なメッセージが表示されます。そのメッセージに記述されている情報を調べて、問題を解決します。

6.2.99 VPD がデータベースで実行されていません。

原因: VPD チェックの失敗の原因となる問題がデータベースに発生しました。

処置: データベースのドキュメントを参照して、考えられる対処法を見つけます。

6.2.100 ディレクトリ <upgrade_tmp_dir> に対する書込み権限がありません。

原因: 一時ディレクトリに書き込む権限がありません。

処置: 一時ディレクトリに対する権限を変更するか、別の一時ディレクトリの場所を指定して、アップグレードをもう一度実行します。

注意: この問題の解決方法については、次のどちらかを参照してください。

- Oracle9iAS Portal リリース 2 (9.0.2) から OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、Oracle Application Server の 10g へのアップグレード・ガイドを参照してください。
 - Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) 以下のリリースから OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、OracleAS Portal Center (<http://portalcenter.oracle.com/upgrades>) を参照してください。
-
-

6.3 リポジトリのアップグレードの警告メッセージ

次のメッセージは、情報メッセージです。これらが原因で、アップグレードされた Oracle9iAS Portal が機能しなくなることはありませんが、メッセージの内容は調べる必要があります。次のすべてのメッセージの前には「警告:」が付きます（説明の中で特に注記がないかぎり）。

6.3.1 SYS スキーマで <n> 個のセッション・クリーン・アップ・ジョブが検出されました。

原因: セッション・クリーン・アップ・ジョブは、通常は Oracle9iAS Portal スキーマに含まれているジョブです。しかし、以前の操作（データベースのアップグレードなど）によって SYS スキーマにこのジョブが作成されました。たとえば、次のようになります。

警告: SYS スキーマで 1 個のセッション・クリーン・アップ・ジョブが検出されました

処置: このメッセージは情報メッセージにすぎません。処置は必要ありません。

6.3.2 ログ・ファイルを作成できません。ログ・メッセージは標準エラー・ストリームにリダイレクトされます。

原因: デフォルトでは、OID 制御ユーティリティによって生成されたデバッグ・ログ・ファイルが Oracle ホームの ldap/log ディレクトリに作成されます。このエラーは、権限が不足しているためにログ・ファイルを作成できなかったことを示しています。このエラーの前には「警告:」が付きません。ldifmigrator コマンドを実行すると、次の出力が作成されます。

ログ・ファイルを作成できません。ログ・メッセージは標準エラー・ストリームにリダイレクトされます。

LDIF データの OiD への移行開始: <date>

入力ファイル: secuaci.sbs

出力ファイル: secuaci.ldif

置換変数

s_SubscriberDN: dc=mycompany,dc=com

s_UserContainerDN: cn=Login Server (portal30_sso)

s_GroupContainerDN: cn=Groups, dc=mycompany,dc=com

s_SubscriberOracleContextDN: cn=OracleContex,dc=mycompany,dc.com

s_UserNicknameAttribute: cn

s_RootOracleContentDN: cn=OracleContent

s_CurrentUserDN: cn=oracladmin

LDIF データの OiD への移行完了: <date>

処置: Oracle ホームの ldap/log ディレクトリへの書き込み権限を取得します。変更内容を保存し、upsecoid スクリプトをもう一度実行して、このディレクトリのログ・

ファイルを確認します。詳細は、『Oracle Internet Directory 管理者ガイド』を参照してください。

6.3.3 コンポーネント <internal_name> のタイトルを "<old_display_name>" から "<new_display_name>" に変更しています

原因: ポートレット・ビルダー（以前は WebView）コンポーネントのタイトルは、一意である必要があります。タイトルが重複しているポートレット・ビルダー・コンポーネントがある場合は、それらの名前が <display_name> <component_id> に変更されます。カスタマイズはそのまま維持されます。たとえば、次のようになります。

警告: コンポーネント RPT_WIZ1 のタイトルを "Wizard Report" から "Wizard Report 1169884988" に変更しています

このコンポーネントが描画されると、新しいタイトルが表示されます。このコンポーネントがカスタマイズされていた場合は、効果がありません。カスタマイズされたタイトルが表示されます。

処置: コンポーネントに移動して、その名前をよりわかりやすい名前に変更します。

6.3.4 コンポーネント <APPLICATION_SCHEMA>.<COMPONENT_NAME> にエラーがあります。その基となるオブジェクトがすべて存在しているかどうかを確認してください。

原因: このコンポーネントの基となるオブジェクトが 1 つ以上不足しています。たとえば、表 MY_TABLE に基づいて QBE が作成されます。その後、MY_TABLE が削除されます。たとえば、次のようになります。

警告: コンポーネント SCOTT.MY_QBE にエラーがあります。その基となるオブジェクトがすべて存在しているかどうかを確認してください。

処置: 不足しているオブジェクトを補います。コンポーネントをこれ以上使用しない場合は、OracleAS Portal ナビゲータを使用して削除します。

6.3.5 <select_statement> を <schema_name> として解析できませんでした

原因: ポートレット・ビルダーのカレンダの基となるオブジェクトが存在しません。このメッセージは、次の場合に発生します。

- カレンダの基となる表が存在しない場合
- カレンダを含むデータベース・プロバイダの基となるスキーマが存在しない場合

例:

```
警告 :select a1.HIREDATE the_date, a1.ENAME the_name, null the_name_link,  
null the_date_link, null the_target from test_1.EMP_1 a1 order by  
a1.HIREDATE を TEST_1 として解析できませんでした
```

```
警告 :select b2.HIREDATE the_date, b2.ENAME the_name, null the_name_link,  
null the_date_link, null the_target from test_2.EMP_2 b2 order by  
b2.HIREDATE を TEST_2 として解析できませんでした
```

この警告は通常、Oracle エクスポート / インポートを使用して作成された Oracle9iAS Portal のアップグレード中に発生します。ポートレット・ビルダー・コンポーネントの基となるスキーマがすべてインポートされていません。不足しているオブジェクトを補うまで、この警告が表示されているカレンダは使用できないため、カレンダ・コンポーネントは再生成されます。

6.3.6 OMNIPORTLET プロバイダを更新できませんでした。

原因: OminPortlet プロバイダにアクセスできないため、プロバイダの更新に失敗しました。

処置: Portal の中間層で OminPortlet Web プロバイダにアクセスできるかどうかを確認します。確認後、このプロバイダをポートレット・リポジトリから更新します。

6.3.7 ORACLE PORTAL プロバイダを更新できませんでした。

原因: OracleAS Portal データベース・プロバイダにアクセスできないため、プロバイダの更新に失敗しました。

処置: OracleAS Portal プロバイダにアクセスできるかどうか、および OracleAS Portal スキーマに含まれる `wwptl_general_provider` パッケージが有効であるかどうかを確認します。確認後、このプロバイダをポートレット・リポジトリから更新します。

6.3.8 アップグレードに必要なスタイル情報が不足しているため、サイト <site_name> を削除しています。このサイトは修復できません。

原因: このサイトには、アップグレードに必要なスタイル情報が不足しています。このサイトは削除されました。

処置: 処置は必要ありません。

6.3.9 デフォルト JPDK インスタンスの URL が存在しません。このため、URL `http://host:port/` を使用してプロバイダが登録されます。

原因: アップグレード時に、生成済の OmniPortlet、Web Clipping および OracleAS Portal 構築ツールの各プロバイダが登録されるときは、これらのプロバイダがデフォルト JPDK インスタンスの URL で識別されたのと同じ中間層に配置されるものとします。この値を確認するには、次の手順を実行します。

1. OracleAS Portal にログインします。
2. 「管理」タブをクリックします。
3. 「サービス」ポートレットで、「グローバル設定」リンクをクリックします。
4. 「構成」タブをクリックします。
5. デフォルト JPDK インスタンス URL のフィールドを見つけます。通常、この値は `<portal_middle_tier_protocol>://<portal_middle_tier_host>:<portal_middle_tier_port>/jpd/servlet/soaprouter/` です。このフィールドに値が入っていない場合は、前述の警告メッセージがアップグレード・ログに表示されます。

処置: スクリプト `<upgrade_directory>/upg/9025-9026/wws/updmturl.sql` を実行して、これらのプロバイダの URL を更新します。このスクリプトによって、プロバイダ表に含まれる `PORTLETBLDGTOOLS`、`OMNIPORTLET`、`WEBCLIPPING` の各プロバイダの中間層 URL が更新されます。このスクリプトは、アップグレード・スクリプトからは実行されません。このため、URL を更新する場合は、スタンドアロンモードでこのスクリプトを実行します。たとえば、次のようになります。

```
updmturl.sql http my.domain.com 80
```

各項目の説明

- http は、中間層のプロトコルです。
- my.domain.com は、中間層のホストです。
- 80 は、中間層のポートです。

6.3.10 ファイル <file_path> の文書サイズが NULL です

原因: アップグレード時に文書が添付されていると思われるアイテムがページに見つかりましたが、この文書は実際には存在しません。これは、アイテムのデータが破損していることを示しています。このアイテムはアップグレードされますが、添付されている文書にはアクセスできません。Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) でも文書にアクセスできなかったと考えられます。

処置: このアイテムをいったん削除してから、再作成します。

6.3.11 廃止されたイメージ・チャートを削除しています： <schema_name>.<image_chart_name>

原因: イメージ・チャートは、Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) のベータ版の機能でしたが、OracleAS Portal 9.0.4 ではサポートされていないため、リポジトリから削除されます。アップグレード中の Oracle9iAS Portal に含まれているイメージ・チャートはすべて失われます。チャートがメニューやリンクなどの他のコンポーネントによって参照されていた場合は、ここで警告が発生します。たとえば、メニューはイメージ・チャートにリンクしている可能性があります。ユーザーがそのアイテムをクリックすると、コンポーネントが存在しないことを示すエラー・メッセージが表示されます。この警告は、存在しないコンポーネントにレガシー・メニューがリンクしている場合にも発生します。

このことは、イメージ・チャートが次のようになることを意味します。

- ナビゲータのプロバイダに表示されなくなります。
- ポートレット・リポジトリに表示されなくなります。
- 以前にそれが追加されたページに表示されなくなります。
- また、イメージ・チャートへのリンクによってエラーが発生します。

処置: 以前にチャートを指していたメニューやリンクなどのコンポーネントを削除するか、それらが新しい場所を指すように編集します。

6.3.12 重複したパスが見つかりました : <path>

原因: 指定したパスは、DAV 表にすでに存在します。これは、サブ・ページの名前が警告に示されたパスの文書と同じ名前である場合に発生することがあります。アップグレードは続行しますが、DAV からページ・グループにアクセスできなくなる可能性があります。

処置: サブ・ページの名前を変更して (ページ・プロパティの編集ダイアログの名前フィールド)、その名前が文書のファイル名と重複しないようにします。次に、スキーマ所有者としてログインしているときに次の SQL を実行して、DAV ローダーを実行します。

```
set serveroutput on size 100000
begin
  wwdav_loader.create_dav_content;
end;
```

6.3.13 外部アプリケーション ID が更新されました。しかし、アプリケーションの数が多いために一部にカスタマイズが失われました。外部アプリケーションの数を減らし、ユーザーにもう一度カスタマイズするよう依頼してください。

原因: 外部アプリケーションの数が多すぎます。これらのアプリケーションのカスタマイズが、記憶域の物理的な最大制限を超えました。その結果、一部のカスタマイズが失われた可能性があります。

処置: SSO Server 上の外部アプリケーションの数を減らします。外部アプリケーション・ポートレットのデフォルトを編集し、ユーザーにカスタマイズを確認するように通知します。

6.3.14 無効なナビゲーション・バー参照が <n> 個のフォルダで見つかりました

原因: このメッセージは、フォルダの表 (www_corners) に無効な NAVBAR 参照が存在する場合に発生することがあります。アップグレードされた OracleAS Portal には影響ありません。

処置: この警告メッセージは問題ないため、無視してもかまいません。

6.3.15 無効なスタイル参照が <n> 個のフォルダで見つかりました

原因: このメッセージは、フォルダの表 (www_corners) に無効なスタイル参照が存在する場合に発生することがあります。アップグレードされた OracleAS Portal には影響ありません。

処置: この警告メッセージは問題ないため、無視してもかまいません。

6.3.16 Portal 以外のオブジェクトにエラーがあります。詳細は、<upgrade_tmp_dir>/nonportal.log を参照してください。

原因: Oracle9iAS Portal スキーマに含まれる Oracle9iAS Portal 以外のオブジェクトにエラーがあり、コンパイルできません。

処置: オブジェクトをコンパイルできない原因を突き止めて、それを修正します。これらのエラーの発生原因の 1 つとして、推奨されない、または変更された Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) の API が参照されており、これらの API が OracleAS Portal 9.0.4 で動作しないことがあげられます。PDK に関する情報 (<http://portalcenter.oracle.com>) を参照してください。

6.3.17 1つ以上の指定されたホストに接続できない可能性があります。続行する前に、すべてのホストの ping が可能であるかどうかを確認してください。ホスト名には http 接頭辞やポート番号などは含まれません。

原因: perl を使用して、指定されたホストの ping ができませんでした。アップグレードに使用された perl 版の ping では、実際にはホストに接続できるときにもホストの可用性が検出されない場合があります。

処置: オペレーティング・システムの ping コマンドを使用して、ホストに接続できるかどうかを確認します。ホストに接続できる場合は、この警告を無視してもかまいません。オペレーティング・システムの ping が失敗した場合は、ホストを起動するか、ホストがネットワークに接続されているかどうかを確認します。オペレーティング・システムの ping コマンドは、失敗したホストごとに使用します。次の例は、この警告の後に表示される到達可能性の詳細を示しています。

```
ホストの到達可能性の詳細
Portal 中間層ホスト : 可
Web Cache ホスト : 可
SSO 中間層ホスト : 不可
```

この場合は、アップグレード・スクリプトで SSO 中間層のホストを ping できませんでした。コマンド・プロンプトから ping <ss0_midtier_host> を使用して、SSO 中間層のホストに接続できるかどうかを確認します。

6.3.18 本稼働コンポーネントは、wwv_modules\$ 表の <n>% のコンポーネントのみです。

原因: この情報メッセージは、アーカイブされたポートレット・ビルダー（以前は WebView）コンポーネントが多すぎることを示しています。これは、Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) で、コンポーネントを編集および保存するたびに新しいコンポーネントが作成されたことが原因の可能性があります。たとえば、次のようになります。

警告: 本稼働コンポーネントは、wwv_modules\$ 表の 38 % のコンポーネントのみです。

処置: アーカイブされたコンポーネントをできるだけ多く削除します。これにより、すべてのアーカイブが格納されている表のサイズが小さくなります。

6.3.19 個人用ページ ID の変更 - 古い ID:: <old_id> => 新しい ID:: <new_id>

原因: Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) の個人用ページを「共有オブジェクト」ページ・グループにアップグレードするとき、Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) で、個人用ページの ID が個人用フォルダとして「共有オブジェクト」ページ・グループにすでに存在している場合は、個人用ページに新しい ID が割り当てられます。たとえば、次のようになります。

個人用ページ ID の変更 - 古い ID:: 443 => 新しい ID:: 32256

処置: Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) の個人用ページの URL にブックマークが付いている場合は、新しい ID 値でそのブックマークを更新する必要があります。

注意: この問題の解決方法については、次のどちらかを参照してください。

- Oracle9iAS Portal リリース 2 (9.0.2) から OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、Oracle Application Server の 10g へのアップグレード・ガイドを参照してください。
 - Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) 以下のリリースから OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、OracleAS Portal Center (<http://portalcenter.oracle.com/upgrades>) を参照してください。
-
-

6.3.20 個人用ページ名の変更 - 古い名前 :: <old_name> => 新しい名前 :: <new_name>

原因: 「共有オブジェクト」ページ・グループの個人用フォルダと名前が重複する個人用ページが更新されます。たとえば、次のようになります。

警告: 個人用ページの名前を "MY_REPORTS" から "MY_REPORTS_10104585" に変更しました

処置: ページ名をよりわかりやすい名前 (必要な場合は一意の名前) に変更します。警告ファイル <upgrade_tmp_dir>/upgrade.wrn にアクセスします。

注意： この問題の解決方法については、次のどちらかを参照してください。

- Oracle9iAS Portal リリース 2 (9.0.2) から OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、Oracle Application Server の 10g へのアップグレード・ガイドを参照してください。
 - Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) 以下のリリースから OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、OracleAS Portal Center (<http://portalcenter.oracle.com/upgrades>) を参照してください。
-
-

6.3.21 ポートレット・ビルダー（WebView）コンポーネントに不明な問題があります。

原因： ポートレット・ビルダー・コンポーネント（パッケージ）が無効です。

処置： ログに表示されたパッケージをコンパイルするときに、エラーの原因を解決してみます。たとえば、表に基づくレポートがあり、その表が削除されていることがあります。この場合、このレポートはもう有効ではないため、削除してもかまいません。

6.3.22 ページ ID = <page id> ユーザー名 = <user name> を再度割り当てます

原因： Portal からユーザーが削除されるときに、そのユーザーのページは削除されません。ユーザーが削除されても、Portal 内部でそれらのページが引き続き必要な場合があります。この場合は、これらのページの所有者が Portal スキーマ所有者になるように再割り当てされます。たとえば、次のようになります。

ページ ID = 23555 ユーザー名 = STIGER を再度割り当てます

処置： 処置は必要ありません。

6.3.23 次のページの所有者をスキーマ所有者 <portal schema> に再度割り当てます

原因: Portal からユーザーが削除される時に、そのユーザーのページは削除されません。ユーザーが削除されても、Portal 内部でそれらのページが引き続き必要な場合があります。この場合は、これらのページの所有者が Portal スキーマ所有者になるように再割り当てされます。たとえば、次のようになります。

次のページの所有者をスキーマ所有者 PORTAL30 に再度割り当てます

処置: 処置は必要ありません。

6.3.24 最近使用したオブジェクトのポートレット設定が削除できませんでした。

原因: アップグレード・スクリプトで、最近使用したオブジェクトのポートレット設定を削除できませんでした。

処置: 設定を削除しても Oracle9iAS Portal には関係ありませんが、それらを削除して、この警告が表示されないようにします。

6.3.25 ページ ID = <page ID> およびサイト ID = <site ID> の領域 ID = <region ID> がサブ・ページ・リンク領域に変換されませんでした

原因: サブ・ページの表示アイテム以外のアイテムが領域に含まれていたため、アップグレード中にそのページの領域がサブ・ページ・リンク領域に正常に変換されませんでした。

処置: ユーザーはまず、その領域に含まれる既存のアイテムをそのページの別の領域に移動する必要があります。この変更が終わったら、その領域のプロパティを編集して、それをサブ・ページ・リンク領域に変換できます。あるいは、サブ・ページ・リンク領域をそのページに作成することもできます。

6.3.26 テンプレート ID = <template ID> およびサイト ID = <site ID> の領域 ID = <region ID> がサブ・ページ・リンク領域に変換されませんでした

原因: サブ・ページの表示アイテム以外のアイテムがテンプレート自体またはテンプレートに基づくページに含まれていたため、アップグレード中にそのテンプレートの領域がサブ・ページ・リンク領域に正常に変換されませんでした。この場合は、その領域に含まれるアイテムが多すぎたため、テンプレートに基づくすべてのページの個々の警告を報告できませんでした。

処置: ユーザーはまず、その領域に含まれるすべての既存アイテムをそのテンプレートまたはページの別の領域に移動する必要があります。この変更が終わったら、その領域のプロパティを編集して、それをサブ・ページ・リンク領域に変換できます。あるいは、サブ・ページ・リンク領域をそのテンプレートに作成することもできます。

6.3.27 セッション・クリーン・アップ・ジョブ: <job_id> が SYS スキーマから削除されました。

原因: セッション・クリーン・アップ・ジョブは、通常は Oracle9iAS Portal スキーマに含まれているジョブです。しかし、以前の操作（データベースのアップグレードなど）により、アップグレードの一環としてこのジョブが削除されました。たとえば、次のようになります。

警告: セッション・クリーン・アップ・ジョブ: 63 が SYS スキーマから削除されました。

処置: アップグレードが実行されているデータベース・インスタンスに他の Oracle9iAS Portal スキーマが含まれていない場合、処置は必要ありません。これは、アップグレード中にセッション・クリーン・アップ・ジョブがその Oracle9iAS Portal スキーマに作成されるからです。しかし、データベース・インスタンスに Oracle9iAS Portal スキーマが他にも存在する場合は、すべてのスキーマにそれぞれのセッション・クリーン・アップ・ジョブが含まれているかどうかを確認する必要があります。セッション・クリーン・アップ・ジョブが存在するかどうかを確認するには、Oracle9iAS Portal スキーマの sqlplus からスクリプト <upgrade_directory>/wwc/ctxjget.sql を実行します。このジョブが Oracle9iAS Portal スキーマに存在しない場合は、そのスキーマの sqlplus からスクリプト <upgrade_directory>/wwc/ctxjsub.sql を実行して、そのジョブを作成できます。

6.3.28 必要なスタイル情報が不足しているため、一部のサイトが削除されます。詳細は、`sitechk.log` を参照してください

原因: 事前チェック・モードでのアップグレード中に、アップグレードに必要なスタイル情報が不足しているサイトが1つ以上検出されました。

処置: 問題になっているサイトは、修復できないために削除されます。これらのサイトの必要な情報をすべて保存してから、アップグレードを実行します。対象となるサイトを確認するには、`<upgrade_tmp_dir>` ディレクトリにある `sitechk.log` ファイルを参照してください。このファイルには、サイトごとに次のメッセージが含まれています。

必要なデータが不足しているため、サイト `<site name>` は削除され、アップグレードできません

6.3.29 同じ領域に他のアイテムが存在するため、サイト ID `<site_id>` およびページ `<page_name>` のサブ・ページ・アイテム (タイトル: `<item title>`) がアップグレードされませんでした。

原因: そのサブ・ページ・アイテムは廃止されましたが、同じ領域に他のアイテムが存在していたため、サブ・ページ領域タイプに置き換えられませんでした。

処置: 警告メッセージが表示されているページに新しいサブ・ページ・タイプの領域を作成します。

6.3.30 VPD ポリシーのない表 : <table_name>

原因: このメッセージに示されている表の VPD ポリシーが Oracle9iAS Portal スキーマに正しくインストールされませんでした。

処置: メッセージに示されている表が Oracle9iAS Portal 製品に含まれていない場合は、この警告を無視しても問題ありません。この表が次のいずれかである場合も、この警告を無視してかまいません。

- WWPRO_OFFLINE_PRO_PORTLET\$
- WWPRO_OFFLINE_PRO_PORTLET_NLS\$
- WWPRO_PORTLET_METADATA_USER\$

それ以外の場合は、以前のインストールまたはアップグレード手順に問題がある可能性があります。詳細は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに問い合せてください。

6.3.31 ページ ID = <page ID> およびサイト ID = <site ID> のテンプレートの領域 ID = <region ID> がサブ・ページ・リンク領域に変換されませんでした

原因: サブ・ページの表示アイテム以外のアイテムがテンプレート自体またはテンプレートに基づくページに含まれていたため、アップグレード中にそのテンプレートの領域がサブ・ページ・リンク領域に正常に変換されませんでした。

処置: ユーザーはまず、その領域に含まれるすべての既存アイテムをそのテンプレートまたはページの別の領域に移動する必要があります。この変更が終わったら、その領域のプロパティを編集して、それをサブ・ページ・リンク領域に変換できます。あるいは、サブ・ページ・リンク領域をそのテンプレートに作成することもできます。

6.3.32 現在、DBMS ジョブ・キューは無効です。適切な Portal の操作に対してもう一度有効にする必要があります。

原因: DBMS ジョブ・キューを適切な操作に対してもう一度有効にする必要があります。システム・パラメータ `job_queue_processes` を 0 に設定したか、ログインを制限したことによって、無効になった可能性があります。

処置: `job_queue_processes` が 1 以上に設定されていること、およびシステムのセッション制限が解除され、ログインが制限されていないことを確認します。

6.3.33 次の無効な Portal 以外のオブジェクトが Portal スキーマに存在します

原因: Oracle9iAS Portal のオブジェクトと Oracle9iAS Portal 以外のオブジェクトは、別々にコンパイルされます。Oracle9iAS Portal のオブジェクトでは、コンパイルに関する問題はエラーとして報告されます。しかし、Oracle9iAS Portal 以外のオブジェクトでは、コンパイルに関する問題は警告として報告されます（その問題が原因でアップグレードが失敗したとはみなされないため）。

処置: 生成されたファイル `<upgrade_tmp_dir>/nonportal.log` を調べ、オブジェクトに関連したコンパイルの問題を解決します。パッケージのコンパイル・エラーによって、ポートレットが正しく描画されないことがあります。

6.3.34 OID サーバーへのアクセス時にエラーが発生したため、ローカル・キャッシュを OID から更新できませんでした。アップグレードが完了したら、MIDTIER モードで `ptlasst` を実行して、必ずキャッシュを更新してください。

原因: OID サーバーがまだ構成されていないか、環境設定ストアに含まれている OID パラメータが正しくありません。このため、ローカル・キャッシュを更新するために OID サーバーにアクセスする際に問題が発生します。

処置: アップグレードが完了したら、MIDTIER モードで `ptlasst` を実行して、手動で OID からローカル・キャッシュを更新します。

6.3.35 アプリケーション <application_name> のプロバイダ名が <new_name> に変更されました。

原因: プロバイダの名前が競合しています。たとえば、次のようになります。

警告: アプリケーション MY_APP のプロバイダ名が MY_APP_63 に変更されました

処置: PL/SQL アダプタを使用してプロバイダをリモート・プロバイダとして登録するときは、古い名前ではなく新しい名前を指定します。たとえば、次のようになります。

service_id は、urn:MY_APP ではなく urn:MY_APP_63 にします。

PL/SQL アダプタを使用する予定がない場合は、このメッセージを無視してもかまいません。

6.3.36 データベースに、静的でないポリシーがいくつかあります

原因: Oracle9iAS Portal スキーマに含まれている一部の VPD ポリシーが静的ではありません。

処置: Oracle9iAS Portal スキーマのユーザーとしてログインしているときに、SQL*Plus から vpdstat.sql スクリプトを実行します。このスクリプトは、<upgrade_directory>/upg/309-903/wwh ディレクトリにあります。

6.3.37 トップ・レベル・ページ名の変更 - 古い名前 :: <old_name> => 新しい名前 :: <new_name>

原因: 「共有オブジェクト」ページ・グループの個人用フォルダと名前が重複するトップ・レベル・ページが更新されます。

処置: ページ名をよりわかりやすい名前（必要な場合は一意の名前）に変更します。警告ファイル <upgrade_tmp_dir>/upgrade.wrn にアクセスします。

注意: この問題の解決方法については、次のどちらかを参照してください。

- Oracle9iAS Portal リリース 2 (9.0.2) から OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、Oracle Application Server の 10g へのアップグレード・ガイドを参照してください。
 - Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) 以下のリリースから OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、OracleAS Portal Center (<http://portalcenter.oracle.com/upgrades>) を参照してください。
-

6.3.38 ユーザー / ロールの <schema> が存在しません。<schema> に基づくアプリケーションにエラーがあります。

原因: データベース・プロバイダ (以前はアプリケーションと呼ばれていた) のスキーマが存在しません。たとえば、次のようになります。

警告: ユーザー / ロールの SCOTTB が存在しません。SCOTTB に基づくアプリケーションにエラーがあります。

この場合は、アップグレード前にもデータベース・プロバイダにアクセスできません。

処置: データベース・プロバイダが廃止されているかどうかを確認します。廃止されている場合は、それを削除します。廃止されていない場合は、足りないスキーマを入力します。

6.3.39 VPD 事前チェックでいくつかの問題が見つかりました。

原因: VPD チェックのいずれかが失敗しました。

処置: この警告の後に詳細なメッセージが表示されます。そのメッセージに記述されている情報を調べて、問題を解決します。

6.4 アップグレード後の OracleAS Portal の使用時に発生するエラー

次のエラーは、OracleAS Portal のアップグレードの完了後、その使用中に表示されます。

6.4.1 404 - 見つかりません

OID サーバーを Oracle9iAS Portal リリース 2 (9.0.2) から OracleAS Portal 9.0.4 にアップグレードした後に、ユーザーが DAS リンク、あるいはユーザーまたはグループの LOV をクリックすると発生します。

原因: 9.0.2 OID サーバーと 9.0.4 OID サーバーとの間で DAS の URL が変更されました。OID サーバーが 9.0.2 から 9.0.4 にアップグレードされると、これらの URL は更新されます。OracleAS Portal では、そのリポジトリでこれらの URL のキャッシュを管理しています。OracleAS Portal のキャッシュは自動的に更新されないため、OID サーバーをアップグレードすると、OID サーバーで管理されている URL との一貫性がなくなります。

処置: Oracle Application Server の 10g へのアップグレード・ガイドの Oracle Internet Directory サーバーの OracleAS Portal の再構築に関する項の説明に従って、Oracle Internet Directory サーバーの OracleAS Portal を再構成します。この手順では、Oracle Internet Directory の OracleAS Portal エントリが正しく更新されることや、Oracle Application Server 10g が必要とする適切なプロビジョニング・イベントが Portal に送信されることを確認します。

6.4.2 500 - 内部サーバー・エラー

原因: 次のアクセスを試みているときに、portalTools.ear または portalHelp.ear の配置に失敗しました。

```
portalTools: http://<host>:<port>/portalTools
portalHelp: http://<host>:<port>/portalHelp/en/
```

処置: OC4J Configuration Assistant をもう一度実行して、それらのアプリケーションを配置します。

6.4.3 Oracle Internet Directory にアクセス中に例外が発生しました : <string> (WWC-41743) 該当するグループが見つかりません (WWC-41402)

このエラーは、Oracle Internet Directory (9.0.4) を使用するように構成された Oracle9iAS Portal リリース 2 (9.0.2) のリポジトリが OracleAS Metadata Repository (9.0.4) にアップグレードされた後で、プライベート・グループを編集しようとした場合に発生することがあります。

原因: プライベート・グループを表示できるようにするには、Portal がグループ "cn=Common Group Attributes,cn=Groups,cn=OracleContext" のメンバーになっている必要があります。Portal アプリケーションには、Oracle Internet Directory サーバー内にこの権限がありません。

処置: -mode MIDTIER および -type OID を使用して、ptlasst.csh を実行します。たとえば、次のようになります。

```
ptlasst.csh -mode MIDTIER -type OID -s portal -sp portal -c
dbHostName:1521:dbServiceName -ldap_h myOIDServer -ldap_p 389 -ldap_w
welcome1 -pwd secret123
```

6.4.4 SYS Java の権限が付与されていることを確認してください

原因: Java プロパティの読み取りおよび書き込み権限が SYS ユーザーに付与されていないと、次のエラーがデータベースのトレース・ファイルに書き込まれます。Oracle9iAS Portal データベースの Java コンポーネントが正しく実行されるためには、それらの権限を付与する必要があります。

```
不明な Java 例外で Java コールが終了しました :ExceptionInInitializerError
(WWC-43000)
```

処置: 次の手順を実行します。

1. SYS として OracleAS Portal データベースに接続します。
2. 次の問合せを実行して、権限が付与されているかどうかを確認します。

```
SELECT *
FROM dba_java_policy
WHERE grantee = 'SYS'
AND type_name = 'java.util.PropertyPermission'
AND enabled = 'ENABLED'
```

3. 問合せから返される行がない場合は、SYS として接続しているときに次の文を実行します。

```
call dbms_java.grant_permission('SYS','SYS:java.util.PropertyPermission',
'*, 'read,write');
```

データベース内の Java クラスが有効であるかどうかの確認

Web プロバイダとの通信に使用される Java クラスは、パッケージ `oracle.webdb.provider.web` に入っています。Oracle9iAS Portal の所有者として接続しているときに、次の問合せを使用して、これらのクラスが有効かどうかを確認します。

```
SELECT dbms_java.longname(object_name), status
FROM user_objects
WHERE object_type = 'JAVA CLASS'
AND dbms_java.longname(object_name) LIKE 'oracle/webdb/provider/web/%'
```

無効なステータスのオブジェクトがある場合は、`ALTER JAVA CLASS <class_name> COMPILE` を使用して、それらを再コンパイルします。

6.4.5 エラー 30617: 少なくとも 1 つの検索文字列を入力してください

原因: カテゴリまたはパースペクティブのポートレットが表示の対象を選択するようにカスタマイズされていません。このため、アップグレードされた検索結果ページのポートレット・インスタンスに検索基準が選択されていません。このような場合は、アップグレードされたポートレット・インスタンスが描画されるときに、このメッセージが表示されます。検索機能を設定する方法については、Portal オンライン・ヘルプの検索機能の設定に関する説明または『OracleAS Portal ユーザー・ガイド』の「検索機能の追加」を参照してください。

処置: 検索文字列を定義します。

注意: この問題の解決方法については、次のどちらかを参照してください。

- Oracle9iAS Portal リリース 2 (9.0.2) から OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、Oracle Application Server の 10g へのアップグレード・ガイドを参照してください。
 - Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) 以下のリリースから OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、OracleAS Portal Center (<http://portalcenter.oracle.com/upgrades>) を参照してください。
-
-

6.4.6 HTTP-404 - Document Not Found

原因: 文書名に空白またはプラス記号が含まれている文書にアクセスしているときにこのエラーが発生した場合は、PlsqlCompatibilityMode フラグが設定されたままになっている可能性があります。このフラグは、DAD 構成ファイルにあります。

処置: PlsqlCompatibilityMode フラグを削除します。このフラグは、DAD 構成ファイルにあります。

注意: この問題の解決方法については、次のどちらかを参照してください。

- Oracle9iAS Portal リリース 2 (9.0.2) から OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、Oracle Application Server の 10g へのアップグレード・ガイドを参照してください。
 - Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) 以下のリリースから OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、OracleAS Portal Center (<http://portalcenter.oracle.com/upgrades>) を参照してください。
-
-

このエラーが次の書式の URL に対して表示される場合

/pls/dad/url/...

原因: Portal DAD の PlsqlPathAliasProcedure パラメータが、schema.wwpth_api_alias.process_download として設定されるのではなく、間違って schema.wwdoc_process.process_download として設定されます。このエラーは、Oracle Enterprise Manager 9.0.2 を使用して Oracle9iAS Portal DAD を作成する場合に発生することがあります。

処置: 次の手順に従って、Portal DAD の PlsqlPathAliasProcedure パラメータを schema.wwpth_api_alias.process_download に変更します。

1. EM UI (通常は <http://host:1810>) に移動します。
2. 構成する Oracle9iAS インスタンスを選択します。
3. HTTP Server コンポーネントを選択します。
4. PL/SQL パッケージを選択します。
5. 「DAD」セクションで、エラーのある DAD を選択します。
6. 「文書、別名およびセッション」セクションを選択します。
7. 「パス別名プロシージャ」の値を <portal_schema>.wwpth_api_alias.process_download に変更します。

8. 変更を適用します。
9. OHS を再起動して、構成変更を有効にします。

EM UI を使用しない場合は、`mod_plsql` 構成を手動で変更する方法について、OHS 構成ガイドを参照してください。

注意： この問題の解決方法については、次のどちらかを参照してください。

- Oracle9iAS Portal リリース 2 (9.0.2) から OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、Oracle Application Server の 10g へのアップグレード・ガイドを参照してください。
 - Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) 以下のリリースから OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、OracleAS Portal Center (<http://portalcenter.oracle.com/upgrades>) を参照してください。
-
-

原因： 次のアクセスを試みているときに、`portalTools.ear` または `portalHelp.ear` の配置に失敗しました。

```
portalTools: http://<host>:<port>/portalTools
portalHelp: http://<host>:<port>/portalHelp/en/
```

処置： OC4J Configuration Assistant をもう一度実行して、それらのアプリケーションを配置します。

6.4.7 java.io.InterruptedIOException: 接続の確立がタイムアウトしました

原因: このエラーは、OracleAS Portal 所有者に適切な Java の権限が付与されていない場合に発生することがあります。権限が付与されていない場合は、このブラウザ・エラーが発生した際に、次のエラーがデータベースのトレース・ファイルに書き込まれます。

```
java.security.AccessControlException: 権限 (java.net.SocketPermission
<ip_address> connect,resolve) は <portal_schema_user> に付与されていません。
```

処置: 次の手順を実行します。

1. SYS として OracleAS Portal データベースに接続します。
2. 次の問合せを使用して、権限が付与されているかどうかを確認します。

```
SELECT *
FROM dba_java_policy
WHERE grantee = '<portal_schema_user>'
AND type_name = 'java.net.SocketPermission'
AND enabled = 'ENABLED'
```

権限は、JAVASYSPRIV ロールによっても付与されます。次の問合せを使用して、このロールが Oracle9iAS Portal 所有者に付与されているかどうかを確認します。

```
SELECT *
FROM dba_role_privs
WHERE grantee = '<portal_schema_user>'
AND granted_role = 'JAVASYSPRIV'
```

3. どちらの問合せからも返される行がない場合は、次の文を実行して権限を付与します。

```
call dbms_java.grant_permission('<portal_schema_user>', 'SYS:java.net.SocketPermission', '*', 'connect,resolve');
```

6.4.8 無効な URL です (WWC-50014)。コンテキストのデフォルト言語が見つかりません (WWC-50007)。ページ・グループ ID が存在しません (WWS-30641)。

原因: 新しいアーキテクチャのために、URL が変更されました。この場合、ユーザーのカスタム・データによってリンクが切断されました。

処置: 無効な URL を修正します。

注意: この問題の解決方法については、次のどちらかを参照してください。

- Oracle9iAS Portal リリース 2 (9.0.2) から OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、Oracle Application Server の 10g へのアップグレード・ガイドを参照してください。
 - Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) 以下のリリースから OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、OracleAS Portal Center (<http://portalcenter.oracle.com/upgrades>) を参照してください。
-
-

6.4.9 アプリケーション・エントリが OID に存在しません。パラメータを調べて、sync モードを試す前に create、ldif、load の各モードを実行していることを確認してください。

原因: このエラーは、upsecoid を手動で実行しているときに表示されます。アプリケーション・エントリの DN は、upsecoid の実行時に提供されるインスタンス名に基づいて作成されます。OracleAS Portal は、指定したインスタンス名に基づくアプリケーション・エントリを OID 内で見つけることができませんでした。このエラーは、create、ldif、load の各モードを実行する前に sync モードで upsecoid スクリプトが実行されたか、ldif モードと sync モードに使用されたインスタンス名が一致しなかった場合に発生することがあります。このエラーは、事前にアップグレードされたスキーマから upsecoid が実行された場合にも発生することがあります。

処置: upsecoid のすべてのモードが適切な順序で実行されていることを確認します。load モードでは、OID エントリがロードされます。LDAP コマンドライン・ツールを使用して、OID エントリが存在するかどうかを確認します。これらのエントリが OID に見つからない場合は、create、ldif、sync の各モードで upsecoid をもう一度実行します。

これらのエントリが OID に存在する場合は、ldif モードの実行に使用されたインスタンス名を見つけ、同じ値を使用して sync モードの upsecoid を実行します。インスタンス名を取得するには、OID の cn=Portal、cn=Products、cn=OracleContext ノードの下に作成されたアプリケーション・エントリの相対識別名を調べます。ldap

コマンドライン・ツールについては、『Oracle Internet Directory 管理者ガイド』を参照してください。

注意： この問題の解決方法については、次のどちらかを参照してください。

- Oracle9iAS Portal リリース 2 (9.0.2) から OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、Oracle Application Server の 10g へのアップグレード・ガイドを参照してください。
 - Oracle9iAS Portal リリース 1 (3.0.9) 以下のリリースから OracleAS Portal 9.0.4 に移行している場合は、OracleAS Portal Center (<http://portalcenter.oracle.com/upgrades>) を参照してください。
-
-

6.4.10 サブレットが次のエラースタックを生成しました。 java.lang.Exception:...

原因：これは、サブレットの無効なバージョン・エラーです。たとえば、次のようになります。

エラー：サブレットが次のエラースタックを生成しました。

```
java.lang.Exception: 無効なバージョン、このサブレットは 308 以下で、次のもので動作します。oracle.webdb.page.PageBuilder.process (不明なリソース)、  
oracle.webdb.page.ParallelServlet.doGet (不明なリソース)、  
javax.servlet.http.HttpServlet.service (HttpServlet.java:244)、  
javax.servlet.http.HttpServlet.service (HttpServlet.java:336)...
```

このエラーは、Oracle Portal 中間層から Oracle9iAS Portal リリース 2 (9.0.2) または OracleAS Portal 9.0.4 リポジトリにアクセスしようとしている場合に表示されません。このエラーはサポートされていません。

処置：OracleAS Portal 9.0.4 リポジトリにアクセスする前に、OracleAS 10g (9.0.4) 中間層にアップグレードします。

6.4.11 wwsec_app_priv.process_signon で予期しないエラーが発生（ユーザー定義の例外）（WWC-41417） Oracle Internet Directory にアクセス中に例外が発生しました : <string>（WWC-41743）

このエラーは、Oracle Internet Directory（9.0.4）を使用するように構成された Oracle9iAS Portal リリース 2（9.0.2）リポジトリが OracleAS Metadata Repository（9.0.4）にアップグレードされた後で、他のグループ・メンバーシップを持たないプライベート・グループに属するユーザーとしてログインした場合に発生することがあります。

原因：ログイン中に、ユーザーのグループ・メンバーシップ情報が Oracle Internet Directory から取得されます。このユーザーはプライベート・グループに属しているのので、このプライベート・グループのエントリにアクセスするためには、Portal がグループ "cn=Common Group Attributes,cn=Groups,cn=OracleContext" のメンバーになる必要があります。Portal アプリケーションには、Oracle Internet Directory サーバー内にこの権限がありません。

処置：-mode MIDTIER および -type OID を使用して、ptlasst.csh を実行します。たとえば、次のようになります。

```
ptlasst.csh -mode MIDTIER -type OID -s portal -sp portal -c
dbHostName:1521:dbServiceName -ldap_h myOIDServer -ldap_p 389 -ldap_w
welcome1 -pwd secret123
```

その他のエラー・メッセージ

この章では、このマニュアルの他の章では取り上げられていないエラー・メッセージ、その原因および推奨される処置について説明します。

この章では、次のエラー・メッセージについて説明します。

- 7.1 項「ORA-01400 ～ ORA-06550」
- 7.2 項「WWS-25883 ～ WWS-40019」
- 7.3 項「シンジケーション・チャンネル管理のエラー・メッセージ」
- 7.4 項「WebDAV の問題」
- 7.5 項「エラー番号のないメッセージ」

7.1 ORA-01400 ~ ORA-06550

この項では、次のエラー・メッセージについて説明します。

ORA-01821 日付書式コードが無効です、SP2-0152 Oracle が正常に機能していない可能性があります。

ORA-06550: 実行 ORA-06550 行 8、列 2: PLS-00306 'PROCESS_SIGNON' の呼出しで、引数の数または型が正しくありません。ORA-06550 行 8、列 2: PL/SQL: 文は無視されました。

ORA-01400 <DATABASE> には NULL は挿入できません。

ORA-01821 日付書式コードが無効です、SP2-0152 Oracle が正常に機能していない可能性があります。

原因: OracleAS Portal リポジトリをインストールできません。

処置: init.ora 設定の nls_date_format="mm/dd/yyyy" を nls_date_format="mm/dd/yy" に変更します。

ORA-06550: 実行 ORA-06550 行 8、列 2: PLS-00306 'PROCESS_SIGNON' の呼出しで、引数の数または型が正しくありません。ORA-06550 行 8、列 2: PL/SQL: 文は無視されました。

原因: ある種のアプリケーション・エラーです。この場合は、PROCESS_SIGNON プロシージャが指定されたパラメータでコールされることにはなっていません。

処置: アプリケーション・コードでエラーを見つけます。

ORA-01400 <DATABASE> には NULL は挿入できません。

原因: OracleAS Portal をインストールできません。不完全な状態でハングします。

処置: データベース・パラメータ・ファイルで、system_trig_enabled= が TRUE ではなく FALSE になるように変更します。デフォルト値は、TRUE です。

処置: 前述の処置がうまくいかない場合は、次の手順を実行します。

1. 既存の OracleAS Portal を削除します。
2. logintrg.sql を編集し、次の文を変更します。

```
CALL portal_login(ora_login_user)
次が開始されるようにします。
```

```
portal_login(ora_login_user);end;
```

3. OracleAS Portal を再インストールします。

7.2 WWS-25883 ~ WWS-40019

この項では、次のエラー・メッセージについて説明します。

WWS-25883 - Oracle Text 索引の一部またはすべてが欠落しているか、無効です。Oracle Text 検索が無効になっています。

WWS-26000 - Oracle テキストのベース URL を NULL にはできません。

WWS-26001 - URL が指定されている場合、インターネット検索エンジンのリンク・テキストを NULL にはできません。

WWS-30071 - ページ・グループ <page group> のアイテム <item> は、無効なイメージです。

WWS-30072 - デフォルト値 <default value> は、ページ・グループ <page group> の属性 <attribute> に対して無効なデータ型です。

WWS-30073 - デフォルト値 <default value> は、ページ・グループ <page group> の属性 <attribute> に対して無効な値です。

WWS-30074 - ページごとの結果の値は、0 より大きい整数である必要があります。

WWS-30593 - 無効な数値書式が入力されました。

WWS-30698 - 無効なユーザー名が指定されました。ユーザーが存在しません。

WWS-30713 - 公開日付を現在の日付より前にすることはできません。

WWS-30741 - アイテムは確認されているため、編集できます。

WWS-30742 - 「拡張検索」リンクは NULL にはできません。

WWS-30743 - 「拡張検索」ページは NULL にはできません。

WWS-30744 - 検索文字列が足りません。Near 演算子には検索文字列を 2 つ入力する必要があります。

WWS-30745 - 検索文字列が多すぎます。Near 演算子には検索文字列を 2 つ入力する必要があります。

WWS-30748 - 保留中のアイテムは解凍できません。アイテムは最初に承認される必要があります。

WWS-32006 - 少なくとも 1 つの検索文字列を入力してください。

WWS-32024 - ファイルをフィルタ処理できませんでした。

WWS-25883 - Oracle Text 索引の一部またはすべてが欠落しているか、無効です。Oracle Text 検索が無効になっています。

原因: Oracle Text 検索機能は、すべての Portal Oracle Text 索引が存在し有効である場合にのみ使用可能です。

処置: Portal Oracle Text 索引が存在し有効であることを確認します。必要に応じて、索引を作成または再作成します。

WWS-26000 - Oracle テキストのベース URL を NULL にはできません。

原因: Oracle Text のベース URL に値が指定されていません。

処置: Oracle Text のベース URL に値を指定します。通常、これは Portal インスタンスの URL で、末尾に Portal DAD を含みます (例:
`http://hostname.domain:port/pls/dad/`)。

WWS-26001 - URL が指定されている場合、インターネット検索エンジンのリンク・テキストを NULL にはできません。

原因: インターネット検索エンジン設定に URL が指定されている場合は、リンク・テキスト設定にも値を指定する必要があります。

処置: インターネット検索エンジンのリンク・テキストを指定します。

WWS-30071 - ページ・グループ <page group> のアイテム <item> は、無効なイメージです。

原因: 指定されたアイテムは無効なイメージです。

処置: 有効なイメージのアイテムを選択します。

WWS-30072 - デフォルト値 <default value> は、ページ・グループ <page group> の属性 <attribute> に対して無効なデータ型です。

原因: 属性にデフォルト値が指定されましたが、その値はその属性に適切なデータ型ではありません。

処置: デフォルト値を属性のデータ型に適合するように修正します。

WWS-30073 - デフォルト値 <default value> は、ページ・グループ <page group> の属性 <attribute> に対して無効な値です。

原因: 属性にデフォルト値が指定されましたが、その値はその属性では無効です。

処置: デフォルト値をその属性で有効な値に修正します。

WWS-30074 - ページごとの結果の値は、0 より大きい整数である必要があります。

原因: 1 ページに表示する結果件数に指定された値が、0 より大きい整数ではありませんでした。

処置: 1 ページに表示する結果件数として 0 より大きい整数を指定します。

WWS-30593 - 無効な数値書式が入力されました。

原因: 数値属性に無効な値を入力しました。属性に関連付けられた LOV が不正な値を返している可能性があります。

処置: LOV の所有者に、LOV が正しいタイプの値を返すよう変更を依頼します。

WWS-30698 - 無効なユーザー名が指定されました。ユーザーが存在しません。

原因: 無効なユーザー名またはグループ名を入力しました。

処置: 正しいユーザー名またはグループ名を入力します。名前がわからない場合は、「ユーザーをブラウズ」または「グループをブラウズ」アイコンをクリックして、表示されるリストから選択してください。

WWS-30713 - 公開日付を現在の日付より前にすることはできません。

原因: このアイテムを現在の日付より前に公開しようとしたか、サブアイテムの作成時に公開日付を親アイテムの公開日付より前にしようとした。

処置: アイテムの公開日付を将来の日付に変更するか、サブアイテムの公開日付を親アイテムの公開日付以降に設定します。

WWS-30741 - アイテムは確認されているため、編集できません。

原因: 別のユーザーがこのアイテムをチェックアウトしています。そのユーザーがアイテムをチェックアウトしてからページが更新されていないため、編集アイコンが表示されたままです。

処置: ページを更新してコンテンツの現在のステータスを表示します。そのユーザーがアイテムをチェックインすると、すぐに編集できるようになります。

WWS-30742 - 「拡張検索」リンクは NULL にはできません。

原因: 「拡張検索」リンクは、ページの選択または URL の設定によって指定されます。「拡張検索」リンクを指定するように選択しましたが、「拡張検索」リンクの値が指定されていません。

処置: 「拡張検索」リンクの値を指定します。

WWS-30743 - 「拡張検索」 ページは NULL にはできません。

原因: 「拡張検索」 ページは、 ページの選択または URL の設定によって指定されます。「拡張検索」 ページを指定するように選択しましたが、「拡張検索」 ページの値が指定されていません。

処置: 「拡張検索」 ページの値を指定します。

WWS-30744 - 検索文字列が足りません。Near 演算子には検索文字列を 2 つ入力する必要があります。

原因: Near 演算子には 2 つの検索文字列を指定する必要があります。指定された検索文字列の数が足りません。

処置: Near 演算子には 2 つの検索文字列を指定します。近接度のスコアが高い検索結果が返されます。

WWS-30745 - 検索文字列が多すぎます。Near 演算子には検索文字列を 2 つ入力する必要があります。

原因: Near 演算子には 2 つの検索文字列を指定する必要があります。検索文字列が 3 つ以上指定されました。

処置: Near 演算子には 2 つの検索文字列を指定します。近接度のスコアが高い検索結果が返されます。

WWS-30748 - 保留中のアイテムは解凍できません。アイテムは最初に承認される必要があります。

原因: アイテムは保留中で解凍できません。

処置: アイテムの承認後に解凍してください。

WWS-32006 - 少なくとも 1 つの検索文字列を入力してください。

原因: 有効な検索基準が含まれていない検索が送信されました。基準がまったく指定されていないか、指定された基準が検索の結果の種類と関連していません。たとえば、カテゴリ基準のみを指定して、カテゴリを検索するとします。カテゴリがカテゴリに属することはないため、その基準は無効で無視されます。

処置: 検索に有効な検索基準が含まれるようにします。

WWS-32024 - ファイルをフィルタ処理できませんでした。

原因: ファイル内容の検索、ファイルのテーマと要旨、「HTML として表示」を提供するには、ファイルを絞り込み、プレーン・テキストに変換する必要があります。これは常に可能であるとはかぎりません。一部の文書の書式はサポートされていません。これは、Oracle Text の設定や構成に問題がある場合にも発生することがあります。たとえば、Oracle Text 索引が削除された場合、自動問合せポートレットの結果が OracleAS

Web Cache ですぐには失効化されません。このため、キャッシュされたリンクをクリックすると、このエラーが表示されることがあります。

処置: 文書の書式が Oracle Text によってサポートされていることを確認します。Oracle Text 機能の確認方法については、『Oracle Application Server Portal 構成ガイド』を参照してください。

7.3 シンジケーション・チャネル管理のエラー・メッセージ

次に、シンジケーション・チャネル管理のエラー・メッセージを示します。

エラー・コード : OSS-00190

エラー・コード : OSS-00191

エラー・コード : OSS-00192

エラー・コード : OSS-00195

エラー・コード : OSS-00198

エラー・コード : OSS-00199

エラー・コード : OSS-00200

エラー・コード : OSS-00201

エラー・コード : OSS-00204

エラー・コード : OSS-00205

エラー・コード : OSS-00209

エラー・コード : OSS-00190

接続の取得中にエラーが発生しました

原因: インフラストラクチャ・データベースに接続しようとしたときにエラーが発生しました。

処置: インフラストラクチャ・データベースのステータスを確認し、必要な場合はリスナーを再起動します。

エラー・コード : OSS-00191

ID <ID> のサブスクリプションが見つかりません

原因: Syndication Services で、指定された ID のサブスクリプションを検索しようとしたましたが、失敗しました。

処置: 指定されたサブスクリプションが削除されていないか確認します。サブスクリプション ID については、Oracle Enterprise Manager Syndication Services の「サブスクリプション」ページを参照してください。詳細は、『Oracle Application Server Syndication Services 開発者および管理者ガイド』を参照してください。

エラー・コード : OSS-00192

ID <ID> のサブスクライバが見つかりません

原因 : Syndication Services で、指定された ID の Portal_Syndication サブスクライバを検索しようとしたましたが、失敗しました。

処置 : 指定されたサブスクライバ (Portal_Syndication) が削除されていないか確認します。Oracle Enterprise Manager Syndication Services の「オファー管理」ページを参照し、特にコンテンツ・プロバイダのオファー・アクセスを表示または編集して、Portal_Syndication ユーザーに、サブスクライバとしてコンテンツにアクセスする権限が付与されているかどうか確認します。詳細は、『Oracle Application Server Syndication Services 開発者および管理者ガイド』を参照してください。

エラー・コード : OSS-00195

JNDI ルックアップ <resource> の実行中にエラーが発生しました。

原因 : 指定されたリソースの DAV リポジトリでの検索が、リソースが見つからないために失敗しました。

処置 : 指定されたリソースが利用可能かどうかを確認します。「チャンネルの編集」ページを参照して、宛先の Portal ページ・フォルダの名前を確認します。

エラー・コード : OSS-00198

サブスクリプション・レポートの読取り中にエラーが発生しました。

原因 : 要求したレポートが Syndication Services にありません。

処置 : 要求したレポートが利用可能かどうかを確認します。

エラー・コード : OSS-00199

前の更新が進行中のため、チャンネル <channel> のコンテンツをプルできません。

原因 : 前に起動されたコンテンツ配信プロセスが引き続き進行中です。前に起動された配信プロセスがまだ完了していないため、新しい配信プロセスを起動できません。

処置 : 前の配信が完了するまで待機し、その後でコンテンツのプルを再試行します。更新ログを調べて、更新が完了しているかどうかを確認します。

エラー・コード : OSS-00200

チャンネル <channel> のサブスクライバ ID が一致していません : 必要な ID は <ID> ですが、現行サブスクライバ ID が <ID> です。

原因 : 指定された Portal_Syndication サブスクライバは、現在のチャンネルに関連付けられたものではありません。

処置 : チャンネルと Portal_Syndication サブスクライバのマッピングが矛盾していないことを確認します。ポートレットの「デフォルトの編集」のユーザー ID と、Oracle Enterprise Manager Syndication Services の「オファー管理」ページで指定したサブスクリプションの所有者 (ユーザー) を一致させます。特に、コンテンツ・プロバイダのオファー・アクセスを表示または編集して、Portal_Syndication ユーザーに、サブスクライバとしてコンテンツにアクセスする権限が付与されているかどうか確認します。

エラー・コード : OSS-00201

<channel> という名前のチャンネルが見つかりません。

原因 : 指定された名前のチャンネルの検索に失敗しました。

処置 : 指定されたチャンネルが存在するかどうかを確認し、存在しているのに失敗する場合は、それをいったん削除してから再作成します。

エラー・コード : OSS-00204

ルート <root> からリソース <resource> にアクセスできません。

原因 : 指定された DAV ルート・コンテキストから、指定された DAV リソースにアクセスできません。

処置 : コンテンツの宛先フォルダの設定を確認します。「チャンネルの編集」ページを参照して、宛先の Portal ページ・フォルダの名前を確認します。

エラー・コード : OSS-00205

前回の更新を処理中のため、パッケージ <package> の確認状態を更新できません。

原因 : 前に起動されたコンテンツ配信プロセスが引き続き進行中です。前の配信プロセスがサブスクリプションをロックしたままなので、アプリケーションが新しい状態を保存できません。

処置 : 前の配信が完了するまで待機し、その後再試行します。更新ログを調べて、更新が完了しているかどうかを確認します。

エラー・コード : OSS-00209

例外が発生したため、サブスクリプションを作成できません : <exception>。

原因 : 新しいサブスクリプションの作成中に、指定された Syndication Services の内部例外が発生しました。

処置 : ネストされた例外によって、Oracle Application Server Syndication Services のエラーに関する追加情報が表示されます。このエラー・メッセージの詳細は、『Oracle Application Server Syndication Services 開発者および管理者ガイド』の付録 A 「エラー・メッセージ」を参照してください。問題が継続する場合は、管理者に連絡してください。

7.4 WebDAV の問題

次の項では、WebDAV クライアントを使用して OracleAS Portal に接続しているときに発生する共通の問題について説明します。

- WebDAV の場所にアクセスしているときに発生するエラー
- 複数の認証要求
- データの再読み込みが必要な WebDAV 表
- WebDAV クライアントでの紛らわしいエラー・メッセージ
- 問題: OraDAV が、クライアントによってデフォルト・キャラクタ・セットが使用されるものと想定します

7.4.1 WebDAV の場所にアクセスしているときに発生するエラー

Web ブラウザを WebDAV クライアントとして使用し、WebDAV の場所にアクセスしているときに無許可エラーが発生する場合は、次のようなエラー・メッセージが Web サーバーのエラー・ログに書き込まれています。

```
[Tue Jun  4 11:33:14 2002] [エラー] [クライアント 144.25.248.140] ディレクトリの索引はルールによって禁止されています: /
```

次の例に示すように、`oradav.conf` ファイルに *Options Indexes* が存在していることを確認してください。

```
<Location /dav_portal/portal>
  DAV Oracle
  DAVDepthInfinity On
  DAVParam ORACONNECT dbhost:dbport:dbsid
  DAVParam ORAUSER portal_schema
  DAVParam ORAPASSWORD portal_schema_password
  DAVParam ORACONTAINERNAME OraclePortal
  DAVParam ORAPACKAGENAME portal_schema.wdav_api_driver
  Options Indexes
</Location>
```

7.4.2 複数の認証要求

WebDAV クライアントの処理方法によっては、ユーザーは何度も認証を要求されることがあります。これを避けるには、`oradav.conf` ファイルで `Cookies` オプションを有効にします。この値には、Cookie の有効期限が秒単位で指定されます。

7.4.3 データの再読み込みが必要な WebDAV 表

OracleAS Portal の WebDAV 表でデータを再読み込みする必要がある場合は（破壊されたため）、DAV ローダー・ユーティリティを使用して OracleAS Portal から入手可能な最新のデータをこの表に再読み込みできます。データが破壊された場合は、次のエラー・メッセージが Web サーバーのエラー・ログ・ファイルに書き込まれます。

```
[Fri Sep 13 11:33:19 2002] [エラー] [クライアント 130.35.64.171] OraDAV (b8790):
Apache OCI
エラー -9999/6510 : ORA-06510 PL/SQL: ユーザー定義の例外が発生しましたが、処理されませんでした
ORA-06512 "PORTAL.WWPTH_API_PRIVATE", 行 953
ORA-06510 PL/SQL: ユーザー定義の例外が発生しましたが、処理されませんでした
ORA-06512 "PORTAL.WWPTH_API_PRIVATE", 行 1515
ORA-06510 PL/SQL: ユーザー定義の例外が発生しましたが、処理されませんでした
ORA-06512 "PORTAL.WWSBR_SITE_DB", 行 801
ORA-01403 データが見つかりません。
ORA-06512 "PORTAL.WWPTH_API_PRIVATE", 行 982
ORA-06512 "PORTAL.WWDAV_INTERNAL", 行 2154
```

DAV ローダー・ユーティリティを実行するには、SQL*Plus から次のプロシージャを実行します。

```
set serveroutput on size 1000000
begin
    wwdav_loader.create_dav_content;
end;
```

これにより、DAV データ・セット全体が再作成されます。デバッグ情報も取得するには、次のプロシージャを使用します。

```
set serveroutput on size 1000000
begin
    wwdav_loader.create_dav_content (
        p_debug_mode => true);
end;
```

DAV ローダーを実行すると、DAV 表から一時的な文書が削除され、文書に対するロックが解除されます。承認用に送信されたアイテムは、受け入れられるか却下されるまで、DAV に表示されなくなります。

7.4.4 WebDAV クライアントでの紛らわしいエラー・メッセージ

WebDAV クライアントでページ・グループ・レベルの削除またはコピー操作を実行しようとするとときに、次のエラー・メッセージが発生することがあります。

500 - 内部サーバー・エラー

これはサーバー・エラーではありませんが、ページ・グループ・レベルでの書き込み操作が実行できないため、許可されていない操作です。

Web フォルダで操作を実行しているときに、次のエラー・メッセージが発生することがときどきあります。

予期せぬエラーが発生したため現在の操作を完了できません

このエラーは、Web フォルダの情報が Portal 自体に含まれる情報と同期していないことが原因で発生します。Web フォルダのページ・グループのトップ・レベルに移動して、更新してみてください。これで、試みていた操作を実行できることがあります。引き続き動作しない場合は、個人用ページにあるエラー・ログを調べます。

7.4.5 問題 : OraDAV が、クライアントによってデフォルト・キャラクタ・セットが使用されるものと想定します

原因：一部の WebDAV クライアントでは、コンテンツ・タイプと XML ヘッダーにキャラクタ・セットを指定しないで要求を送信します。このため、OraDAV はクライアントによってデフォルト・キャラクタ・セットが使用されるものと想定します。

処置：この問題を回避するには、環境変数 NLS_LANG が WebDAV クライアントのものと同じように設定する必要があります。

次の例では、WebDAV クライアントのロケールは Shift-JIS であるため、mod_oradav では NLS_LANG を AMERICAN_AMERICA.ja16shjis にする必要があります。これを設定するには、次の手順を実行します。

1. HTTP Server リスナーを停止します。
2. 次の手順を実行して、環境変数 NLS_LANG を変更します。
 - ORACLE_HOME/opmn/conf/opmn.xml を開きます。
 - <ias-component id="HTTP_server"> セクションを見つけます。
 - このセクションで、<process-set> サブセクションを見つけて、次のデータを追加します。

```
<environment>
<variable id="NLS_LANG" value="AMERICAN_AMERICA.ja16shjis" />
</environment>
```
3. ファイルを保存します。

4. HTTP Server リスナーを起動します。

7.5 エラー番号のないメッセージ

この項では、次のエラー・メッセージについて説明します。

- エラー: サブレットが次のエラースタックを生成しました。<ERROR STACK>'
- 問題: Oracle Text 索引を作成できません
- 問題: 日付がシステム・クロックと同期していません

エラー: サブレットが次のエラースタックを生成しました。<ERROR STACK>'

原因: このエラーは複数の原因によって発生する可能性があります。エラー・スタックは、エラーの発生した原因を示しています。問題は構成エラーか、それよりも重大である可能性があります。

処置: スタックを調べても問題がはっきりしない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

問題: Oracle Text 索引を作成できません

原因: Oracle Text 索引の作成中に次のいずれかのエラーが発生した場合は、Oracle Text 索引の作成時に問題が発生しています。

- Portal に CTXAPP ロールを付与できません。
- エラー: CTXSYS にデータストア・プロシージャを作成しています。
- エラー: Oracle Text データストアを設定しています。
- 予期しないエラーが発生 (WWS-32100)

処置: システムが『Oracle Application Server Portal 構成ガイド』に記載された要件をすべて満たしている必要があります。Oracle Text は、データベースと同じ Oracle ホームにインストールする必要があります。

データベース・アクセス記述子ページから接続プーリングを無効にする必要があります。

関連項目: 『Oracle Application Server 10g mod_plsql ユーザーズ・ガイド』

この問題を解決するには、次のいずれかのオプションを選択してください。

- データベース・サーバーにアクセスし、OracleAS Portal ページ・グループを所有しているスキーマのユーザー名およびパスワードを使用してログインします。たとえ

ば、スキーマ名が「SCOTT」の場合は、ユーザー名「SCOTT」と適切なパスワードでログインします。

- SQL*Plus を起動し、inctxgrn.sql スクリプトを実行します。このスクリプトは、ORACLE_HOME/portal/admin/plsql/wws にあります。このスクリプトを実行すると、OracleAS Portal に必要な Oracle Text プリファレンスが作成されます。
- データベース・サーバーへのアクセス権はないが、sbrixmlx スクリプトのコピーがある場合は、SQL*Plus を使用してスキーマの所有者としてデータベースに接続し、次のコマンドを実行することができます。

```
set serveroutput on size 10000
begin
  wwv_context_util.grantCtxRole(user);
end;
@@sbrixmlx
```

Replace (user) with the OracleAS Portal schema owner, for example, portal.

問題：日付がシステム・クロックと同期していません

原因：このエラーは、OracleAS Metadata Repository を格納するデータベースの sysdate 値が間違っているときに発生する可能性があります。

処置：OracleAS Metadata Repository を格納するデータベースの sysdate 値が間違っていないかどうかを確認します。この手順の詳細は、Oracle9i データベースのドキュメントを参照してください。

索引

数字

1 つ以上の指定されたホストに接続できない可能性があります, 6-52

32/5 PLS-00593

本体のパラメータ "P_BUTTON_STYLE" のデフォルト値は spec のデフォルト値と一致する必要があります, 6-2

400 - 不正なリクエストです, 4-26

500 - 内部サーバー・エラー, 6-62

A

ALTER TYPE portal_schema.WWUI_API_ALERT での本体のコンパイル, 6-9

ALTER TYPE WWUI_API_ALERT での本体のコンパイル。設定の再使用, 6-9

C

ctxsys, 7-13

D

DBMS ジョブ・キューが無効になっています。有効であれば、すぐに実行されたジョブがあります, 6-28

DBMS ジョブ・キューに実行中のジョブがあります, 6-36

H

HTTP 400, 4-28

HTTP-403, 4-28

HTTP-404

Document Not Found, 6-65

HTTP-500, 4-28

HTTP-503, 4-29, 4-30

HTTP エラー・コード (400 ~ 600), 4-27

J

JAR ファイル

Portal のパッチ・リリースに含まれている, 6-31

java.io.InterruptedIOException

接続の確立がタイムアウトしました, 6-67

java.lang.Exception

エラー, 6-69

java.lang.OutOfMemory, 6-2

Java オプションが選択したデータベースで有効になっていません, 6-32

JVM のインストールが適切ではありません, 6-32

L

ldap_bind

資格証明が無効です, 6-9

ldap_modify

一致したのは

cn=Users,dc=us,dc=oracle,dc=com です, 6-10

該当するオブジェクトがありません, 6-11

タイプまたは値が存在しています, 6-11

追加情報

属性 uniquemember には重複している値があります, 6-10

変更対象のエントリが見つかりません, 6-10

LDAP エラー

49 資格証明が無効です。、 1-3

53, 1-3

LDAP サーバーに接続できません, 6-5

LDAP パッケージがインストールされていません、
6-32

log_file_name を作成できません。ディレクトリの権限
を確認してください、6-38

O

OID サーバーへのアクセス時にエラーが発生したため、
ローカル・キャッシュを OID から更新できません
でした、6-59

OID への接続に失敗しました、6-7

OMNIPORTLET プロバイダを更新できませんでした、
6-47

ORA-00001, 5-2

ORA-01017, 1-3, 6-14

ORA-01031

権限が不足しています、6-16

ORA-01821, 7-2

ORA-02291, 5-2, 5-3

ORA-03113, 6-15

ORA-04031, 1-2, 6-15

ORA-04088, 5-3

ORA-06500, 1-2

ORA-06510, 4-2

ORA-06512, 4-2

ORA-065300, 1-2

ORA-06550, 7-2

ORA-12560, 4-29, 4-30

ORA-14000, 7-2

ORA-20000, 4-2

ORA-29521

参照名 javax/ejb/ が見つかりません、6-16

OracleAS Portal Middle-Tier の構成エラー、1-3

OracleAS Portal リポジトリのエラー・メッセージ、1-2

ORACLE_HOME を Oracle9i 中間層のインストール先
にしてください、6-18

Oracle Portal

トラブルシューティング、7-13

Oracle Portal/WebDB のリリースがアップグレードで
サポートされていません、6-42

ORACLE PORTAL プロバイダを更新できませんでし
た、6-48

Oracle Text

作成時のエラー、7-13

Oracle Text 索引の削除に失敗しました。アップグレー
ドを続行できません、6-8

Oracle Text 情報の取得に失敗しました。Oracle Text が

正しくインストールされているかどうかを確認し
てください、6-13

Oracle Text スキーマ (CTXSYS) が存在しません。イ
ンストールしてください、6-17

Oracle Text の索引タイプが無効か、存在しません。無
効な索引タイプを再検証してください、6-17

Oracle Text のリリースとデータベースのリリースが一
致しません、6-18

Oracle データベースのリリースがアップグレードでサ
ポートされていません、6-42

OSS-00190, 7-7

OSS-00191, 7-7

OSS-00195, 7-8

OSS-00198, 7-8

OSS-00199, 7-8

OSS-00200, 7-8

OSS-00201, 7-9

OSS-00204, 7-9

OSS-00205, 7-9

OSS-00209, 7-9

P

perl

エラー、6-12, 6-33

Perl ディレクトリ (perl_dir) が Oracle ホームにあり
ません、6-33

ping エラー、6-52

PLS-00201, 1-2

Portal 以外のオブジェクトにエラーがあります、6-51

Portal スキーマ・ユーザーが VPD を使用するよう
に設定されていません、6-19

Portal パッチを適用する必要があるときは、o7_
dictionary_accessibility を TURE に設定してくだ
さい、6-12

Portal へのコンテンツのシンジケート

シンジケーション・チャンネル管理のエラー・メッ
セージ、7-7

Portal リポジトリへの接続に失敗しました、6-7

S

schema.procedure に対する実行権限を schema として
application_schema に付与しています
--ORA-01001

カーソルが無効です、6-8

select_statement を schema_name として解析できませ

んでした, 6-47
sitechk.log, 6-57
SQL*Plus のリリースがアップグレードでサポートされていません, 6-25
SQL*Plus のリリースを判別できません, 6-39
sqlplus の実行中に問題が発生しました, 6-22
SSO ID が無効です, 6-24
SSO ID の事前チェック中にエラーが報告されました, 6-3
SSO ID の自動生成中、環境設定ストアにアクセスしているときに予期しないエラーが発生しました, 6-3
SSO ID の自動生成中に予期しないエラーが発生しました, 6-3
SSO ID パラメータの値が無効です, 6-35
SSO ID を自動生成できませんでした, 6-34
SSO Server の移行がまだ行われていません, 6-34
SSO Server のリリースがサポートされていません, 6-25
SSO リポジトリへの接続に失敗しました, 6-6
SYS Java の権限が付与されていることを確認してください, 6-63
SYS スキーマでセッション・クリーン・アップ・ジョブが検出されました, 6-45
SYS として Portal リポジトリに接続できませんでした, 6-6
SYS として SSO リポジトリに接続できませんでした, 6-6

U

upfixpin.sql, 6-20, 6-21, 6-24
UPG_prefix の付いたすべての表を Portal スキーマから削除してください, 6-19
upgrade.pl の行 124 のループ変数に \$ がありません, 6-12
user_profile を作成できません, 6-39
utl_http の呼出しに失敗しました, 4-25

V

VPD が正しくインストールされていません, 6-43
VPD がデータベースで実行されていません, 6-44
VPD 事前チェックでいくつかの問題が見つかりました, 6-61
VPD チェック・ユーティリティでは、Portal のリリースをサポートしていません, 6-19
VPD チェック・ユーティリティで不明なエラーが発生

しました, 6-40
VPD のコンテキスト値が設定されていません, 6-43
VPD のコンテキスト値が正しくありません, 6-43
VPD ポリシーのない表, 6-58

W

WebDAV
トラブルシューティング, 7-10
WWC-41031, 3-2
WWC-41415, 3-2
WWC-41419, 3-3
WWC-41439, 3-3
WWC-41470, 3-4
WWC-41657, 3-4
WWC-43000, 1-4
WWC-43102, 4-3
WWC-43103, 4-3
WWC-43105, 4-3
WWC-43107, 4-3
WWC-43109, 4-3
WWC-43112, 4-3
WWC-44009, 4-5
WWC-44091, 4-5
WWC-44102, 4-5
WWC-44156, 4-5
WWC-44234, 4-5
WWC-44552, 4-5
WWC-44570, 4-6
WWC-44704, 4-6
WWC-44705, 4-6
WWC-44706, 4-6
WWC-44707, 4-6
WWC-44709, 4-6
WWC-44714, 4-7
WWC-44715, 4-7
WWC-44721, 4-7
WWC-44751, 4-7
WWC-44752, 4-7
WWC-44754, 4-7
WWC-44759, 4-8
WWC-44761, 4-10
WWC-44762, 4-10
WWC-44765, 4-10
WWC-44766, 4-10
WWC-44767, 4-10
WWC-44768, 4-10

WWC-44769,	4-10	WWS-25828,	4-20
WWC-44770,	4-11	WWS-25829,	4-20
WWC-44775,	4-11	WWS-25830,	4-21
WWC-44779,	4-11	WWS-25838,	4-21
WWC-44780,	4-11	WWS-25883,	7-4
WWC-44781,	4-11	WWS-26000,	7-4
WWC-44783,	4-11	WWS-26001,	7-4
WWC-44784,	4-11	WWS-30071,	7-4
WWC-44786,	4-11	WWS-30072,	7-4
WWC-44787,	4-12	WWS-30073,	7-4
WWC-44788,	4-12	WWS-30074,	7-5
WWC-44789,	4-12	WWS-30593,	7-5
WWC-44790,	4-12	WWS-30698,	7-5
WWC-44792,	4-12	WWS-30713,	7-5
WWC-44793,	4-12	WWS-30741,	7-5
WWC-44794,	4-12	WWS-30742,	7-5
WWC-44795,	4-12	WWS-30743,	7-6
WWC-44801,	4-14	WWS-30744,	7-6
WWC-44803,	4-14	WWS-30745,	7-6
WWC-44812,	4-14	WWS-30748,	7-6
WWC-44815,	4-14	WWS-32006,	7-6
WWC-44816,	4-14	WWS-32024,	7-6
WWC-44829,	4-14	WWS-32100,	7-13
WWC-44833,	4-14	WWSEC_ENABLER_CONFIG_INFO\$,	3-7
WWC-44835,	4-15	WWU-52883,	5-4
WWC-44836,	4-15	WWU-52884,	5-4
WWC-44840,	4-15	WWU-52885,	5-4
WWC-44841,	4-15	WWU-52886,	5-4
WWC-44843,	4-15	WWU-52887,	5-4
WWC-44891,	4-15	WWU-52888,	5-4
WWC-44899,	4-16	WWU-52889,	5-5
WWC-44901,	4-16	WWU-52926,	5-5
WWC-44902,	4-16	WWU-52927,	5-5
WWC-44997,	4-16	WWV-01801,	4-22
WWC-49104,	4-17	WWV-06406,	4-22
WWC-49105,	4-17	WWV-13003,	4-22
WWC-51000,	4-17	WWV-17005,	4-22
WWC-57267,	4-17	WWV-17027,	4-22
WWC-57268,	4-18	WWV-17078,	4-22
WWC-57269,	4-18	WWV-17083,	4-22
WWC-57270,	4-18	WWV-17128,	4-22
WWC-57272,	4-18	WWV-32006,	7-6
WWS-19679,	4-19	WWV-40018,	2-3
WWS-19680,	4-19	WWV-41426,	3-3
WWS-19699,	4-19	WWV-41433,	3-4
WWS-22507,	4-19	WWV-41443,	3-4
WWS-25827,	4-20	WWV-41496,	3-4

WWV-44081, 4-5
WWV-44708, 4-6
WWV-44753, 4-7
WWV-44755, 4-8
WWV-44756, 4-8
WWV-44757, 4-8
WWV-44758, 4-8
WWV-44791, 4-12

あ

アサーション違反, 6-5
アップグレード後のタスクが実行されていません。
アップグレード・ログに致命的エラーがあります,
6-22
アップグレードしているスキーマに対して同時セッ
ションが実行されています, 6-35, 6-36
アップグレード・スクリプトをもう一度実行してくだ
さい, 6-22
アップグレードに必要なスタイル情報が不足している
ため、サイトを削除しています, 6-48
アップグレードの事前チェック中に予期しない例外が
発生しました, 6-4
アップグレードを実行する前にデータベースをバック
アップしてください, 6-5
アプリケーション `application_name` のプロバイダ名が
`new_name` に変更されました, 6-60
アプリケーション・エントリが `OID` に存在しません,
6-26, 6-68

い

一時表領域に十分な空き領域がありません, 6-38
一部の Oracle Text パッケージが無効です, 6-23
インポート / エクスポートの内部ビューがインストー
ルされていません, 6-29

え

エラー
Oracle Text 索引の作成, 7-13
WWS-32100, 7-13
トラブルシューティング, 7-13
エラースタック, 7-13
エラー・メッセージ, 6-2

お

同じ場所から複数のアップグレードを同時に実行する
ことはできません, 6-23
オプティマイザ・モードは `RULE` に設定できません,
6-33

か

外部アプリケーション ID が更新されました, 6-50
外部アプリケーション ID を更新しています, 6-40
環境変数 `ORACLE_HOME` は設定されていません, 6-8

け

警告メッセージ, 6-45
現在 DBMS ジョブ・キューに間違っって構成されたジョ
ブがあります, 6-36
現在、DBMS ジョブ・キューは無効です, 6-59

こ

個人用ページ ID の変更 - 古い ID, 6-53
個人用ページ名の変更 - 古い名前, 6-53
コンテンツのタイムアウト, 4-25
コンポーネント `APPLICATION_`
`SCHEMA.COMPONENT_NAME` にエラーがあり
ます, 6-46
コンポーネント `internal_name` のタイトルを `old_`
`display_name` から `new_display_name` に変更して
います, 6-46

さ

サーブレットが次のエラースタックを生成しました。
`java.lang.Exception`, 6-69
最近使用したオブジェクトのポートレット設定が削除
できませんでした, 6-55

し

システム・クロック, 7-14
システム・トリガーがデータベースで無効になってい
ます, 6-25
システム・トリガーが有効ではありません, 6-35
事前チェック・エラー, 6-2
使用方法 `upgrade.csh`, 6-40

す

スキーマの変更を含むワンオフ・パッチが 1 つ以上適用されました, 6-13
ステータス・コードでパッチが失敗しました, 6-18

せ

セッション・クリーン・アップ・ジョブが削除されました, 6-56
接続プーリング, 7-13

た

対象読者, iii

ち

重複したパスが見つかりました, 6-50

つ

次の必須オブジェクトが存在しないか、無効です, 6-30
次のページの所有者をスキーマ所有者に再度割り当てます, 6-55
次の無効な Portal 以外のオブジェクトが Portal スキーマに存在します, 6-59
次の無効な Portal オブジェクトが Portal スキーマに存在します, 6-29

て

ディレクトリ `upgrade_tmp_dir` に対する書き込み権限がありません, 6-44
ディレクトリ `upgrade_tmp_dir` を作成できません, 6-38
データベースに、静的でないポリシーがいくつかあります, 6-37, 6-60
データベースに割り当てられた `java_pool_size` パラメータは、インストール / アップグレードに不十分です, 6-25
データベースに割り当てられた `shared_pool_size` パラメータは、インストール / アップグレードに不十分です, 6-26
データベースの互換レベルがアップグレードでサポートされていません, 6-27

データベースのブロックサイズが推奨値を下回っています, 6-28
デフォルト JPKD インスタンスの URL が存在しません, 6-48
デフォルト表領域に十分な空き領域がありません, 6-37
テンプレート ID = `template ID` およびサイト ID = `site ID` の領域 ID = `region ID` がサブ・ページ・リンク領域に変換されませんでした, 6-56

と

読者, iii
トップ・レベル・ページ名の変更 - 古い名前, 6-60
トラブルシューティング, 7-13

な

名前の正しくないポートレット・インスタンスがいくつか検出されました, 6-24

は

パートナ・アプリケーションのスキーマへの接続に失敗しました, 6-7
廃止されたイメージ・チャートを削除しています `schema_name.image_chart_name`, 6-49
はじめに, iii
パスワード・ストアのスキーマへの接続に失敗しました, 6-7
パラメータが無効です, 6-35
ハンドルされていない例外が発生 ORA-20100, 4-24

ひ

日付が同期していません, 7-14
必要なスタイル情報が不足しているため、一部のサイトが削除されます, 6-57

ふ

ファイルの文書サイズが NULL です, 6-49
プロキシ設定, 3-7
プロバイダ・テスト・ページで 499 SSO エラーが発生しました, 4-24

へ

ページ ID = page ID およびサイト ID = site ID のテンプレートの領域 ID = region ID がサブ・ページ・リンク領域に変換されませんでした, 6-58

ページ ID = page ID およびサイト ID = site ID の領域 ID = region ID がサブ・ページ・リンク領域に変換されませんでした, 6-55

ページ ID = page id ユーザー名 = user name を再度割り当てます, 6-54

ほ

報告された文字列がファイルにありません, 6-11

ポートレット・インスタンスの ID がポートレット・インスタンス名の接頭辞と一致しません, 6-20

ポートレット・インスタンス名が一意ではありません, 6-21

ポートレットは、まだ定義されていません, 4-27

ポートレット・ビルダー (WebView) コンポーネントに不明な問題があります, 6-54

ポートレット・ビルダー (WebView) のアプリケーションの基となるスキーマが存在しません, 6-34

本稼働コンポーネントは、www_modules\$ 表の n% のコンポーネントのみです, 6-52

む

無効なスタイル参照がフォルダで見つかりました, 6-51

無効なナビゲーション・バー参照がフォルダで見つかりました, 6-51

も

文字列が見つかりません, 4-25

ゆ

ユーザー / ロールの schema が存在しません, 6-61

よ

予期しない例外が発生しました, 6-4

り

リリースが更新されません。アップグレード・ログに致命的エラーがあります。、 6-41

リリースがこのリリースのアップグレードでサポートされていません, 6-41

ろ

ログ・ファイルを作成できません, 6-45

